

その他の金属製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働 者規 模
2017	1	14～ 15	工場内で、鉄骨階段（仮組）高さ2m50cmに手摺を仮組立作業中、足を滑らせて転倒し、顔面を強打して骨折し、右脇腹肋骨も骨折した。	70	413	1	10～ 29
2017	1	9～ 10	当社工場内で鋼材コラム（口500×500×32、L5.5M）を2.8tクレーン2台で上を見ながら移動操作中、鋼材を置くためのマンホウ（角パイプ100×100、L2M）につまずき転倒した。その際に右手を床につき、右手橈骨遠位端骨折した。	39	521	2	30～ 49
2017	1	8～9	自社製造工場内の屋根材断熱材裏張りラインにて、コイル巻き取り作業中、一旦ラインを離れて巻き取り後コイルをライン枝の蔵置場に運び、再び作業場へ歩いて戻る途中、床に敷いていた薄鉄板の一部に、床より1cm程めくれた箇所があり、そこに左足つま先が引っかかり転倒し、右足膝を床に強打した。転倒後、それほど痛みが強くなかったが、次第に腫れや痛みが強くなった。	47	521	2	10～ 29
2017	1	7～8	会社の駐車場で、車に積んでいたポリタンクを工場前に運ぶため、車を移動しようと乗り込もうとしたところ、足元の雪で滑りバランスを崩し、車の扉に右胸を強く打ちつけ転んだ。	27	719	2	—
2017	1	9～ 10	自社工場にて、工場に立てかかっている鉄板をチェンブロックで吊る際に、縦吊りクランプを入れる隙間がなかったため、手前に起こした際に鉄板が倒れ掛かってきて抑えようとしたが、重さに耐えきれず、逃げ遅れて右足を被災した。	61	521	5	1～9

2017	1	17～ 18	第1工場の外に止めてあった車を工場内に入れるため、工場の扉から外に向かって歩いていたら、道路が凍結していたため滑って転倒してしまい、左足の脛2本を骨折した。	59	719	2	10～ 29
2017	1	21～ 22	PETベール投入口にて、PETベールの結束材を取り外し、階下のフレコンに入れようと金属製の階段を下りる途中、階段が水で濡れていて足をすべらせ階下に落ちる際に左下肢を捻った。	40	719	2	100 ～ 299
2017	1	16～ 17	工場内で鋼材を切断作業中に、切断する鋼材を移動する際、台木の準備が不十分だったため、左足を挟まれ骨折した。	52	521	4	1～9
2017	1	14～ 15	樹脂製丸棒製品を施盤で切削切断加工中の1カット部終了の時、フットブレーキをかけ品物をチャックからハンドルではずす時、膝が手元レバースイッチがぶつかりスイッチが入りチャックハンドルがついたままチャックが回転したのでハンドルが飛んできて、よけようとしたが左手小指の先端に当たったようである（個人発言代筆）。	72	151	4	1～9
2017	1	7～8	当日、車で会社に出勤し、会社内の駐車場に車を置き移動した時、路面が凍結しており、つまずいたため前のめりに転倒し、右脛を思い切り強打した。	64	719	2	1～9
2017	1	9～ 10	工場内でトラック（4t）の荷台に積んであった鉄骨材（約500kg）を荷卸しするのに、鉄骨材に玉掛けをして一度少し天井クレーンで吊り上げたが、荷のバランスが悪いため玉掛けをやり直そうとしたが、天井クレーン操作者と息が合わず、左手の小指の先を玉掛けワイヤーと鉄骨材の間に挟まれてケガをした。	40	211	7	10～ 29
2017	1	13～ 14	鉄の部材にタップ加工をする際、クレーンで移動し台座から外してクレーンを上げたのだが、中央に寄っていたワイヤーが台座に引っ掛かるのを分からず、クレーンを上昇させてしまった為、その反動で鉄の部材が崩れてきて、左足に乗っかって（落ちて）負傷した。	62	211	4	30～ 49
2017	1	8～9	当社工場にて鉄板（600×700×12mm、重さ約40kg）を両手で持ち、手をすべらせて、作業台と鋼板の間に右手親指を挟み負傷し	33	521	7	50～

			た。					99
2017	1	17~ 18	旋盤を用いて円筒形のステンレス鋼材の仕上げ加工中に、切粉がワークの周囲に回転しながら飛散している状況を確認し、製品に悪影響が出ないように観察していた際、長さ50cmを越す切粉が発生し、被災者の左人差し指に巻きついてきたので、慌てて手を引き巻き込まれないようにしたが、有色手袋の上から指に至るまで切創した。	61	151	7	1~9	
2017	1	14~ 15	工場内で搬入物の鉄パイプの束を台車にのせる際に、普段は腰の負担を考慮し屈伸して運ぶが他の搬入物もあった為そのスペースもなく、前屈の状態で運ぶことを強いられ、想定以上の負荷が腰に掛かって腰痛となり、悪化して椎間板ヘルニアとなった。	29	521	19	30~ 49	
2017	1	14~ 15	製品の仕上げ作業中に、作業台から足を踏み外し、作業台の角で右足の脛あたりを裂傷した。	19	371	1	10~ 29	
2017	1	13~ 14	工場内で溶接部分をグラインダーでこすっている時、グラインダー回転部が金物にはじかれて左上腕部を裂傷した。	37	153	8	10~ 29	
2017	1	16~ 17	カゴ台車に鋼杖を載せて移動していた時、勢いがついたためカゴ台車を止めて振り向いた。その際、自身の左側に置いてあった鋼材に左脇腹をぶつけて受傷した。	54	521	3	50~ 99	
2017	1	10~ 11	工場内にて、トイレに行くため急いで歩行中、工場内に置いてあったH鋼に不注意から、ぶつけてしまった。H鋼には、危険を指すため赤い布をマーキングのためにかけていたが、それ以後、突出しない事を、従業員に指示した。	37	521	3	1~9	
2017	1	17~ 18	本社工場内に於いて、鋸盤で切断されたパイプをパレットより下ろす作業（10kg~20kg、10本位）をした後、左手が痛み出した。以前に靭帯の損傷をしており、同じ所が痛んだ。筋肉の方は完治しているため、数日間は左手を使わないようにとの診断を受けた。	18	521	19	30~ 49	
			弊社工場内でフライス盤にて鋳物を加工するため、プレートで研磨					

2017	1	14～ 15	中に誤って左手をフライス盤に乗せてしまい、機械の回転の勢いに左手が巻き込まれ、左手親指の先を切断した。	41	152	7	10～ 29
2017	1	16～ 17	手動式プレスを使用して、型押し作業中、位置を直そうとした際、体勢のバランスを崩し、右足が足踏み式ボタンに触れたことにより機械が作動して、プレス台上にあった左親指つけ根に当たって負傷した。	19	154	7	50～ 99
2017	1	9～ 10	約4tの品物を荷台にのせて引っ張って移動している時、前輪のタイヤに左足親指付近に乗り上げ骨折した。	70	362	6	10～ 29
2017	1	11～ 12	工場内において、作業台の上で、8cm角の鉄素材の側面をサンダーで削っている途中、素材を押さえていた左手の手袋が巻きついてしまい、親指と人差し指の間、及び手の甲を負傷してしまった。	59	153	7	30～ 49
2017	1	19～ 20	当日は、職場の新年会が工場内の食堂であったため、缶ビール（350ml、2本）を飲んだ後、帰宅のため第2工場南側工場出入口扉を出て、数歩歩いた時アスファルトのくぼみ（約30mm深）に左足が着地した際、左足をひねり靭帯を損傷した。	53	419	19	300 ～ 499
2017	1	10～ 11	当社工場内水洗ブース内に於いて、センターパネル（縦108cm、横79cm）を吹付作業中、作業台（鉄製）の上・下段を行き来しながら作業していたところ、下段に下りる際、足を滑らせ水が流れているU字溝に転落（下段高さ48cm：U字溝深さ20cm、計68cm）右大腿部をU字溝に打ち骨折し負傷したものである。	50	371	1	10～ 29
2017	1	17～ 18	短い曲がった材料がソーチャージテーブルのガイドに引っ掛かったので、その材料を直すためインターロック付き安全扉を開いて後面テーブル側に入り扉を閉めた。ソーチャージテーブルの下に降りて材料の引っ掛かりを直している時に、後面作業者がそのことに気付かず、自動供給スタートを入れたため、昇降装置のフレームが後退しフレームとの間で両足の脛を挟まれた。	22	169	7	1000 ～ 9999
		20～	業務を終えて帰宅する為に駐車場内を歩行している際、凍結した路				100

2017	1	21	面で滑り転倒して右足関節外果骨折をした。	51	719	2	～ 299
2017	1	9～ 10	被災者はグラインダーで加工、溶接してあった鉄板の引っ張りの仕上作業していた。グラインダーのコードを踏んでしまい、グラインダーが左足に落ち、左足甲を幅3cm、深さ1.5cm破傷したものである。	23	153	4	—
2017	1	9～ 10	工場内で、慣れない新しい施盤機械を使って作業をしていた。そのとき作業服が機械に引っ掛かり巻き込まれ、身体が一回転し、右顔面鼻を強く打ち、鼻血が出て、鼻骨骨折・右目内出血を負った。	81	151	7	10～ 29
2017	1	9～ 10	鉄骨加工場において、鉄製階段を作製中、高さ60cm程の高さより降りたところ、右足首に痛みを感じ負傷した。	63	521	19	1～9
2017	1	16～ 17	工場内にて、コラムの開先取り機にて作業台に載せて、コラム（口・250×250×9）の開先を取る際、長さ約2.5Mの品物の移動のとき、品物が足（左）安全靴の金具の無い所にずり落ちた様である。なお、災害発生時は本人しかおらず、現認者がいなかった。	26	521	4	10～ 29
2017	1	1～2	事業所工場内のオートボラー作業場所に於いて、穴あけ後の鋼板（25×250×1000≒50kg）をマグネットを用いて移動する際、鋼板をマグネットの接着面にゴミ（カス）の介在、鋼板センターから偏心して取り付けたため、鋼板のバランスが崩れて落下し、その際に右足のすねを負傷した。	25	372	4	30～ 49
2017	1	11～ 12	北側の工場内で塗装中、作業台を跨いだ時に左足が砂利で滑って、右足のヒザ下を打撲し骨折した。	69	417	2	1～9
2017	1	16～ 17	手スリの加工作業中、丸パイプの接続部をエグリの機械を使いえぐっていて、丸パイプが短く、刃の方からしか手が入らず、回転する刃の方に手を持っていった所、手袋ごと指を巻き込まれ、切断してしまった。	51	159	7	1～9
			工場内にて、溶接加工製品の重石用に使用する鉄板				

2017	1	15～ 16	(83cm×77cm×厚12cm、約600kg) を使用後、天井吊下式クレーン (2.8t) で吊り上げ保管台に収納しようとした際、鉄板が手前に倒して収納する為、吊り上げて調整しようとしたところ、鉄板を吊っていたワイヤーが老朽化により切れてしまい、鉄板が手前に倒れ保管台の上に乗っていた右足を挟まれ、右足甲を骨折した (安全靴着用)。	63	372	7	1～9
2017	1	18～ 19	仕事中作業場で材料の片付けをしている時に、板で右手人差し指を挟んでしまった。	17	522	7	1～9
2017	1	8～9	加工作業場にてボール盤を使用し、アルミの苗ラックの穴あけ作業をしていた。軍手をした状態で切り粉を取り除こうとした時、回転したままのドリルに軍手が巻き込まれ、右手薬指を切断した。	36	152	7	10～ 29
2017	1	14～ 15	作業場で金属部品の面取り加工の作業をしており、作業終了後、面取り加工で使用する小型モーター (横196mm、縦150mm、高さ137mm、重さ32kg) を工場長が片付けようとした際に、工場長の手から小型モーターが滑り落ち、左足親指と人差し指に落ちた。	52	159	4	1～9
2017	1	16～ 17	敷地内で、トラックの降車時に足を滑らせ後ろ向きに落ちたので、左手をついた時に手首が折れた。	58	221	1	10～ 29
2017	1	18～ 19	工場内において、自動車用の金属部品をプレス機械を使用して加工する作業をしていた際、日頃より他の社員より早いペースで作業していたことが積み重なり、徐々に右手の痛みが酷くなった。	43	921	19	30～ 49
2017	1	16～ 17	社内作業場にて、スポット溶接機で製品にボルトを付ける作業を行っていた。ボルトを付けるには、製品にボルトを差し込み、その状態のままスポット溶接機の下部電極部分に差し込む。差し込んだ側の手を離し、起動ボタンを押すと、上部電極部が下がり電流が流れ溶接される。原因としては、起動スイッチの位置が高かったため下部電極部にボルトを差し込む際、作業者の腕が起動スイッチに触れてしまい、手を離す前に上部電極部が下がり、親指を負傷した。	44	332	7	10～ 29

2017	1	13～ 14	鋼材をクレーンにて移動中、下に置いてあった鋼材を跨ごうとした時に、安全靴（右足）が鋼材に引っかかり靴が脱げ、脱げた足が床に着いた時に、鉄くずを踏んでしまい負傷した。	61	521	9	10～ 29
2017	1	13～ 14	工場内にて、鉄鋼の入出荷を行うためリモコンを使用し、鉄鋼の位置等を確認しながらクレーンを操作中、足元にあった鉄鋼を置く台（高さ20cm）に躓いてしまい、左腕を骨折した。	43	417	2	1～9
2017	1	11～ 12	工場内の休憩室にあった納品書を社長（工場内にいる）に届けようとした際、床マットに右足が引っかかり、左顔面（打撲、キリ傷）及び左ひじを強打した。	69	417	2	—
2017	1	10～ 11	現場内で、加工途中品（1741mm×120mm、重さ800g）を持って移動中、進路上の足元に置いてあった樹脂パネル（500mm×40mm位）を踏みつけた所、樹脂パネルごと足を滑らせ、横向けに転倒し、左足を強打した。	66	529	2	100 ～ 299
2017	1	17～ 18	レーザー加工室で、加工台に鉄板をのせるため、鉄板の下に右手を入れて持ちあげる作業を行っていた際、すき間の確保が不十分であったため、鉄板と床の間に右手をはさまれた。	23	521	7	10～ 29
2017	1	17～ 18	工場内の自分の持ち場で鉄と鉄を接合する溶接作業中に、普段溶接作業を行う時は燃えにくい綿100%の会社支給の作業服を着用しているが、古くなり、やぶれたり穴が空いた部分を当て布で補修していた為、ほつれた部分から、飛び散る火の粉が右側の腹部分から燃え広がり、被り面をしていた為、気付くのが遅れ、火傷を負った。	55	911	11	1～9
2017	1	16～ 17	工場内にて製品パイプの検品中、高さ1.0m、長さ1.7mのパイプから誤って足をすべらせ落下し負傷した。	60	521	1	1～9
2017	1	11～ 12	工場内にて、トラックからの荷下ろし作業中、ハッカーにて平鋼（3m×15cm）重量135kg×3枚を持ち上げる際に片側のハッカーの爪が引っ掛かり平鋼が両足の上に落下し負傷した。	36	372	4	10～ 29
		9～	当事業所内でバルブを加工中、切り粉が右手袋に掛かり、バルブの				

2017	1	10	フランジ部分に右手を挟まれ、バルブの回転をすぐに止めたが、負傷した。	25	159	7	1～9
2017	1	14～ 15	当社工場内において、フットプレス加工機でプレス作業中に金型に残った製品を取り出そうとした際、誤ってフットペダルを踏み右手第二指第一関節を切断した。	69	154	7	10～ 29
2017	1	14～ 15	取引先の工場に荷物の引き取りに行った際、工場内からクレーンで荷物を外に移動中、荷物が荷くずれし現場近くにいたため避けたが、傾いたパレティーナの下に右足が残り、右足甲部を骨折した。	38	211	4	1～9
2017	1	11～ 12	高さ約70cmの鉄筋加工台の上で鉄筋を束ねているばん線を切って加工台から下りる時、左足が引っ掛かりそのまま転倒した。	54	379	2	1～9
2017	1	10～ 11	資材置場にて資材の整理作業（下請）中、重機のキャタピラーから飛び降りた際、足元の不安定な所に落ち、左足踵を負傷した。	67	142	3	—
2017	1	15～ 16	バリ取り工程で、バリを取る作業の時、金型とワークの間に両手でプレス起動スイッチを押した後、ワークのセットが悪いことに気づき、修正しようと思い右手でワークを持った時、金型のワーク挿入パンチが下降し、右手人差し指の第2関節と第3関節の間の親指側側面が挟まれ裂傷した。	60	154	7	50～ 99
2017	1	16～ 17	事務所加工場内に於いて、固定式ドリルを使用して鋼材に穴を開けていた時に材料が横転しそうになり、咄嗟に左手で支えた為機械に巻き込まれ、左手小指及び薬指を負傷した。	64	152	7	1～9
2017	1	19～ 20	工場内のターレットパンチプレスのテーブルとレールの近くで、中抜きカスを捨てる為に機械の下に入って作業していて、立ち上がる時にレールの角部分で腰をぶつけてしまった。	26	154	3	10～ 29
2017	1	11～ 12	プラスト工場で、ボックス（2m弱）によりプラスト作業中、脚立の後方にあるサンドブラストホースがからまっていたので戻そうとした時、バランスを崩して脚立から飛び降りたとき、右足の踵から着地し、踵を骨折した。	55	371	3	1～9

2017	1	16~ 17	製造現場でマシニングセンターの工具交換作業をしている時、工具交換のプログラム運転中だったが、運転を開始し、待っている時間（数秒）に他の作業をしていた。運転中だったが運転終了したと 思い込み、工具に手を伸ばしてしまい、その時に機械のアームが移動して、工具とアームの間に指を挟んでしまった。	41	159	7	1~9
2017	1	16~ 17	事業所工場内において、穴あけ機で鋼材（H型鋼、H300×300、長さ5m、重量450kg）に作業台上（高さ60cm）で穴あけ作業中、移動する時に躓き、2~3歩よろけてしまい、H型鋼を跨ぎ足を下したところがH型鋼の隙間だった為に倒れて負傷した。	65	521	2	1~9
2017	1	8~9	被災者は、生材置き場に、搬入された生材鋼板（2400×12.5m、t12、約2.8t）を、天井クレーンに吊ったリフティングマグネットを使用して、トレーラーから積み下ろす作業を行っていた。トレーラー荷台より鋼板を地切したのち、90度回転させて移動を試みたが、その際の回転力が強すぎて必要以上回転しそうなったので、思わず左手で押さえようとした時、回転が停止せず、そのまま添えた手とともに鋼板がトレーラーのアオリに激突し、左手第3、4指を受傷した。	58	211	6	1~9
2017	1	11~ 12	工場にて製品タンク製作中、内部溶接を行っている最中にズボンに火がつき、本人が気付くのが遅れ、他の作業員が先に気づき火を消してもらったが、火の回りが早かったため火傷を負う。	69	332	11	1~9
2017	1	14~ 15	工場内にて、出庫のため鋼材の整理をしていたところ、その鋼材が ずれ落ち、左足の甲の辺りに当たり負傷した。	69	379	4	10~ 29
2017	1	15~ 16	工場南棟の大型旋盤で舵の部品のラダーストック（鋼材）を旋削加工中、操作確認の為、操作盤のモニターに目をうつした為に加工物から削り出された切り屑が伸びてきている事に気付かず、長い切り屑が左肘に当たり裂創を負った。	39	521	8	10~ 29
2017	1	8~9	当社工場内にて、巾1.5m、長さ4m、板厚（6m/m×4枚＝ 24m/m）、重量1140kgの長方形の板を移動中、吊り具が外れ、ア	30	372	4	30~

			ゴ部分に吊り具部品が当たり、口元と口腔内を負傷した。				49
2017	1	13~ 14	会社内にて、プレスブレーキにて曲げ作業中、不要な金型を取り付けていた為、金型に左手人差し指をはさんだ。	34	154	7	1~9
2017	1	9~ 10	裏ヤード原料置場にて、古紙圧縮機（1.2m×1.2m×8m）を3分割にする為、開口部の内壁両側横方向に取り付けている30Kレール3本を圧縮機内部に入り、2m付近の位置で上部数センチ残してガス切断後、底部をさらに切断中に、切断した左側レール3本がゆっくりと倒れてきて左足の上に乗った。倒れてきたレールは、開口部側に固定されていなかった為、倒れてきたと思われる。	68	521	4	100 ~ 299
2017	1	19~ 20	工場内で治具（19.5kg）を台の上に平らに仮置きし、両手で掴み持ち上げようとした時、手が滑り手前に落ちた。その際、手前に立てかけていた治具との間に指が挟まった。	38	521	7	30~ 49
2017	1	10~ 11	作業現場で重機のアタッチメント（フォーククロー）の取り外しをしていたところ、本来抜くべきピンではないピンを抜いたとき、フォーククローが閉じてきて手をはさまれた。	32	145	7	—
2017	1	15~ 16	工場に於いて、製作中の円筒タンク（直径34M×長さ11M）を横に寝かした状態にして次の作業に着手する前に、本人が上部中程のケガキ線をチェックする為テーブルリフターを使用して上部に登り、そこを歩いたときに足を滑らせ、そのまま飛び降りる状態で足から落下し、両足のかかとを骨折した。	56	416	3	30~ 49
2017	2	11~12	当事業所の鋼材倉庫内において、鋼材の荷降し作業を終え、鋼材より降りる時（高さ1.5m）、雪で足を滑らせ片足が鋼材と鋼材の間（20cm）に入り、鋼材の端に尾?骨を打ちつけ負傷したものである。	56	521	3	10~ 29
2017	2	9~10	カッターでバンドを顔側に切った際に、鼻に軽い切傷と勢いで、左手人差し指、4針を縫う怪我をした。	27	529	8	1~9
			工場内で天井クレーンにて柱材を吊り上げ中、玉掛ワイヤーの長さ				

2017	2	13~14	の選定ミスにより、吊り荷が振れて架台に当たり、その架台が不安 全な位置で操作していた被災者側に倒れて、被災者の足を挟み負傷 した。	44	372	7	10~ 29
2017	2	9~10	当社第一工場にて、倉庫柱（9,217mm×588mm、1,800kg）の端梁を 溶接中に、別の柱を吊り上げている天井クレーン（A）に、隣の天 井クレーン（B）が移動してきた後に当該天井クレーン（A）に接 触したため、つり下げられた柱が反動で揺れ、溶接中の倉庫柱と反 動で揺れた柱に左手を挟まれ受傷した。	28	211	6	30~ 49
2017	2	10~11	当社敷地内、屋外製品ヤードにて、材料の荷降ろし中、台木が足り なかった為、底板がたわみ、吊金具のチェーンが地面と材料の間に 挟まった。それをクレーンで上げ引き出そうとして、チェーン吊 り元側でクレーンを操作し、チェーンを引いたが、チェーンが外れ た反動で自分にチェーンが直撃した。	57	211	6	10~ 29
2017	2	14~15	100tベンダーにて700mm×30mm×1.6mmのステンレス材曲げ加工 中、指が入った状態で上昇ペダルを踏んでしまい、金型に挟まれ骨 折した。	37	154	7	30~ 49
2017	2	14~15	E棟仕上げ作業場で仕上げ作業台の上でコラム材の反転作業をして いる時、隣に置いてあったコラム材の仕口（H鋼）部分との間隔が 狭く、反転しようとしたコラム材の仕口（H鋼）を持つ位置が悪く 反転した時、持っていたコラム仕口と倒した側にあったコラム仕口 の間に左手人差し指を挟まれ負傷した。	19	521	7	100 ~ 299
2017	2	16~17	コンプレッサー組立ラインにて、コンベア上からタンクを持ち上 げ、作業台に移す際に体をひねってしまい、腰を痛めてしまった。 前年に階段から滑り落ちた際に腰を痛めて以来、気を付けて作業し ていたが、今回痛めてしまった。	23	921	19	300 ~ 499
2017	2	10~11	当社工場内に於いて、作業員が溶接後の柱の溶接屑を取るために フォークリフトで柱を回転したところ柱が資材置場のH鋼に当た り、高さ60cmの所からH鋼（100×100×9000：150kg）が落ちて	57	222	6	1~9

			きた。近くで作業をしていた当人の左足ふくらはぎに当たりふくらはぎを裂傷し負傷した。				
2017	2	14~15	第二工場内資材置場にて、加工に必要な鋼材を資材置場より移動させる作業を被災者は行っていた。移動中被災者は右肩に鋼材を担いでいたが、バランスを崩し右側方に転倒し、転倒した際に右腕前腕を骨折した。	23	416	2	10~ 29
2017	2	2~3	当社の工場内で機械を使用し鉄パイプの切断を行っていた。鉄クズが発生したため取り除こうと掴み引っ張った際、右手人差し指の付け根を切創した。	41	159	8	30~ 49
2017	2	15~16	取引先でエア配管工事中、加工した配管を手で縦に持ち、フォークリフトのパレットに乗って上昇していたら、配管が天井のクレーン形鋼に当たって、配管の直下にあった足を挟んでしまい、右足の親指と人差し指を骨折してしまう。	31	521	7	10~ 29
2017	2	15~16	配達の帰り丁字路を右折しようとしたところ西日で前の電柱に気付かず、電柱にフロント右側を衝突した。	52	231	17	—
2017	2	15~16	配達の帰り丁字路を右折しようとしたところ西日で前の電柱に気付かず、電柱にフロント右側を衝突した。その時助手席に乗っていた。	51	231	17	—
2017	2	13~14	工場内で、マグネットドリルのキリを換えようとしている時に左手でドリル刃物の上部を持ち右手で軍手をしたままドリル刃物をつかみ外そうとした。本来は、巻き込み防止のために素手か革手袋を着手するが、当該作業者は軍手をして作業に臨んでしまっていた。交換作業中に、電源を切らずに作業していたため、途中でスイッチを作動させてしまい手が巻き込まれ、右手の指を負傷してしまった。	43	152	7	1~9
2017	2	3~4	当社内において、金属加工の作業中、機械を操作している時材料のロスに右手小指の付け根外側を機械に挟み負傷した。（ロス：金属加工後、残った材料）	54	159	7	10~ 29

2017	2	16~17	工場加工場内で切断機上部を歩行中にスリップ・転倒し尻餅をつき、その際に縦に向いていたD16の鉄筋が臀部に刺さり出血した。	39	521	2	10~ 29
2017	2	9~10	当社で製造した軽量鋼製パネルと受入先に納品し、荷降し場所の確認の為段差のある幅40cm、高さ75cmの布基礎コンクリート上部を歩行中にその段差に足を取られ、深さ75cmの設備用配管ピットに転落し被災した。尚、被災時はヘルメットを着用していた。	21	414	1	—
2017	2	14~15	1F工場、板を切っている際、ペダルを2回踏んでいることを忘れシャーリングの裏に回り、切った。板を取ろうとした際、シャーリングの刃で左手親指の先端を切り落としてしまった。	32	156	8	1~9
2017	2	16~17	当社工場内で、金具のバフ研磨作業中、レース機のバフを交換する為、レース機のモーターのスイッチを切ったが、回転するベルトが止まるのを確認せずベルトを掴んでしまった為、回転するベルトとプーリーの間に左手薬指が挟まれ骨折した。	35	153	7	1~9
2017	2	14~15	自社工場内に於いて、鉄筋自動曲装置で鉄筋（直径10mm、長さ300mm）の加工作業中、鉄筋を支えた手の位置が悪く、機械に近づけ過ぎていて、手はずすタイミングも遅かったため、親指が鉄筋と下から回転してきた機械のローラーに挟まり受傷したものである。	21	159	7	1~9
2017	2	9~10	工場内で2m×1mの鉄板が数枚で梱包されているものをずらし降ろした際に、左手の人差し指を挟んだものである。	34	611	7	10~ 29
2017	2	13~14	フレーム（鋳物）約250kgを作業台の上に載せて面取り作業を行っていた。フレームを立てた状態での作業を完了してフレームを横にするためフレームに吊り具を通して吊り上げた。フレームを30cm吊り上げた状態で作業台の上を右手で拭いていた時、吊り具がフックから外れてフレームが作業台の上にあった右手の上に落下した。原因はフックがしっかり掛かっていなかったため吊り具が外れた。	47	372	4	10~ 29
			切断した製品を運搬中、誤って製品を落下させてしまい左手中指を				

2017	2	11~12	挟む。両手で製品を持っていたが、右手を滑らせたために、製品と枕木の間で中指を挟んでしまい、指末節骨骨折、挫創してしまう。	23	611	4	10~ 29
2017	2	14~15	スキンパスロールで銀板の仕上げ圧延中に誤って左手が巻き込まれてしまった。	44	163	7	30~ 49
2017	2	10~11	半製品の置かれている場所（現場）で足が引っ掛かり、手をついた時、ヒビが入った。	55	417	2	10~ 29
2017	2	17~18	弊社北工場材料切断時に左手指3本を切断してしまった。本人は手を滑らせたと言っている。	49	159	8	50~ 99
2017	2	15~16	倉庫内の清掃中、箱内の清掃を終えて、箱より飛び降りた時に、左足首に激痛を感じた。	54	416	3	1~9
2017	2	8~9	当社第一工場内自宅型枠用UピンのU材プレス工程で、エラーが発生し、ワーク仕置き調整作業に入るため「非常停止ボタン」を押したつもりで、プレス機械の停止確認をせず、安全扉も開けず、作業棒や作業マグネットを使用せず、安全扉の隙間から金型の中に手を入れた瞬間にプレス機械が駆動し右手を挟まれてしまった。右手人差し指第二関節より上部と中指第一関節より上部を欠損した。同日の昼に搬送され、夕方に手術し入院し、後日退院した。	23	154	7	30~ 49
2017	2	16~17	鉄筋曲げ機を使って、鉄筋を曲げる際、垂直部分を握ったまま機械を稼働させたため、機械側面と鉄筋の間に右手薬指を挟んだ。	52	159	7	—
2017	2	8~9	鉄筋加工場において、機械を使用して鉄筋棒のU字曲げ加工の作業をしている時に、加工し終えた鉄筋を機械の近くに仮置きして次の鉄筋棒を加工したところ、アームが動き出した際に仮置きしてあった鉄筋を巻き込んでしまい、鉄筋を支えていた右手が挟まり負傷した。	44	159	7	1~9
2017	2	15~16	工場内で廃材を片付け中に道路上に仮置きした廃材の上で足を滑らせバランスを崩し転倒した。	54	521	2	1~9

2017	2	14~15	工場内でエアグラインダーでパイプ切断品のバリ取り作業中、機械スイッチを切らずに所定の位置に置こうとしたところ誤ってエアグラインダーを落とし、右足を負傷したものである。	69	153	4	1~9
2017	2	10~11	アルミ平玉80を治具にはめて、研磨の最中に、行ってはいけない角度まで操作してしまった。新しいペーパーの時は油を充分含ませないといけないところを怠った。左手首を捻挫し、2週間の休養を要する。	61	169	7	1~9
2017	2	8~9	始業後加工予定の母材内径に貼ってある母材カードを剥がす為に当該被災者が内径に手を入れている際に、同時にクレーンマンが当該コイルをラインに供給する為にリフターを降下させた。被災者はクレーンの死角で作業（身を屈めた状態）をしていた為、降下してきたリフターに頭から押しつぶされた形になり、無意識に横に逃げたが、背中を圧迫された。	34	211	1	50~99
2017	2	18~19	コイル材保管業運搬ラック（160kg程）の中央に、420kgのコイル材を1巻載せてフォークリフトで運搬していた。その際にリフトの向きを90度回転したところ、ラック上のコイル材が遠心力により傾いてしまい、重心移動した結果ラックがリフトの爪から滑り落下した。横転し左ラックを人力で元の姿勢に戻そうとしたが、ラックの重量を支え切れず、床とラックで右手中指を挟んでしまった。	30	379	7	300~499
2017	2	11~12	溶接作業場で溶接作業後立ち上がり歩きかけた時床に置いてある鋼材に躓き足を挫いた。	46	521	3	1~9
2017	2	10~11	当工場において、熔断作業台（高さ0.8m）の所から地面に降りる時に、バランスを崩してしまい、右足首をひねって損傷した。	29	416	19	30~49
2017	2	9~10	当社工場内で製品の乾燥炉の出荷に向けた解体作業中に炉壁の一部を、天井クレーンで吊り上げながら、脚立の上（高さ1.5m）でボルトを外す作業中に同炉壁と固定する最後のボルトを外した時点で、同炉壁のバランスが崩れ被災者に当たり、脚立から落下して負傷した。	44	371	1	10~29

2017	2	14~15	スポット溶接機の調整中にバランスを崩し倒れそうになった際、倒れまいとしチップに左手をかけたところ誤って同時に足踏みスイッチを踏んでしまい左手親指が挟まれ受傷したものである。	55	332	7	1~9
2017	2	16~17	製作所内において、プレス作業中に35tプレス機は安全装置がない状況で金型間で手を挟んだ。	56	154	7	1~9
2017	2	16~17	当社工場内で、トラックから、鉄スクラップの荷降しを行っている時、鉄片が右足の上に落下し、負傷した。	40	221	4	50~99
2017	2	14~15	会社の工場内で鉄材料を手を持って運んでいる時に足元の材料に足がのってしまい転倒してしまった。	29	521	2	1~9
2017	2	8~9	本社中央工場内においてプロジェクションスポット溶接機にて住宅用部材を溶接していた時、溶接済みの部材が固定されてしまいはずれないので左手で取り出そうとしていた時はずみで右足で溶接機のフットスイッチを踏んでしまい左手の親指が挟まれ負傷した。	20	339	7	30~49
2017	2	9~10	当社、第2工場t=200トルクプレス機にて、t4.5切り板の作業による抜き加工を行っていた際、材料を所定の位置へ置いた時、位置のズレが発生しそのズレを直している時、誤ってフットペダルを踏んでしまいプレス型の間に右手薬指を挟み負傷したものである。	51	154	7	30~49
2017	2	21~22	作業中、スライドがON状態でありスピードコントロールOFF状態になっていたため停止ボタンを押さずにON状態にしてしまったため、スライドが動いて右手人差し指を挟んだ。	51	159	7	50~99
2017	2	9~10	取引先の工場内にて溶接作業中、従業員がH鋼を下ろしたところ、クレーンで吊り上げてしまいH鋼が倒れて転がり落ちて、作業中の本人に当たって負傷した。	41	211	4	1~9
2017	2	8~9	工場内で焼き付けした商品を冷却後、炉から工場長と2名で台車を用いて搬出作業中、重量があるため台車の移動がスムーズにいかず、持ち手を変えながら押していた時に誤って台車のコマに指を挟んだ。	69	521	7	—

2017	2	15~16	工場内でパイプを切断するプレス機の刃を交換する作業中、一定の間隔で降りてくる上部の機械を予想していたが手を引くのが遅かった為、プレス機上部と土台にある突起物に挟まれ左手第4、5指を打撲骨折、手のひらを切傷したものである。	58	154	7	1~9
2017	2	14~15	工場内にて鏡板製造プレス使用中、本来飛散防止フォルダーを付けないといけないところ付けずにプレスした為、金型に圧がかかり、割れて飛散した一部が左腕に当たった。	75	154	4	1~9
2017	2	15~16	第一工場において、縞鋼板を加工する作業中に、倒れてきた縞鋼板（4.5mm厚、1219×2438）4枚、約440kgと運搬用に駐車していた2tトラックの荷台に左腕を挟まれ骨折した。	22	521	5	30~ 49
2017	2	5~6	閉鎖型せん断補強筋製造機械装置WH56号機の製品自動搬送装置にて、チェーンコンベアーに乗った製品1本をチェーンコンベアーが倒立中に左手で取り出そうとした。この時製品受台のストッカーに右手を置いていた為、立ち上がってきたチェーンコンベアーと受け台ストッカーの間に右手が挟まれた。更にチェーンコンベアーが立ち上がると同時にストッカーのチェーンが回転した為に、挟まれた右手中指が裂傷を負った。	54	224	7	100 ~ 299
2017	2	14~15	当社貯鋳ヤードにて、スクラップのガス切断中に切断した鉄製スクラップ（幅90cm×長200cm）が倒れ、その下敷きになり、胸部を圧迫された。	53	521	6	10~ 29
2017	2	9~10	荷降し場でトラックから2tの柱を降ろす時、周りの確認のための補助として入っていたが柱の枝が十字でその1本が地面についた時、バランスを崩して、倒れてきた。手を出さない様（倒れてきても）指示は出していたが思わず支えようと手を出してしまい、倒れてきた側から支えに行こうとして、枝に足をはじかれ骨折した。荷物の柱は、バランスを崩したとは言え、チェーンワイヤーで吊しているため地面に全てが降りきるわけではなかったため、労働者本人の上に落ちたりはしていないし、乗っていない。	41	211	5	1~9

2017	2	0~1	金型交換業務にて、金型を天井クレーンで吊り、設備上でクレーンを停止させ、設置場所の微調整をクレーンで行った際に、金型に添えていた右手小指を金型と設備の間に挟んでしまった。	43	211	7	50~ 99
2017	2	9~10	溶接をするため材料に開先を取るためにサンダーをかけていた時に材料を持っていた方の手が誤ってサンダーに接触してしまった。	43	153	8	10~ 29
2017	2	14~15	作業場で部品製造中、材料（鋼線）をセットする際、誤って左手を置いたままプレス機を作動（足でペダルを踏む）させてしまい、左手人差し指を挟み負傷した。	17	154	7	10~ 29
2017	2	10~11	被災者が、第3ヤード東側溶接場で、コラム柱の上でガウジング作業中、ガウジングの火花が飛散する中、火花が背中に飛んで燃え上がり、熱くなり気が付いて水をかぶり火を消したが、背中を火傷した。	39	332	11	1~9
2017	2	11~12	ステンレス板をクレーンにて吊って運搬中、誤って落下させ、右足の上に落とし、骨折した。	35	521	4	1~9
2017	2	16~17	工場内で運搬台車に立て掛けてあったステンレス鋼（重さ30kg）の板材を両手で上へ引き上げた際、右手首に痛みを感じ、その痛みがその後に継続した為、業務終了後に病院に行った。	29	521	19	100 ~ 299
2017	2	16~17	鉄筋を加工する工場を手動の鉄筋曲げ機で鉄筋を曲げる時に、いつもは手は安全な所を確認しながら鉄筋を持って曲げているのだが、この日、手の位置を誤って鉄筋が曲がる近くになり、鉄筋と一緒に、左手の親指が鉄筋と機械の間に挟まって怪我をした。	34	159	7	1~9
2017	2	11~12	本社工場において、出来上がった鉄製品（約400×1500×5mm×20個、全部で約30kg）を出荷の為に、台車に乗せて工場外に運び出す作業中、台車の片輪が出口シャッターの溝に引っ掛かった為、台車を手前側に動かしたところバランスを崩して転倒した際、製品を受け止めようとして負傷したものである。	34	417	2	10~ 29
			切断製品に付着しているノロを、専用工具（カス取り）で除去作業				

2017	2	16~17	中、取りづらいので力を入れて自分の方向に工具を向けた状態でノロを除去しようとした際にノロが浮いた状態となり、細くとがった先端が左手にはめていた皮手袋を突き破って刺さった。	25	521	7	50~ 99
2017	2	16~17	電着工場内の乾燥炉上に設置している脱臭装置の異音発生原因であるVベルト交換時に発生した。安全カバーを外し、異音箇所がVベルトであることを特定した後、装置の停止ボタンを押下したが、完全停止をする前にVベルトの裏側にゴム手袋をしたまま不用意に触れた結果、VベルトとVプーリー間に巻き込まれ、受傷した。	44	121	7	30~ 49
2017	2	13~14	プレス機に品物をセットし、手を離してスイッチを押さなければならぬのに品物に手を置いたままスイッチを押してしまった為、左母指を潰した。	66	154	7	10~ 29
2017	2	14~15	第5工場で製品梱包作業をするため、チェーンコンベア上で停止している製品の間を通り抜け、踏み台に着地するつもりだった。しかし、踏み台への目測を誤り、踏み台の無い所に足を着地した。そのため、バランスを崩し、対面の踏み台に、顔面を強打した。	62	413	1	50~ 99
2017	2	10~11	屋外ヤード・材料置場にて橋型クレーンを使用し、板の選別作業をしている時に、停止している端をクレーンのサドル部分（高さ1m程）に上がった際、足を滑らせてバランスを崩し、地面へ仰向けに転落し、腰を負傷した。	68	416	1	30~ 49
2017	2	10~11	機械が材料切れにて停止したため、機械北側原線置き場に立て掛けてある次に伸線する原線（1tコイル径7mm）のメタルタグを確認後、原線の正面に背を向けた状態で傍らに止めていたリフトに乗ろうと振り返った時、原線が倒れてきて左足が下敷きになり被災した。	52	521	5	100 ~ 299
2017	2	15~16	工作中、鋼材に躓き転倒して左手指を捻挫した。	65	521	2	10~ 29
			第二製缶40tヤード南側にて材料を置く場所を確保する為、天井クレーンにて自社製支柱の片付作業中、仮付け溶接にて床に固定した				

2017	2	10~11	自社製支柱を玉掛けし、自分で吊り上げ物を押さえながらクレーンで吊り上げたところ、仮付け溶接が破損し、自社製支柱に掛けていたチェーンフックが勢いよく跳ね上がり、被災者の下顎に激突した。	52	372	4	50~99
2017	2	9~10	直径50cmのフランジの左側を左手で支えた状態で右手に持ったディスクグラインダーでフランジ下部の板付け部を削っていたところ、はずみでグラインダーが左側に跳ねた時に左手親指に当たり受傷（裂傷）した。	43	153	8	1~9
2017	2	17~18	床木工場にて、建設機械の大型バケットでの鋼板切替作業中、高さ調整するのに、ハンマーにて半日以上たたき作業（耳栓は使用）を行っていた。作業終了後にずっと反響音が残った状態になっていると思い、4日間経っても良ならず、耳鳴りがするようになって受診する。	48	714	90	1~9
2017	3	11~12	当社加工場内で加工材料を移動中、吊り上げた材料が振られ足に当たり、その反動でふらつき後ろにあった機械に足をぶつけた。	50	211	6	1~9
2017	3	14~15	社内工場にて、1500×1000×1000程度の架台に部品を（5~7kg）取り付けしてボルトナットを固定する作業中、かがんだり、立ち上がったときに腰を痛めた。（架台を腰で持ち上げる作業を時々していた）	46	921	19	10~29
2017	3	13~14	客先にて廃自動車を積み込み中、4tユニック荷台上で左手でリモコン操作し、廃自動車を右手と右足でずらそうとした際に廃自動車が雨で濡れていたため滑り、バランスを崩し荷台から落下し、その際に右腕を下にした状態で着地した。	36	212	1	1~9
2017	3	11~12	会社工場内において、残土を入れる鉄製型枠容器を製造するため、鉄板（長さ3.1m×巾.52m×厚さ4.5mmの三角板、重さ約80kg）を加工中、持ち上げて位置を変えようとしたところ、誤って手が滑り、左手の指を挟み負傷した。	64	521	7	10~29

2017	3	14~15	製造現場でマグネットリフトを使用して鋼材の吊り上げ作業を行っていたところ、セット位置が悪く磁力が弱かったために鋼材が落下し、添えていた左手指を挟まれた。	38	169	7	100 ~ 299
2017	3	17~18	工場内で仕上げ作業中に、200mm角の机木に上がり、高さ1200mm付近の製品の仕上げ作業を行っていたところ、机木が反転し転倒し、右足首に重心がかかり骨折した。	50	371	2	50~ 99
2017	3	16~17	本社工場にてA角缶をカートに入れパレットに積む作業中、次のパレットを用意するため、立てかけてあるパレットを動かそうとした。パレットの移動は両手で行うところを片手で（右手のみ）で行ったため、右手首に負担がかかり捻ってしまった。当初は痛みはなかったが、そのあと痛みと腫れが生じた。	36	379	19	30~ 49
2017	3	13~14	工場内、プレス加工機による加工作業中、金型により安全装置を切ったまま作業したため、指をはさまれ骨折、切断した。	76	154	7	1~9
2017	3	8~9	工場内でクレーンとクランプ1個を使いCT鋼1本を運ぶ作業中、CT鋼が落下し、後方へ倒れ後頭部を打ち負傷した。	47	372	4	10~ 29
2017	3	10~11	会社工場にて鉄製パイプの加工作業中、作業台（H700mm）上にパイプ（Φ34mm）を並べ置き、パイプ先端のバリを電気サンダーを片手に持って作業台上のパイプを片手で押さえ、回転したサンダー砥石をパイプ端面に当てた際、パイプがはねて手元が狂い、押さえていた手にサンダー砥石を当てて負傷した。	30	153	8	10~ 29
2017	3	9~10	ダクトの製作作業を行っていたとき、後ろから直径214cm・幅75cm・重さ約1tの摺動管が転倒し飛ばされ左足をダクトに挟まれて負傷した。摺動管を他の従業員がチェーンで上から吊して移動させる操作をしていた際に、チェーンが絡まってバランスが崩れ、摺動管が倒れた。なお、安全靴とヘルメットは着用しており、玉掛け・クレーン操作は有資格者が行っていた。	63	211	6	10~ 29
			ダクトの製作作業を行っていたとき、後ろから直径214cm・幅75cm・重さ約1tの摺動管が転倒し飛ばされ左足をダクトに挟まれ				

2017	3	9~10	て負傷した。摺動管を他の従業員がチェーンで上から吊して移動させる操作をしていた際に、チェーンが絡まってバランスが崩れ、摺動管が倒れた。なお、安全靴とヘルメットは着用しており、玉掛け・クレーン操作は有資格者が行っていた。	29	211	6	10~ 29
2017	3	10~11	当社工場内にて塗装前の製品（配電盤の下部部品、約65cm×30cm×10cm）の吊り下げ作業中、高さ5mのレールに取り付けた吊り下げ用の治具に製品を取り付け、高さ約9cm位の台から降りながら振り向いた際、吊り下げ用の治具（通称ハンガー）の引っ掛け部位（4cm位出ている）が左目（眉毛と眼球の間）に刺さり受傷した。	43	224	3	10~ 29
2017	3	14~15	当社鉄筋加工場内で、鉄筋曲げ機を使用し鉄筋の曲げ作業（太さD19、曲げ角度180度）をしているときに、180度に曲がってきた鉄筋材と寸法出しの治具との間に右手中指を挟んだ。	38	159	7	10~ 29
2017	3	20~21	試し用材料をプレスするため隣に移動させようと向かい合い2人で上げようとしたところ、腰を痛めた。当初はあまり痛くなかったため通常どおり仕事をしたが、夜に痛みが出てきた。	35	521	19	10~ 29
2017	3	15~16	会社工場の前にて、トラックの荷台に積んであるチャンネル（鉄製溝形網、長さ1.5m、重量約20kg）を降ろす作業をしていたところ、手が滑ってチャンネルを右足の甲に落としてしまい、右足の中指を負傷した。	61	521	4	1~9
2017	3	16~17	自社作業場にて溶接作業中、サンダーがけをしていて鉄粉が目に入ってしまった（ゴーグル装着）。	48	153	12	1~9
2017	3	16~17	当社工場内でステンレスの薄い板の切断作業中、左手でディスクグラインダーを持ってステンレスの板を切断していたときに、グラインダーがはねて右手の人差し指に当たり、切傷を負った。	54	153	8	1~9
2017	3	14~15	工場内において、クレーン作業をしている時、ワイヤーを右手で支えながら巻き上げていたところ、捻じれたワイヤーに安全手袋が絡	64	211	7	1~9

			まっつてしまい、ワイヤーが勢い良く戻つたため、腕も一緒に腕も一緒に捻じれてしまった。				
2017	3	15~16	作業所にあるラウンド加工機の操作をしていたところ、切断した鋼帯を移動させるローラー部分に左手がはさまれた（軍手はしていた）。	64	159	7	30~ 49
2017	3	16~17	当社工場内に於いて、アングルを切断する作業をしているときに、鋼材を万力で締めていた時に誤って鋼材と万力の板との間に左手親指が挟まり負傷した。	34	364	7	1~9
2017	3	17~18	作業場で段ボール箱の荷物を車に詰め込むべく出入り口へ運んでいたところ、床に置いてあった木材に躓き転んだ為、左太ももを強打した。	55	417	2	1~9
2017	3	11~12	構内で溶接ワイヤーの交換中、手がすべり溶接ワイヤー（20kg）が高さ約1mから落ち、左足の親指を負傷した（安全靴着用）。	22	521	4	10~ 29
2017	3	7~8	事業所の敷地内を始業前の準備作業をしようと歩いて移動していたところ、昨日から降った雪で滑って転倒し、左足を負傷した。	63	719	2	30~ 49
2017	3	11~12	本人が社有車で目的地方面へ向かって走行していたところ、渋滞の最後尾になった。ハザードで後続車へ知らせていたが、後からトラックが減速せず追突してきて、玉突事故に巻き込まれた。救急搬送されるも意識はあり、大きな外傷は負っておらず、左脚大腿部や後頭部に少し痛みを感じる状態であった。	39	221	17	100 ~ 299
2017	3	16~17	自社作業所内で、シャッターケースの組立作業をしていた際、配線カバーにつまづき左足を捻った。	27	359	19	10~ 29
2017	3	21~22	工場内のNC機にて、ベアリング保持器部品加工中、製品（完成品）を洗浄した後、箱に詰めて台車へ積み上げる際（荷物寸法50×60×45cm、重量20kg、製品150個入り）、台車を洗浄器にはりつけて置かず、腕の力だけで作業をしたため、腰をひねった。	32	921	19	30~ 49
			弊社工場内にて、ブルーシートの上でセグメントにウレタンを塗布				

2017	3	9~10	している際、両手に道具を持ってあるいたところ、ブルーシートの間隙間に足が入ってしまい、膝から転倒し、右ひざの膝蓋骨を骨折してしまった。	61	379	2	50~ 99
2017	3	16~17	アルミホイール修正品置場を整頓している時、段積しているホイールを移動中、スペースが狭いため高く積み上げてあった。移動中に上部ホイールが落下してきて頭部に当たった。	44	222	4	30~ 49
2017	3	16~17	工場内の作業台に取り付けてあるバイスに挟んだ1.6mm鉄板（縦11cm×横16cm）に面をつけるため、ヤスリで擦っているときに腰を痛めた。	41	921	19	10~ 29
2017	3	9~10	本社工場内で使用しているスポット溶接機にスパッタがついた為、専用の道具（ドレッサー）を使わずに左の親指で取ろうとして、機械を止めずにスポット溶接機に指を入れたとき、右手がスイッチ付近にあったためスイッチに触れ、機械が作動して指を挟まれた。	44	339	7	100 ~ 299
2017	3	8~9	日常点検を実施後、切断作業を開始した直後、切削水量が少なかった為、設備が停止した。給油の為、切削油（20?缶）を両手で運搬している際、床面のエアースーツに足が引っ掛かり、前のめりに転倒し、左足を受傷した。	48	379	2	30~ 49
2017	3	16~17	ハンドルを使って鉄筋の曲げをしていたとき、鉄筋からハンドルが外れ、ハンドルが肋骨辺りに当たり負傷した。	74	364	6	1~9
2017	3	14~15	平面研削盤上部ドレッサーにある砥石を研ぐため、前後・上下に操作中、レバーの下部を持って操作しなければならないところを上部を持って操作したため、機械奥の壁に右手小指が接触し、小指第二関節あたりを負傷した。	22	169	3	10~ 29
2017	3	15~16	工場鉄塔の本体の解体中に、中央部に入れてあったボルトが外れ、鉄材（長さ2.5m・巾6cm・厚さ6cm）が外れてずれ落ち、左手を痛めた。	40	418	4	1~9
			当社工場内において、シャッターの部品のスラット（長さ6.7m、				

2017	3	11~12	巾10cm、重さ2枚1組で10kg)の洗浄作業中、高さ70cmの台車に10枚ほど積まれていたものが滑り落ちてきて、右太ももと右足首を受傷した。	66	362	4	10~29
2017	3	16~17	鉄筋加工場において鉄筋を曲げる作業中、手にはめていた手袋が巻き込まれ、指も一緒に巻き込まれた。	30	159	7	1~9
2017	3	13~14	本社北側の金属加工作業場において、自動太物曲げ機でD19Φの片アンカを曲げる作業中、鉄筋(長さ約3m、直径19mm)を機械に設置し、また自分の右手を鉄扉から離さないうちに左手で機械の鉄筋を曲げるスイッチを押してしまったため、右手環指先端部を挟み、右環指先端裂傷を負った。	22	159	8	1~9
2017	3	12~13	工場で作業中、溶湯のノ口を除去する為、溶湯搬送機による配湯終了待ちをしていたところ、配湯の際に飛び跳ねた溶湯が左手指にかけ火傷を負った。	54	169	4	50~99
2017	3	11~12	当社工場内でアルミ部材をコマ付台車に載せ移動中、建物と屋外の段差でバランスをくずし台車が倒れるのを防ごうとし、台車に挟まれた。	63	362	5	10~29
2017	3	16~17	当社工場にて完成品の出荷のため約30kgの鉄製品を仕分けし、寸歩検査・梱包をしていた際、無理をして一人で製品を持ったときに腰と足をひねり負傷した。	48	611	19	1~9
2017	3	11~12	作業場で部品の締め付けを行う際に、部品を安定させようと左腕で丸い部品を抱き、右手で締め付け、圧力をかけたところ肋骨が折れた。	44	521	19	50~99
2017	3	15~16	作業場でフラットバー(厚み6mm×30mm×100mm)をボール盤で穴あけ作業中に、フラットバーがドリルの先から引きあげられた時に手袋がからまり、巻きついたゴム軍手ごと左手小指第一関節からちぎれた。	35	152	8	10~29
			第二工場にて商品引き取り時、工場2階より金網加工品(約500				

2017	3	11~12	kg) を吊り下ろしのため荷造りベルトを掛け乗せる際に、ベルトの引っ掛け元がゆるみ出したためベルトがはずれ、金網加工品と樫木の間で左手第二指第一関節と第二関節の間を挟み骨折した。	56	521	7	10~ 29
2017	3	17~18	1t車の荷台から降りる時に荷台に積んでいたパレットに巻いてあったラップで足を引っ掛けてしまい、左足から落ちてヒザを強打した。	44	221	1	10~ 29
2017	3	10~11	会社倉庫の階段を段ボール箱の材料を持って降りていた時、前があまり見えずに滑って下に落ち、足首を骨折し、顔も負傷する。	46	413	1	1~9
2017	3	10~11	板を切断しようとガス切断機を使用していた時、誤って手を前に突き出してしまい、裂傷してしまった。	31	331	11	10~ 29
2017	3	16~17	中庭作業場横にて、オイルパンに入った水を出す為に鉄板をひっくり返そうとし、鉄板を支えていたときに誤って手をすべらせ、左足に落ち負傷した。	20	521	4	30~ 49
2017	3	15~16	加工した製品を降ろそうとした時、製品を誤って足元に落下させてしまい左足を負傷した。	39	611	4	30~ 49
2017	3	16~17	工場1階フロアにおいて、品物をクレーンで移動させようとした際、品物をフックにかけるため挟もうとしていたが、クラブごとはずれてしまい足元に落ち、左足を負傷した。	50	521	4	1~9
2017	3	16~17	本社工場内の母材置場において、加工予定品を移動させようとスリットコイル (約300kg) を人力で移動していた際、不注意によりバランスを崩し、スリットコイルが転倒し、左足膝をスリットコイルと工場床に挟まれ、左膝内側を負傷した。	23	611	7	10~ 29
2017	3	10~11	工場内で銅パイプ切断作業中、ポジショナーに銅パイプを回転させパイプカッターで切断中に、左手 (手袋装着) が回転する銅パイプに巻き込まれ、左手第4指・第2関節挫滅及び開放骨折した。	33	159	7	10~ 29
2017	3	11~12	検査室内で台車に積まれた製品の入った箱を運ぶ為、持ち上げ歩き出そうとしたところ台車に足を引っ掛け転倒し、左膝を強打した。	55	362	2	100 ~

									299
2017	3	14~15	<p>平面研磨機を操作中にテーブルの上が油で汚いためウエスで拭こうとしたため砥石に巻き込まれ、指の先端を砥石に削られ切断してしまいました。通常はワークを置くテーブルの掃除はダスター刷毛で掃除するため、ウエスは使わない。どうしてもウエスで掃除したい場合は必ず砥石を止めた状態で掃除するが、今回は本人が砥石を止めていたと思い込んでいたため、手をテーブルに入れてしまった模様である。</p>	44	153	8		10~ 29	
2017	3	8~9	<p>プレス作業場にて、ブランキングプレス機で円盤状にくり抜かれたブランク材（直径18.5mm厚さ0.45mm重さ9kg）を保管しようとしていた。荷台（キャスター4カ所、2ヶ所固定した状態）に乗せてあるブランク材を入れる専用容器（重さ15kg、コの字型で鉄製横70cm縦55cm高さ50cm）への積み上げ作業を行う際、作業スペースを確保しようと専用容器上部に両手をかけて引っ張った。本来は可動しているキャスター部分から動かすが固定されたキャスター方向から動かしたため、固定されたキャスター部分が支点となり容器のバランスが崩れ、容器の荷台とともに後ろ向きに倒れ、右足首上部に鉄製の容器の上部が乗った状態になり負傷した。なお、容器には、ブランク材が1500材積んである状態だった。</p>	35	611	2		30~ 49	
2017	3	16~17	<p>事業場作業場に於いて、丸鋸で廃棄用の木材を細かく切断しているとき、丸鋸が木材に引っかかった勢いで跳ね、左手親指に接触し負傷した。</p>	38	131	8		1~9	
2017	3	16~17	<p>現場へ向かう途中、トラックを運転している時に腰に痛みが出て動けなくなった。また、工場内で30~40kgの屋根材を中腰のまま両手を持ち上げて後方に振り返った際、急いでいたため勢い余ってバランスを崩し、腰を捻ってしまい腰痛を発症した。</p>	28	521	19		1~9	
2017	3	16~17	<p>当社工場内にて金物加工をしているとき、金物に油が付着していたため、作業台より移動させる際に手が滑り、金物が足に落下した。</p>	73	521	4		10~ 29	

2017	3	17~18	被災者が工場第2カードガス加工場で玉掛け作業中、臨時使用した架台に仮置きした板を吊り上げる際、板に取り付けていた小物が架台に引っ掛かり、架台が右足の上に転倒し、右足甲部を骨折した。	39	379	6	10~ 29
2017	3	0~1	酸化鉄回収現場で作業員Bが車上で積み込みに手間取っていたので、作業員Aが車上に登り、積み込み作業の応援を行っていたが、応援作業終了後、車上を移動中にバランスを崩し転落した。	62	221	1	10~ 29
2017	3	11~12	工場内で材料を加工する際、材料押さえのバイスと材料の間に手を置いた状態で押さえたため、挟まれ負傷した。機械を使い始めたばかりで作業手順に不馴れであった。	26	159	7	10~ 29
2017	3	15~16	工場内段ボール置場で、棚横で置いている上段にある段ボールを取り出す作業を行っていた。移動式作業台（高さ約2m4輪キャスター付き）を棚に平行に置き、作業台に登り段ボールを取り出そうとした。しかし、必要な段ボールが登り階段寄りであったため、階段寄りの位置で段ボールを取り出そうとした。その際に車輪止めをしていなかったせいで作業台が動き、バランスを崩して階段側に落下し、右前頭出腫と右手首を骨折した。	59	371	1	50~ 99
2017	3	9~10	工場内で4tトラックの荷台の片付け中、足を滑らせ後向きに転落した。	57	221	1	1~9
2017	3	14~15	当社工場内にて一人でパイプを製作中、これを移動させようとしたときに誤ってパイプを足の上に落とし負傷した。	48	521	4	30~ 49
2017	3	16~17	製品（マスト）の溶接作業終了後、脚立を使って降りようとした時に足を滑らし転落した。	54	371	1	10~ 29
2017	3	15~16	チェッカープレートにメッキ液をスムーズに通すため、プラズマで穴を開けていたところ、高熱の鉄粉が左耳に入り、鼓膜に穴があいた。	61	339	11	1~9
2017	3	13~14	重さ50キロの配管を作業員二人で運んでいた際、りんぎに躓き、	27	379	4	1~9

			持っていた配管が安全靴の先芯が無い部分に落下し、怪我をした。				
2017	3	11~12	自社製品倉庫内にて棚卸作業中に、高所にある製品をラック台の上 に上り確認していたところ、誤って足を踏み外し、左脇腹及び右足 の脛を強打した。	56	371	1	10~ 29
2017	3	9~10	事業場の試験室から金属屑の入った四輪付の台車（総重量約700 kg）の持ち手を引っ張って室外の通路に移動させる作業をしてい た。途中、試験室ドアのレール（高さ約2cm）を乗り越えるた め、少し強めに引っ張ったところ、台車が通路では止まりきらず横 断して、その先の道路部に落ちてしまった（段差約18cm）。その 際、台車が進行方向に倒れてしまい、持ち手と地面との間に左手を 挟まれた。	44	362	7	30~ 49
2017	3	11~12	プレス作業場で、200tプレス機で角パイプの穴開け作業中に、角パ イプの穴部にプレスの切り枝が詰まったため、タガネで叩いて取り 除く作業をしていた際に、保護めがねを装着していなかったため、 一部はがれて跳ね返った鉄片が眼に入り負傷した。	22	521	4	50~ 99
2017	3	11~12	鉄工所工場内を歩いて移動中、作業のため準備しておいたキャブタ イヤ（太めの電線）に足が引っかかり転倒し、地面に敷いてある鉄 板に左膝を強打し骨折した。	68	417	2	1~9
2017	3	15~16	作業所にてテント張替作業中に、階段足場（高さ2m幅1.5m）より 足を滑らせ着地した際、右足かかとを負傷した。	44	413	3	1~9
2017	3	14~15	工場にてフォークリフトグリストラップ作業中、フォーク取り外し の際、支えていたフォークと身体のバランスを崩し、フォークが落 下して持ち手である右人差し指を損傷した。	41	222	4	1~9
2017	3	15~16	工場の片付・清掃中、第一工場から第二工場へ移動中、両手に掃除 道具を持って階段を下りる際、足元の確認が不十分であったため、 踏面を踏み外し2~3段下に落下した。	34	413	2	30~ 49
			工場ブラスト作業室のドア（出入口）をブラスト室内から養生をす				

2017	3	13~14	<p>るため、養生用のベニヤ板（1800×1000×10、重さ約10kg）を段取りする際、移動させる為に台車（高さ600）に積もうとして両手でベニヤ板を抱え上げようとした時、右膝に鈍い痛みを感じた。膝に違和感を覚えたものの、挫っただけだと思い様子を見ていたが、日増しに痛みが激しくなってきた、靭帯損傷との診断を受けた。</p>	42	522	19	~ 299	100
2017	3	14~15	<p>事業所工場内にて、金型組立を分解中、金型を動かした際に左手薬指を裂傷した。</p>	67	521	7	1~9	
2017	3	11~12	<p>自社工場内で、右手にディスクグラインダー、左手にアルミ加工品（縦横30cm×20cm）を持ち、鋼材加工品の切断作業をしていたとき、鋸刃が弾き、刃が左手親指と人差し指に当たり切創した。ディスクグラインダーは鋸刃を装着していた。</p>	31	153	8	1~9	
2017	4	21~22	<p>プラスチック手選別工程にて、コンベアに乗って流れてくるプラスチックを手選別する作業中に、コンベアの架台とコンベアのクリートの間に隙間があり、その隙間に右手を挟んだ。</p>	51	224	7	~ 299	100
2017	4	10~11	<p>本社工場にてねじ穴を一度に4カ所加工するタップ作業中、潤滑油の調整がうまくできず、材料がずれるのが気になり、材料の端を指で押さえて足元にあるスイッチを押して作業を進めようとしたところ、材料のずれを気にするあまり、手元の注意がおろそかになってしまい、材料の右端の下穴の部分を右手人差し指で押さえたまま足元のスイッチを押してしまい、タップの針が右手人差し指に刺さってしまい負傷した。</p>	52	159	7	10~ 29	
2017	4	10~11	<p>当社メッキ加工作業場内にて（メッキ加工最終工程）、水洗い後、メッキ付着量を計量するため、台秤で測定しようとした際に発生した。クレーンで吊った状態から安定した状態（前倒しして平にする）で測定するため、手前に倒そうとしたとき、なまし鉄線1本で吊っていた鉄板重ね8枚（1000mm×1300mm×450mm重量470kg）が倒れ、作業員右足を圧迫し負傷した。原因は、加工製品</p>	67	521	5	1~9	

			の重量に対するなまし鉄線の選定と使用状況、および作業員数を増やすなどの状況判断の甘さにある。				
2017	4	11～ 12	NC施盤からフライス盤へ移動しようと振り向き、1歩目の左足が内側に滑り体が浮き上がる様な形になり、左側骨盤から尻もちをつくように強打した。床は若干滑る状態であり、且つ、安全靴が新品で底が硬く滑りやすい状態であった。	45	417	2	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	第2工場内で梱包作業中、機械で結束バンドを製品にかけている時に手袋がバンドに引っかかり、右薬指を挟み骨折した。	44	169	7	30～ 49
2017	4	10～ 11	作業場にて製品（鉄骨柱、重さ4.8t、長さ約10m、幅約2m）をクレーンで反転させる際、左手でクレーンのボタンを操作しながら、右手で鎖状の吊り具の位置を調整していたところ、右手が柱材と吊り具との間にはさまれた。	27	372	7	10～ 29
2017	4	16～ 17	当社内において、ステンレス棒鋼の伸線作業中、製品のキズの有無を目視しなければならないところ、指示をしていないにもかかわらず製品に触れてチェックし、製品と機械の間に挟まれた。	46	159	7	1～9
2017	4	15～ 16	工場内で2人1組で作業台にあったH型鋼を手でゆっくり一回転させる作業をしようとしていた。かけ声をかけ2人同時に動かしたあと、手を離さなければいけなかったのにそのまま離さなかったため、当人に鉄が傾き、作業台との間に指を挟んで骨折した。	18	521	7	30～ 49
2017	4	8～9	会社工場内で、焼付炉内の天面の拭きとり作業中、足場の（高さ約1.2m）上に昇った際にヘルメットが落下したため脚立を使わずに降りようとしたとき、足を滑らせ地面に転倒し、足場が設置されている斜面側から滑り落ち、左胸部から脇腹にかけて打ちつけた。	44	411	1	50～ 99
2017	4	15～ 16	工場内でプレス機械で製品の加工中に、誤って右手人差し指がプレス機械に触れ、右手人差し指を負傷した。	71	154	7	1～9
2017	4	11～ 12	治具の柄を作成中、角材を丸ノコで切断中に刃がひっかかって戻って来てしまい、押さえていた左手の小指を切創・骨折した。通常	57	131	8	100 ～

			は左手をその位置（刃の手前）に置いて押さえることはない。				299
2017	4	16～ 17	ドリルを使用して鋼管をカットする際に、鋼管を押さえていた左手をドリルに巻き込まれて受傷した。	78	152	7	1～9
2017	4	11～ 12	第3工場において、金型交換時ダイキャストマシンに同じ長さの棒を4本押入する作業中、1本だけ長さの違う棒を押入したため、長い方が押しつぶされその棒を外そうと右手を機械と棒の間に押し当てた所、マシンが移動して棒とマシンの間に挟まれ、右手を負傷してしまった。	23	159	7	50～ 99
2017	4	21～ 22	配達先にて階段から下りる途中、足を踏み外して転落し、右肩と右手を強打した。	42	413	2	1～9
2017	4	13～ 14	塗装場にて1人で立て掛けてあった扉の枚数を確認していた所、4枚目の扉を立てたため支えきれなくなり、扉が倒れて下敷きになった。	29	521	5	10～ 29
2017	4	14～ 15	工場内1号機スリッターラインで、巻き替えバリ取り作業中に製品の径が大きくなり手が届かなくなってきた為、台の上に乗り作業を再開した。台の上での作業が不安定になり、降りようとした際に製品に手をついてしまい、セパレータと製品の間指を挟まれた。	40	163	7	30～ 49
2017	4	11～ 12	自社工場にて、配管に閉止フランジ（14kg）取付時、取付部フランジと閉止フランジの間に手を入れた。左手親指のつけ根を取付部フランジと閉止フランジの間に手を入れて挟まれた。	62	391	7	10～ 29
2017	4	18～ 19	コイルビルドアップのコイル両端への普通鋼溶接作業にて、コイル尾端がペイオフリールから払い出されたのを確認し、コイルに巻いていた間紙をペーパーワインダーから抜き取る作業を行っていた。ペーパーワインダーから間紙を抜き取る為、両端のステップ間（約820mm）に足を掛けた際、右足をステップから踏み外して踏み外した右足頸部をステップ角部に打ちつけ骨折した。	53	419	2	50～ 99
2017	4	13～	工場にて天井クレーン配線および試運転中、クレーンガーターが転	57	211	5	1～9

		14	倒し、アングルの下敷きになった。				
2017	4	14～ 15	トラックから長さ約3Mの鉄パイプを降ろしている際に手が滑って落とし、近くでしゃがんで作業をしていた当事者の左首から上半身に当たり、両部全体を負傷した。	56	521	4	1～9
2017	4	9～ 10	出荷製品（バラ）を作成中に、作成している製品（バラ）を積み込むトレーラーが入庫したタイミングで出荷製品（バラ）の作成ミスが発生したため、慌ててミスの発生した製品の対処に向かう際、製品上から転落してしまった。第二工場内（製品置場）において、出荷製品の準備作業中に梱包された製品を注文で指定された本数へ組み直す。作成ミスが発生（出荷品と在庫品を逆に梱包してしまった）したため、製品の上面を移動しながら、目的の製品の上面に到着予定。長さ9Mの製品上から長さ7Mの製品上へ移動するつもりが9Mよりも2M短い事に気付く事が遅れ転落してしまった。	32	521	1	30～ 49
2017	4	11～ 12	当社工場内に於いて、治具の枝に部品をスポット溶接する為に枝と枝の間隔を測定中、体のバランスを崩してフットペダルを踏んでしまい、スポット溶接のピットが作動し、治具の枝に添えていた右手示指先端が治具の枝と部品の間に挟まれ挫創負傷した。	56	339	7	30～ 49
2017	4	16～ 17	第二工場仕上げ作業場にて、高く積まれた製品をクレーンで吊り上げた際、積まれていた製品が崩れ怪我をした。	54	521	5	10～ 29
2017	4	14～ 15	走行中（トレーラー、積荷あり）、カーブで右側に横転した。	55	221	17	30～ 49
2017	4	17～ 18	工場内においてクレーン作業で品物を回転させようとした時に、クレーンの位置の確認不足により、品物が地面を離れた瞬間に手を添えた際、品物と治具の間に左手が挟まった。	43	211	7	1～9
2017	4	10～ 11	仕上げ作業場において、プラスチック金型のスペーサーブロック部品（110×68×600）を作業台より落とした時、安全靴は履いていたのだが、足の甲にも当たった為、打撲になった。	27	521	4	10～ 29

2017	4	14～ 15	会社工場内にて油圧パンチャーを使用して鋼材に穴を開ける作業を行っていた。左手で鋼材の穴を開ける位置を変え、右手でパンチャーを操作していたところ視線を外した際、誤ってパンチャーのスイッチを入れ、左手人差し指をパンチャーで挟んだ。	63	159	7	1～9
2017	4	10～ 11	当社工場内において、研磨機で半導体製造装置の部品の研磨を行っていた。研磨面を直角にするため、製品（82cm×18cm×5cm、50kg）にひもをかけてクレーンで持ち上げ、機械面との間にシクネスを入れようと指先を入れたところ、ひもが一部はずれ、製品と機械面の間に指先を挟み負傷した。	64	521	4	10～ 29
2017	4	14～ 15	工場内作業所で、鋼材H200×100長さ90cm、重量19kgを手で持って運搬中、手を滑らせH鋼材の断面の角部が安全靴の左足甲の部分にあたり骨折した。	25	921	4	10～ 29
2017	4	15～ 16	以前に負傷した手手中指が炎症を起こし膿が溜まっており、数日痛みがあった手をかばいながら工場内にてドラム缶の下ろし作業をしていた所、トラックの荷台の扉とドラム缶に左手中指を挟んでしまった。	36	611	7	10～ 29
2017	4	14～ 15	当社第2工場作業場に於いて被災時開先機（加工機）の刃を交換する為専用レンチでボルトを緩める際勢い余って横の刃に右手小指の付け根を強打し受傷した。骨折しているとは思わず様子を見ていたが、痛みが引かなかった。	29	364	3	10～ 29
2017	4	17～ 18	同社工場の横（敷地内）を歩行中、湯洗（塗料の付着した治具を乾かしやすい状態にする場所、100℃近い温度）の近くで足元が濡れていて滑りバランスを崩した際に、右腕（肘付近）が湯洗に入ってしまった火傷した。	19	391	11	50～ 99
2017	4	13～ 14	二階から下におりる時に一番下の段で踏みはずし、右の足首を骨折した。	55	413	1	10～ 29
2017	4	18～ 19	当社工場でH鋼を整理するために、動かしているときに手が滑り、左手をはさんだ。	24	521	7	1～9

2017	4	16～ 17	自社工場にて、加工した鉄骨を重ねようとし、鉄骨の端を横にずらした時に、フランジの下に右手人差し指を挟み負傷した。	36	521	7	10～ 29
2017	4	13～ 14	当社倉庫内にて、現場で使うためのジャッキ（重さ約15kg、縦約30cm×横約20cm×幅約26cm）をトラックの荷台に積もうとした際、右肩をひねって痛めた。	48	921	19	1～9
2017	4	9～ 10	アングルの穴あけ中に、パワープレスの機械に左前腕が挟まれ負傷した。	52	154	7	30～ 49
2017	4	14～ 15	塗装を依頼するため、2tトラックで荷物（制御盤BOX・1860×2600×巾400、重さ200kg）を搬入し、荷降ろしの為ワイヤーを外した所、強い横風で制御盤BOXのバランスが崩れトラックの荷台から落下し、先端が頭部にあたり負傷した。	45	611	4	1～9
2017	4	10～ 11	休憩時間に作業場付近で配線につまづき転倒した。（配線は手元が暗かったため本人が準備した。）	80	417	2	10～ 29
2017	4	14～ 15	第1工場内にて30kg～40kg程のパネルを2人で持ち上げ移動させる際、腰に激しい痛みを感じた。	23	921	19	50～ 99
2017	4	10～ 11	工場内・入荷品、出荷品置き場で、トラックの荷台から一般鋼材（5～6m定尺パイプ）を荷下ろししようとした時、所定の置き場（床の上）に既に一般鋼材が大量に置かれていた。まだ一般鋼材を下ろす場所があるか否かを確認しようと、思わず既に置かれている一般鋼材に足をかけてしまった所、油がかかった一般鋼材の表面で足を滑らせ前へ転倒し、右第5中足骨を骨折した。	24	521	2	30～ 49
2017	4	20～ 21	Φ90×6000mmをPS-305でプレス作業中、曲がりが取れない箇所があるワークが1本あり、ワークを反転させるため手動運搬用台車にクレーンで乗せて手押しで反転しようとしていた。（過去に材料を反転させ作業したところ直った経緯があった非定常作業）ワークの乗った台車（ワーク重量305kg）を押した際に台車内でバランスを崩し、ワークが動き、台車ごと作業員の方向へ転倒した。咄	60	362	8	50～ 99

			嗟に身を引いたが、左足太腿に台車の角を引っ掛け裂傷した。				
2017	4	15～ 16	工場内の加工場で鉄骨製のラックを作製中、天井クレーンで吊られたラックを右に回転させたところ、勢いあまったラックで左肘を強打し、その衝撃で左肩も痛めた。	38	211	3	1～9
2017	4	10～ 11	台車にのせた材料が足の上に落下した。	62	521	4	10～ 29
2017	4	8～9	当社工場内にて3型の鋼矢板（7.0m4枚6.5m1枚）を水洗後の仮置き場から完成品に移動し、位置決めをして降す際に吊り荷がゆっくり作業の方へ寄り、隣の山と吊り荷で左足大腿部を挟み被災した。	74	211	7	10～ 29
2017	4	23～ 24	社長の特命で、幹事・世話役として新入社員歓迎会に出席した後、電車外回りに乗車後に眠り込み、目覚めて下車し、何らかの拍子に足を滑らせてホーム下に転落した。その際に右側頭部を強打し、外傷性クモ膜下出血となり死亡した。	48	419	1	10～ 29
2017	4	15～ 16	工場でプレス加工中に金型に人差し指を挟んだ。	64	159	7	1～9
2017	4	15～ 16	プレスに型を装着しスクロールチェック中に商品がずれた為、直すつもりで手を出した時にフットペダルも踏んでしまった。その際、プレスは作動中だったがスクロールは下に降りていて回転し、指を挟んでしまった。	51	154	7	1～9
2017	4	10～ 11	現場作業中、機械に乗ってストローク調整を済ませ機械から降りる時、足を滑らせて落下し、ハンドルのレバーに胸を強打して右手側の脇腹を骨折した。その際、折れた骨で肺も損傷した。	73	159	3	1～9
2017	4	15～ 16	当工場内で溶接作業中、休憩するときにヘルメットをぬぎ、スペースアームを所定の位置に引っばった所、自分の上に来た時にアームが落下し、肩と頭にアームが当たった。	67	339	4	10～ 29
		13～	当社工場内にて、塗装ラインで塗装用の製品のフック掛け作業中、				

2017	4	14	塗装ラインの台より降りたところ（高さ約50cm）バランスを崩して地面に尻もちをつき、腰椎を圧迫負傷した。	63	416	2	1～9
2017	4	10～11	製品に上がってグラインダー作業等が終わったので、およそ1mの高さから床へ前から飛び下りたとき、前方に置いた物が気になり右足つま先を曲げた状態で着地し、体重がかかり骨折し、折れたと同時に骨がずれて脱臼した。	48	921	19	50～99
2017	4	16～17	荷降ろし作業の為コンテナ内に上がろうと車両に右足をかけたところ踏み外してしまった。その際、掴んでいた両手が外れ後へ転倒し、両手で身体を支えたが右手首を骨折してしまった。	48	221	1	30～49
2017	4	15～16	ダイカスト第1工場のダイカストマシン2号機にて金型を取りはずし作業をしている時、金型が揺れないよう左手で金型を持ちながら右手でクレーンの上昇操作中、ボタン操作を誤り、クレーンが高速回転で巻き上がってしまい、金型とダイカストマシンとの間に指を挟まれて左手親指を負傷した。	23	211	7	100～299
2017	4	11～12	当社作業所内において、当社製品であるブリキ板のプレス加工業務中、誤ってプレス機の稼働中にブリキ板を置いてしまい、右手第一指の第一関節付近がプレスされた。	59	154	7	10～29
2017	4	9～10	パイプ（1.5m）の内径寸法の検査工程で、ゲージをパイプ内に通しストンとゲージが落ちれば良品と識別する作業中、ゲージがパイプを叩き付けたためゲージを取り外そうとした際、叩き付けたパイプ先端部分と地面に右手中指が挟まり、更にゲージが反動で損傷部位に落下した。	50	521	7	30～49
2017	4	11～12	製造ライン稼働中、電気炉（インダクションヒーター）の整列コンベア上で材料が段差に引っ掛かって止まっていた。被災者はその材料を取り外す作業をしていたが、設備を停止させずに、直接手で（軍手着用）取り外そうとした。材料が外れた際、材料を押し出す「突き出し棒」の力で材料がはじき飛ばされ、指に当たり負傷した。	45	521	4	30～49

2017	4	9～ 10	グラインダーで鋼管外面の研磨を行っていた際、一時休憩のためグラインダーを停止させ鋼管上部（曲面）に置いた直後、グラインダーが滑り落ちそうになった。落下を防ぐ為、咄嗟に受け止めようと左手で砥石部分、右手でハンドル（スイッチ部）を握ったところグラインダーが起動し砥石が回転し、左手中指第一関節に切創を負い腱が断裂した。	18	153	4	30～ 49
2017	4	9～ 10	地面に埋め込み式の鉄くず缶が一杯になり空の鉄くず缶に交換した際にバランスを崩し空の鉄くず缶の中に落下し、左ひざと腰のあたりを強打した。そのあと自力ではい上がり測定作業をする際にバランスを崩し、製品と接触して口元を切った。	62	418	1	—
2017	4	14～ 15	当社作業場において構内の設備に取り付けるための手摺の製作中、手に持っていた鉄パイプを誤って落とし、左足甲付近に落下し負傷した。	52	521	4	10～ 29
2017	4	9～ 10	トレーラー荷台プロテクター部分より頭から転落した。その後、通常通り勤務していたが気分がすぐれなくなり、手術を受け、頭部に溜まっていた血を抜いた。	42	221	1	10～ 29
2017	4	10～ 11	第1工場棟外ヤードサブマージ用BH置場にて、BHをクレーンを使用して横持ち台車への積み込み作業中、2段ピラミッドにハイ積みされた下側のBHに乗り上側のBHセンターにクランプで玉掛けを行い、センターの確認をしたのち地切りを行った時に、後方で別の作業者が同形状のBHを溶接治具より取り出し、ピラミッド状にハイ積みしようとした。BHの前端部が前方で地切りをしたBHの後ろ端部に接触し旋回した時、後方端部に退避しようとしていた被災者の右足首が地切りしたBHのフランジと下BHのフランジに挟まれ右足首を受傷した。	26	521	6	100 ～ 299
2017	4	11～	工場内において高さ50cmの定盤の上で長さ70cmの製品をサンダーで研削していたとき、体勢を崩し体勢を立て直そうと左手をサンダーから放してバランスをとろうとした。その際、サンダーが加	21	153	8	10～

		12	工物に触れて左手の方向にサンダーが動き、サンダーが左手に当たった。					29
2017	4	16～ 17	部材上で解体中に、姿勢を変える為にワイヤー吊り上げ準備中の部材に手を掛けたところ、部材が動きバランスを崩して転倒した。その際、転倒した位置にあった未解体の構造部材に脇を強打した。	18	419	2		50～ 99
2017	4	9～ 10	自社工場内にて、天井クレーンによりH形鋼（600×200×11×17）をクランプで吊って横に倒そうとしていたところ、クランプの挟み方が逆だったため引っ張りすぎた状態になり、台からH形鋼が滑り、左足の上に落ちてきた。	67	211	4		1～9
2017	4	11～ 12	工場会食場にドアを開けて入る時に、左足が段差（約15cm）で躓き前方に転倒し、両手で体を支えたが右肩腱板を断裂した。	55	417	2		30～ 49
2017	4	16～ 17	工場ですサンダー削りをしている時に、周りに物があつたため跳ね返って目に鉄粉が刺さつた。	17	521	4		1～9
2017	4	13～ 14	工場にて旋盤を使用し、旋削加工を作業員が行っていた。加工作業に集中していたため、機械の旋削部分に近づきすぎている事に気付かなかつた。そのまま作業を行った結果、機械に作業服（袖の一部）が巻き込まれ、機械の反対側に飛ばされた。巻き込まれた際に機械の切削部分に指も接触し、右手親指および人差し指と左手小指を負傷した。	43	151	7		30～ 49
2017	4	14～ 15	工場内にて、加工品の向きを変えるためベルト2本でつり上げていたとき、片方がずれて左足に落下した。	65	372	4		10～ 29
2017	4	15～ 16	25tプレスにて単発工程の作業をしていた。作業内容は、ボルスター上に設置してあるテーブルに加工前の製品を置き、肘を付けたまま、作業を行っていた。作業者は作業開始前に安全器の動作確認を行い、良好であつたため作業を始めた。安全器の最下点はボルスターより90mm、金型の最下点は、ボルスターより95mm地点にあつたが、肘が安全器の下を通る形となり、左手中指第1関節か	22	154	7		10～ 29

			ら上、爪を損傷した。				
2017	4	11～ 12	工場でコイルを製作作業中に、被災者はコイルの二段目を持ち上げた時に背中から腰にかけて激痛が走った。持ち上げたコイルの高さは床から0.6mで、重さは25kg（推定）である。持ち上げた時の姿勢が不適切であったと思われる。	76	611	19	10～ 29
2017	4	17～ 18	養殖池フェンス改修工事中にディスクグラインダーで鋼材（厚6mm×1cm×1cm）を切断中、グラインダーが手から滑って弾いてしまい左大腿部を挫創した。	36	153	8	1～9
2017	4	9～ 10	自社の従業員が海から船を本社へ回航中、車1台を本社に配車する為2台で本社に向かったが、自社の1台がセンターラインをオーバーして対抗の相手車と正面衝突し、首・肋骨・腰などを骨折し、腸及び肺が破裂した。	61	231	17	1～9
2017	4	11～ 12	工場内においてD16、7500切43本R5100を2本ずつ加工している際、鉄筋の先端に気をとられ材料を持っていた左手親指がローラーに挟まり、慌てて手を引きぬいた為、左手親指の爪と指の先端から1cmぐらいの所で切れた。	25	159	7	30～ 49
2017	4	10～ 11	車から下車した後、荷物を降ろしている時、シャッターの段差で右足首を捻った。	71	418	19	10～ 29
2017	4	11～ 12	自社敷地内でトラックに鋼材を積み込み作業中に、荷台からバランスを崩し転落し、トラックわきに転がっていた鋼材の角を踏みつけ右足首を骨折した。	36	211	7	1～9
2017	4	8～9	工場内での鉄骨の荷降ろし作業に於いて、トラックの荷台から床上操作式クレーンで鉄骨を吊り上げる際、被災者（玉掛け技能資格者）がチェーンを用いて4本の鉄骨を束ねる玉掛け作業を行っていたところ、クレーンオペレーター（床上操作式クレーン資格者）が、被災者が作業を完了して退避したと認識して巻き上げ操作を行ったが、被災者が右手を鉄骨の上に載せていた状態で完全に退避しておらず、巻き上げによる反動で重なった鉄骨の間に右手指を挟	68	211	7	30～ 49

			まれた。				
2017	5	8～9	工場内で製品の移動を被災者ともう1名が行っていた際に、被災者が高さ85cmの製品に登り玉掛け作業を終え、床に飛び降りた際に床に設けてある配線保護カバーの角を踏み、右足を負傷した。	62	521	3	50～ 99
2017	5	9～ 10	会社工場内で材料の積み下ろし中、高さ1m位の高さに置いてある梱包されていない鋼材を吊ろうとワイヤーロープを鋼材に掛けている途中、吊ろうとしている鋼材のすぐ脇にある他の鋼材が斜めに積んであり、不安定な状態だったため崩れてきて被災労働者の右足にあたった。	40	521	4	30～ 49
2017	5	11～ 12	受験を会社からの出張命令で出勤扱いにより、実技場で、作業服・手甲・保護マスク保護手袋・帽子・溶接面・ゼッケンを着用し、初層溶接を開始した。二層溶接を行った後、最終溶接テストピース後半に差し掛かり、段々と左腕に熱さを感じる。あと少しで溶接が終わるので続行したが、完了して面を上げるとゼッケンが激しく焼けて左腕と右胸が燃えていた。	37	332	11	1～9
2017	5	11～ 12	工場内の高さ1.5m程に積み上げたH鋼上で、しゃがんで角パイプをクレーンで吊り上げる作業をしていた。少し吊り上げた際に角パイプが動きぶつかりそうになった為、立ち上がった時に足を踏み外し背中から落下し、右足を鋼材に引っ掛けて靭帯を損傷した。	22	419	1	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場にて、室外機架台製作（約320kg）溶接中に品物を反転しようとして（既に固定用のシャコ万力を取り外していた）玉掛けをしに近付いたところ、急に品物が倒れてきて右足を挟み負傷した。	67	521	7	1～9
2017	5	10～ 11	作業場で、H鋼のガス切断の作業をしている時に、隣で作業をしていた別の労働者が切断したH鋼が崩れて腰に当たり骨折した。	29	521	4	10～ 29
2017	5	16～ 17	事業場内のパレット置き場の位置で、製品を取り出す作業中、パレットの2段目（1.8m）に足を掛けて取り出そうとした際、バランスを失い、飛び降りた時に両足かかとを強く打ってしまい、両足か	57	611	1	1～9

			かを骨折した。				
2017	5	14～ 15	会社工場内において、アルミ製品をメタルソー切断機で切断中、製品を手で押さえている時、手袋のほつれた部分がメタルソーに巻き込まれた。	61	159	7	1～9
2017	5	16～ 17	当社工場内で廃タイヤの処理作業をしている時に、廃タイヤがコンベアエンドとローラーの間に挟まってしまい、その挟まった廃タイヤを作業者が引き抜こうとした際に、別の作業をしていた者が誤ってコンベアのスイッチを入れてしまい、作動してしまったコンベアとローラー部分に作業車の左足つま先が挟まれて、脱臼をしてしまった。	34	224	7	50～ 99
2017	5	14～ 15	当社工場内にて、角パイプをボール盤で穴をあけている時、右手で切粉を払おうとしてボール盤のドリルに皮手袋ごと右手薬指が巻き込まれてしまった。	23	152	7	10～ 29
2017	5	8～9	工場内で鉄筋自動曲げ機を使って鉄筋（900mm×10mm）を曲げる作業をしている時に、右手が曲げ加工の部分に触れているのに、曲げ加工のスイッチを押した為、右手が巻き込まれて右手人差し指を負傷した。	38	159	7	1～9
2017	5	15～ 16	工場内の焼付釜に製品を台車に載せ入れる際、釜の入口の段差（鉄板一枚分の段差）で、製品と台車の間にあった木材がずれ、指を挟む。	58	362	7	1～9
2017	5	16～ 17	当社構内にて、トラック荷台にて客先から引き取ったスクラップの選別作業を行っていたが、選別完了後荷台から降りる際、後部アオリから降車したところ、左足が滑り、転落はしなかったが体が後部アオリの方へ振れステップ角で胸部を強打した。当初は軽い打撲と思っていたが、後日、トラック荷台に上がった際に強い痛みを感じた。	47	221	3	30～ 49
		14～	45tプレス機にスイッチ製品製造のため金型をセットし、材料を左手で持って送りながら加工の調整を行っている最中に、誤ってフッ				

2017	5	15	トスイッチを入れてしまい、左手の小指と環指の一部を金型に挟まれた。	76	154	7	1～9
2017	5	13～ 14	工場内を徒歩で移動していた際、床にあったコードに躓き、転倒しそうな為左足をついて体を立て直そうとしたところ、左足首に激痛が走り、そのあと左足首に力が入らず歩けなくなった。	59	351	19	10～ 29
2017	5	14～ 15	工場内でベンダー加工をしている最中に、誤ってベンダーの刃に左手を挟んでしまった。加工物が小さいために手で支えていたが、その時に稼働ペダルを踏んでしまった。	57	154	7	10～ 29
2017	5	10～ 11	締め機作業で円だしを行う際、足元に置かれていた円筒形の鉄材（直径1150mm、高さ100mm、厚さ6mm）を左足で押して移動させようとしたところ負傷した。	38	521	19	1～9
2017	5	19～ 20	機械工場内で、梱包作業をしている時に急いでいたため狭い所での作業となり、吊り下げクレーンが動いてしまい、クレーンに付いているマグネットに頭を打ち、創傷した。	49	211	6	10～ 29
2017	5	9～ 10	工場内で自動刻印機の点検清掃を始める際、機械の電源スイッチを切るのを忘れ、機械に右手中指を挟み傷を負った。弊社の製造作業標準に反して、点検を行うことを怠った為の事故である。自動刻印機は5秒毎位に同じ速度で作動するものである。	45	155	7	30～ 49
2017	5	11～ 12	敷地内で、H型鋼にサンダー掛け作業をしていた時、横にあった部材が作業に支障をきたしたので、右手にサンダーを持ったまま（機械を停止しないまま）、左手で部材を下方向に移動させようとした際、サンダーの刃がH鋼に触れ、その反動でサンダーの刃が左大腿部に当たった。	61	153	8	1～9
2017	5	4～5	高さ約70cmの高さの作業台で製品（長さ約2m、重量約7kg）面取り作業中、次の製品との入れ替えをする為に持ち上げた際に手が滑り、左足親指上に落として受傷した。	30	521	4	100 ～ 299
		17～	自社工場内にて帰宅支度中、作業台の下にあるパレットに足を引っ				

2017	5	18	掛けて体勢を崩し、受け身をとった際に痛みを感じた。	65	379	2	1～9
2017	5	15～ 16	制御盤（W1650×H2120×D600、重さ約200kg）の塗装をする前にシンナーで汚れを落とす作業中に、しゃがんでウエスをシンナーで濡らしている時、制御盤が倒れて右肩に当たり、左足を巻き込むようにひねって倒れ、左足を骨折した。	22	612	5	10～ 29
2017	5	15～ 16	鉄骨製造工場で屋外から屋内への梁の移動作業中、被災者が梁を移動用台車の上に橋形クレーンで置いた。その後、被災者は梁から吊り具のクランプを外し、別のクレーン作業で使う作業員Aに操作リモコンを渡した。Aはクレーンを移動するためクレーンを巻き上げたが、クランプが梁に引っ掛かり、梁が側にいた被災者を巻き込み転倒、落下した。その際、梁が被災者の胸部に落下した。	43	211	5	10～ 29
2017	5	15～ 16	当社工場内にて、棚に置いてある製品の確認作業中、棚の柱を左手で持って身体を支え、5～6cmの踏み台にのぼって棚の上部を覗き込んで確認していた。棚の柱を持ち直そうとしたところ、バランスを崩して後ろに尻もちをつくように倒れ、左肘とお尻を強打した。	52	371	2	30～ 49
2017	5	15～ 16	被災者が工場内で、トラックの荷台にコラム柱（200×200：長さ約5370mm）の荷積作業中、既に2段積載済みの状態である四方にブラケット（でっぱりがある形態部分）がある柱をその上に積もうとしたが上手く置けず、荷台の上で柱を本人がクレーンで回転させ置き直そうと柱を吊り上げたところ、クレーンの位置がずれ吊り上げた柱が自分の方向に向かって来て、置いてあった柱と吊り上げた柱に右足を挟まれた。	30	211	7	10～ 29
2017	5	18～ 19	客先にてトラックに荷物を載せ、バンドで固定する際、荷台でバランスを崩し転落した。	67	221	1	1～9
			工場内のプレス機にて外形穴抜加工の際、製品が小さく金属板を両手で支えながら作業する必要があった為、フートスイッチを使用して作業を行っていたところ、スイッチを離すタイミングが速かった				

2017	5	14～ 15	ためプレス機が途中で停止してしまい、機械を寸動工程に切替えて上死点まで復帰させ作業を再開した。スイッチを安全一工程に戻し忘れ、寸動工程のまま作業してしまい、抜き終わった製品を取ろうとしてプレス機に手を入れた際、誤ってフートスイッチを入れてしまい、機械に手を挟まれた。上司からは、製品が小さいため金型から外す際は手を入れずにエアーにて飛ばすよう指示を受けていたが、受傷者が工程を省略しようとして自己判断にて手で行った。	50	154	7	1～9
2017	5	10～ 11	アルミサッシ工場で、傾斜盤を使い型材を加工中、作業方法を誤り左指を回転中の刃で切ってしまった。	44	159	8	50～ 99
2017	5	16～ 17	鉄工所工場内にて、建物用の鉄骨部材の仕上げ作業中、手動サンダーを使用している時、サンダーの刃が鉄骨に食い込んでしまったため引き抜こうとし、引き抜いたはずみで自分の脛にサンダーが来て、自分の右脚（脛、甲）に刃が当たった。	76	153	8	10～ 29
2017	5	18～ 19	事業所作業場にて、トラック搭載のクレーン操縦席横のアームを修理後、元の位置に取付作業中、高さ2m50cm位の被災者が作業している所に手伝う為に脚立を上り、クレーン運転席の畳んであった背もたれ（手動式）に手を掛けたところ、背もたれが動いてしまい、その反動で背もたれから手が離れ、バランスを崩し脚立から後方に落下した。	69	371	1	1～9
2017	5	11～ 12	当工場内において鋼材をクレーンで移動させようと吊り上げたところ、床に2段積みで置いてあった鋼材の上段に当たり、その鋼材が左足の安全靴の上の部分に落ちて、甲の部分骨折した。	58	521	5	10～ 29
2017	5	13～ 14	工場内でアルミのアンクルにボール盤でΦ14の穴をあけている時、アルミの切り屑に手袋をとられて、ドリルに手袋が絡み、右手人差し指骨折、中指脱臼、薬指捻挫の怪我をした。	42	152	7	10～ 29
2017	5	14～	厚さ16mm、長さ3043mm、幅1412mmの鉄板をプレス機を使って曲げる作業をしている時に、鉄板を追上げていたクレーンの操作が不安定になり、鉄板を支えていた台座近くで、次の作業のために置いて	62	211	4	1～9

		15	あったクッション材（鉄塊）を取ろうとしていた被災者の右手に台座からずれ落ちた鉄板が落ちて、手を挟んだ。				
2017	5	11～ 12	工場内でダクト組立中、後ろにあった工具を取ろうとして足元にあったダクト材に躓き転倒しそうになり、左足を移動した時にダクト材で左足首外側を切傷し、バランスを崩して右手で踏ん張る際にダクト材で右手小指外側も切傷した。	42	521	3	1～9
2017	5	14～ 15	当社工場内の製品搬出作業場で、搬出口に10tトラックを横付けして、金型製品（1,000mm×1,000mm×1,000mm、1t）を10tクレーンで吊り上げ、トラック荷台に積み込み作業をしていた時、搬出口（高さ1m）の端から足を踏み外して落下し、着地した時に右足の足首と第4指と第5指を負傷した。	25	418	1	10～ 29
2017	5	10～ 11	ホイスト（屋内クレーン）で鉄板（2m44cm×1m22cm）を吊り上げた時、当鉄板と元々地面に積んであった鉄板に左足を挟んだ。	53	211	7	10～ 29
2017	5	11～ 12	工場内にて椅子に座って溶接作業をしていた時に、一度立ち上がり再度座ろうとした際に、椅子が元にあった位置からずれていたため尻もちをつき、腰を痛めた。	72	921	3	10～ 29
2017	5	15～ 16	工場内にて通路を移動中、体が不安定になり、脇のラックの支柱に右手をかけようとしたが、バランスを崩し転倒し、地面に左手をつき負傷した。	57	417	2	30～ 49
2017	5	2～3	工場内で積み上げられたT字鋼（長さ約6m、重さ約280kg）をクレーンで吊り上げた時、積み上げられたT字鋼がバランスを崩して両足に落下し、右足の外くるぶしを骨折し、左足を打撲した。	67	522	4	1～9
2017	5	16～ 17	鉄骨製品の溶接作業が終わったので下向溶接用回転機から、製品を降ろすため玉掛けをしようとして、回転機の上部蓋を外して製品の上（高さ1.6m）に乗った際、製品がぐらついて下に落下した。	29	521	1	50～ 99
		13～	派遣先にてプレス加工の材料鉄板を移動する為ワイヤーとシャックルで鉄板の穴があいている所にセットしている時、反対側で同じ作				50～

2017	5	14	業をしていた作業員がワイヤーを引っ張った為、シャックルと鉄板の間に右母指を挟んだ。	45	372	7	99
2017	5	9～ 10	梱包ヤードにてコイルの梱包作業中、梱包作業場所の横に転倒機のピット（高さ50cm）があるが、梱包作業中にバランスを崩し左足から落下し、左足を負傷した。	35	416	1	10～ 29
2017	5	17～ 18	出張作業中、同社工場構内で鋼材の整理中、溶接用ケーブルが梁仕上げの先端に引っ掛かり、それを若干引っ張った時に梁材が不安定だったので倒れ、左足首に落下した。	39	521	5	1～9
2017	5	16～ 17	同社工場内にて、フォークリフトでラックの上に荷物を積んだが荷崩れを起こした為ラックの上に登り、荷物を修正した。その後、ラック上部より飛び降りたとき、衝撃で両足の骨にひびが入った。	44	415	19	30～ 49
2017	5	15～ 16	製品組立作業場にて、製品組立用の作業台にのせて組み外しの作業を行っていたところ、製品が滑って落下しそうになったのを阻止する為に、反射的に手で受け止めたところ鋭利な部分が当たり、左手親指の付根付近を切った。	36	521	8	10～ 29
2017	5	13～ 14	当社作業場にてファスナー製品加工中、ファスナー上止機の作業部分のゴミ（上止片）を電源を切らずに右手で払い、誤って同時に足動のスイッチを踏んでしまい、右手人差し指に機械可動部分が下りてきて負傷した。	67	169	7	30～ 49
2017	5	9～ 10	当社スクラップ置場にて、作業のために積み重ねたスクラップの上部に梯子を掛けて整理作業をしていたところ、バランスを崩して1.5m下の床面に滑り落ちて、左膝を強打して負傷した。	68	371	1	1～9
2017	5	16～ 17	工場でスクラップ回収作業中、車の荷台より滑り落ちたスクラップ（2kg位）が転がって来て足に当たった。	21	521	4	1～9
2017	5	13～	本社工場プレス作業場で穴抜き作業中、穴抜き後の製品を右手で網パレ容器に移そうと製品を持った時、左横にある穴抜き前の製品置き場の製品が落ちて来たのに驚き、足踏みペダルに足をかけたまま	57	154	7	50～

		14	作業をしていたため思わず踏んでしまい、プレス機が作動してパンチホルダーと製品の間に左手中指を挟み開放骨折した。					99
2017	5	3~4	<p>ステンレス鋼板（厚2.0mm×幅1030mm）をスリットする為、ライン通板作業を行おうとしていた。取合せ作業の為、鋼板を前作業終了後、シャーでカットしてあった。被災者Aは、刃物前まで鋼板を送り込んでおこうとペンダントスイッチを操作し鋼板を進めた。</p> <p>入側シャーの出側100mmの所にある、支えロール（Φ100）下に鋼板先端が潜り込み操作を止めた。被災者は、鋼板先端下部にダンボールを当てれば、支えロール下に鋼板先端が入らないと考え、左手でダンボールを持ち、右手でペンダントスイッチを操作し、鋼板を進めようとしたが、ペンダントスイッチを操作した瞬間に鋼板先端が支えロール下部から外れ跳ね上がり、ダンボールを持っていた左手の平側薬指付け根に鋼板先端角が接触し切創した。原因は、鋼板先端が下反りで支えロール下に潜り込んだ際に支えロール前テーブルの片側（WS）のネジが外れ脱落していたためと考えられる。通板作業時は鋼板先端をリールまで戻し、上反りにしてから通板する手順が守られていなかった。</p>	22	156	6	50~ 99	
2017	5	21~ 22	<p>会社内の部品置場で、協力会社に部品を支給する為、重量物の部品を仕分していた時、30分~1時間の作業をしていて腰を痛めた。その時に立てなくなり、少し休んでようやく立てるようになったので早退した。</p>	37	611	19	100 ~ 299	
2017	5	11~ 12	<p>第2工場内において、バケットの吊り上げ、吊り下げ作業をしている時に、足元が悪く（コロコン）隙間に足をとられ、不安定な体勢になり転倒しそうになったので踏ん張った時に右足を捻り、かばおうとして首や腰を捻って負傷した。</p>	35	417	19	1~9	
			<p>当社工場内において、当日の仕事が終わったのでダクトの材料工具等を片付けていたとき、二階に荷物を持って上がり、片付けを済ませ階段を下りた。階段は鉄骨製で、セメント製の台（高さ約23</p>					

2017	5	17~ 18	cm、幅約1m) の上に取り付けられていて、一番下のセメント製の台から下へ右足から下りた時に右足首を捻って受傷した。翌日も痛みが治まらないので休んで家で様子を見たが、だんだん腫れて来た。	65	921	19	1~9
2017	5	14~ 15	第2工場T棟において、床面にH方向に置かれていた溶接ビルドエイチ部材（以下BH）を、10tクレーンでワイヤーチェーンに3tハッカーを取り付け、BHのウェブの片側1ヶ所にハッカーで玉掛けを行った。左手でクレーンリモコンを操作し、巻き上げ片側を地切りさせ、床とBHフランジの間に出来た隙間に右手で持ったリングを差し込んだ時、ハッカーが抜けBHフランジとリングに挟まれ被災した。	61	372	7	1~9
2017	5	14~ 15	作業場において、4tトラックから製品をおろす作業中に足を滑らせて転落した。その際、地面にあった枕木に強く当たり骨折した。	66	221	1	1~9
2017	5	13~ 14	ローリングマシンの芯金を交換するため、次に使用する芯金を一旦仮置き、そのあと両手で両端を持って上に持ち上げた際、芯金に付着していた油で手が滑り、芯金が落下し、左足つま先付近に接触して負傷した（安全靴着用）。	32	159	4	50~ 99
2017	5	9~ 10	プレス機による曲げ加工時（鉄板、厚2.3mm×幅20mm×長さ56.6mm、L字曲げ）、金型に材料をセットしていた右手人差し指が滑ったと同時に誤ってプレス機を作動させてしまい、その指を金型に挟んでしまった。それにより右手人差し指（第一・第二関節の間）をほぼ切断した。プレス機は、両手操作および足踏みドラムも可能なもので今回は足踏みで行った。	68	154	7	1~9
2017	5	14~ 15	会社工場内で、1m50cm四方の金網ドア枠の仕上作業中、作業台の上ののったドア枠の反対面の仕上作業をするためにドア枠をひっくり返そうとしたところ、ドア枠が右脇腹に当たり、食い込んだ状態でドア枠を作業台に置いたところ、右肋骨を損傷した。	45	521	6	1~9

2017	5	10～ 11	第4倉庫内で、鉄板を寄せようとしていた時に鉄板がずれ、右手中指と薬指を挟んでしまった。	29	521	7	10～ 29
2017	5	16～ 17	当社本社第2工場で、パイプに付着したアルミを剥離した後、パイプの両端から洗浄液が残っていないか確認していた。片方は指をパイプに入れて確認し、被災者は目視で確認していたところ、パイプから指を抜こうとした時に抜けにくかったため、力一杯に引っばってしまい、反動でパイプが被災者の左目に当たり負傷した。	37	521	6	1～9
2017	5	11～ 12	工場内にてプレス機械の安全装置の不具合を調整中に、入社間もない社員が安全カバーを取付けていない状態で当機械を操作し、当機械の金型内に手を入れてしまい、右人差し指を挟んだ。	42	154	7	10～ 29
2017	5	9～ 10	大型ラジアルボール盤にてノック抜け止めのTAP加工中（M12）、切粉を吹き飛ばそうとエアダスターを右手に持ち刃具近くまで突き出した際、切粉が引っ掛かって右手の中指と親指を骨折および裂傷した。	29	152	7	30～ 49
2017	5	16～ 17	倉庫内で、脚立を使用し10kg程の商品を3段の棚から降ろす際に右足から地面に足を着けようとし、脚立が右側に滑った。その際にバランスを崩し、左側に左足から転倒して被災した。	25	371	1	1～9
2017	5	10～ 11	当社事務所にて現場作業用ワイヤーの積み込みをしている時に荷崩れが起こり、左指（親指）を挟み負傷した。	24	611	7	10～ 29
2017	5	13～ 14	工場内にて、被災者がH鋼（15cm×15cm、長さ約4m）を2本溶接機でジョイントする作業中、鋼材を作業台の上で回転させるためにクレーンで吊り上げようと吊り具を装着しようと鋼材を引き寄せた時にH鋼が作業台から落下し、地面に一度落ちてバウンドし、右足甲に跳ね返り右第2、第3中足骨を骨折した。	49	391	4	1～9
2017	6	16～ 17	工場内で半自動溶接機で鉄筋加工品を溶接作業中に、右手でトーチを持ち、左手で鉄筋を押さえたまま溶接をしてしまい、溶接ワイヤーが被溶接箇所にあたらないで、皮手袋と作業服の隙間に入り、左手首を負傷した。	34	332	11	10～ 29

2017	6	13~ 14	材料を載せる台（腰の高さ）の上で材料を梱包している結束線を切る為に、台の上に登り、切った後、その台から後ろ向きに降りようとした際に、残っていた針金に右足が引っかかり、右足が着地できず、尻から落下した。その際に、右手小指側の手の平をぶつけ骨折した。台から落下した時に遠くの方まで飛ばされた為、そこにあった材料を溜めるラックの先端に左腕から引っかかり、左腕内側が切れ、7針を縫った。	69	371	3	10~ 29
2017	6	14~ 15	当社第三工場にて、FB・山形鋼・C形鋼の加工機械で、C形鋼の切断・穴開け作業中に、C形鋼を移動しようとした時、2本かみ合わせ状態の材料（長さ12m幅）を山形鋼専用ハッカーを使い吊り上げた為に途中で外れ落ち、膝元へぶつかりそのまま倒れ込み、膝が材料の下敷きになり負傷した。	57	372	4	10~ 29
2017	6	15~ 16	会社工場内において、アイアンワーカー（アングル加工機）で切断作業を終えて加工物のアングル（L50×50×6）を右側に干渉しないところまで動かしたつもりでターンテーブルを回した時、次のアタッチ部にアングルがぶつかり、そこに手を置いていた本人の右手親指が機械のガイドとターンテーブルにぶつかったアングルに挟まれて親指を負傷した。	30	159	7	10~ 29
2017	6	17~ 18	製造作業場内において、製作中ハウスの床板を貼る前の鉄骨柱の床（幅30cmの鉄骨材が25cm間隔で渡してある）の上を歩こうとして左足を踏み外し、鉄骨材の隙間に両足が前後に落ちた。はずみで上体のバランスを崩して横に倒れ、左足膝下を骨折し、右足に擦り傷を負った。	56	521	1	30~ 49
2017	6	8~9	工場内で切断作業の為、φ50×6mの丸鋼材を腰の高さ程の作業台にクレーンで載せた。既に載っている満形鋼を下ろしてからやればよかったが、手間をおしめ作業台に満形鋼が載った状態で丸鋼材を載せた。その後、満形鋼をクレーンで吊り上げると同時に丸鋼材が転がり、左足の安全靴の上に落下し、負傷した。	24	211	4	10~ 29

2017	6	14～ 15	工場外部カードにて、製品の出荷積込みのためにトラックの荷台へ移動したところ、既に積まれていた製品に頭をぶつけてしまい、その反動による地面への落下によって、左手首・左側胸部・右膝を強打した。（地面にはH鋼が置いてあり、その上に落下した。）	66	521	3	10～ 29
2017	6	16～ 17	自社工場内において、切断機にて鉄筋の切断作業中、材料詰まりがあったため手を入れて除去しようとした際、誤ってスイッチを入れてしまい、刃が落ちてくるところに左手小指を挟み負傷した。	52	156	7	10～ 29
2017	6	15～ 16	工場内プレス機ラインで、プレス機作業中に、製品取り出しとプレス機起動のタイミングを誤ってしまったため、金型に左手を挟まれてしまった。	30	154	7	10～ 29
2017	6	16～ 17	被災者と作業リーダーの2人でクッションストッパーの交換作業中、クッションストッパーの軸を固定する板の溶接作業をしていた。終わりに近づいてきたので、現認者が道工具や奥にあった残材を天井クレーンで片付けようとした。天井クレーンの電源をリモコンで入れ、クッションストッパーがまだ吊っていたことに気づかず、巻き上げたところ、ワイヤーが破断して、被災者の背中に倒れた。	39	521	4	1～9
2017	6	15～ 16	第5工場建屋内東側にある素材置き場にて、D22用スタンションに仮置してあった材料を取り出すため、玉掛け作業で地切した際に、隣のスタンションD19の材料が被災者側へ荷崩れし、そのあおりを受け、仮置きしてあった素材用のスタンションと荷崩れしてきた素材に右足を挟まれた。	37	521	5	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	工場内のパイプベンダー左側面から、銅パイプをパイプベンダーで曲げる作業をしている時に、パイプと機械（パイプを押さえるガイド部分）との間に指を挟んでしまい、左手人差し指を損傷した。当時、共同で作業をしていた同僚が、タッチパネルの操作を行っていたところ、機械が作動してしまい、ガイド部に手を掛けていた被災者の指が挟まれた。タッチパネルはデータ入力用で、パイプベ	31	159	7	1～9

			ンダーの操作は、押しボタンで別に設けられている。				
2017	6	8～9	工場内の治具剥離装置の電極バーが落下し、頭部や顔に接触した。 走行キャリア移動中に治具と電極バーが接触し、安定な状態が保てなくなり落下した。	39	169	4	10～ 29
2017	6	18～ 19	工場内にて作業中、切粉出しをしている時に、切粉を入れておく箱をどかすのに台車のストッパー付近を左足で蹴ったところ足首を捻った。	55	362	3	10～ 29
2017	6	14～ 15	当日、工場内において鉄筋を折り曲げ加工作業中、加工した鉄筋を自動に分別し、各場所へスライドしながら搬出する機械の側部と台座下部の隙間に左足を挟まれてしまい、その際に左足甲を負傷したものである。	32	169	7	50～ 99
2017	6	17～ 18	当社工場内において、T形状のアルミ材をカッターを使用し、切断加工を行っていた。切断作業を終え、回転を止めようと左側にあるスイッチをOFFにしようとして右腕を伸ばしたところ、前腕が刃部に触れ、切創を負った。	51	169	8	10～ 29
2017	6	9～ 10	工場内にて、レーザー加工機でステンレスの板（1m×2m、重さ16kg）を加工するため、機械に板を載せる作業をしていた際、汗をかいた手で持ち上げたため、板が滑り落ちそうになり、手で支えようとした時に、板の端が右腕に当たり負傷した。	47	521	4	1～9
2017	6	17～ 18	グラインダーを右手で持ち、左手でスイッチを切ろうとしたが切れておらず、切れたつもりで置いたところ、右手甲にグラインダーの刃が当たってしまい切れてしまった。	39	153	8	1～9
2017	6	11～ 12	当社工場内で、製品を入れる鉄製の缶（60cm×60cm×60cm、重さ50kg）が、通路（幅2.5m）上に出っ張っていたので押し戻そうとして、右足を後方に出して屈んだ時、従業員が運転するフォークリフトが左方から移動してきた事に気付かず、又、フォークの運転手も直前に足が出された事に気が付かず、踵を轢いてしまった。さ	30	222	7	10～ 29

			らに右足の親指が反っていたため、安全靴の中の鉄カバーが指に食い込み負傷した。				
2017	6	11～ 12	事業所内作業中に、金属コイルを移動させていたところバランスを崩し、コイルが倒れ、その際に左下腿部を擦り、負傷したものである。	34	521	4	1～9
2017	6	16～ 17	工場構内6ラインEブロックのヤード作業場において、脚立を使用して仮組みした桁上に上がろうとした時、手すりに手を掴み損ねて、下から3段目（高さ1300mm）から右側に転落し、身体の右側を打ちつけて負傷した。	56	371	1	100 ～ 299
2017	6	13～ 14	インナードラムの製作作業中、レバブロックを使用し組立作業を行っていたところ、レバブロックが外れ、顔面（左下口の辺り）に当たり、負傷した。	69	364	4	30～ 49
2017	6	11～ 12	当社作業場にて、荷物（電線の束）をリーチフォークリフトで移送中、荷物が揺れて落ちそうになったので、押さえるためにフォークリフトから降りた時に（高さ20cm）、右足アキレス腱を負傷したものである。	51	222	19	1～9
2017	6	20～ 21	鉄工所内で、被災者はトラックの荷台で積み込みした鉄骨製品を荷台上でチェックをしていた。チェックが完了したので、下へ降りる為に荷台から飛び降りようとした時に、荷締めをしてあったワイヤーに右足を引っ掛けてしまい、バランスを崩すような形でお尻から地面に転落し、右足脹脛と膝付近を捻り受傷した。	24	221	1	50～ 99
2017	6	11～ 12	工場内の在庫保管棚上段で（地上から約2m）、在庫の整理・片付けをクレーンを使用して行っていた。クレーンはレール等もある為、壁際に設置している棚の真上まで角パイプを移動させることは出来ない為、チェンブロックを使い、角パイプを棚まで引き込むよう移動させようとした際、角パイプの両端にセットしたチェンブロックの片体が外れ、振り子のように棚の上段にいた被災者に直撃し、工場内の柱と角パイプに背中と胸部を挟むように圧迫され	47	211	6	10～ 29

			た。				
2017	6	10～ 11	当事業場製品置き場において、フォークリフトを使用してH形鋼を台座に移動する作業中、切り欠きのあるH形鋼を誤って切り欠き部分を下にして置いたため、隣に置いてあったH形鋼に倒れ掛かってしまったので、フォークリフトから降りて手で動かそうとしたところ、倒れ掛かっていたH形鋼が台座の上で倒れ、そのH形鋼と台座の間に右示指が挟まり負傷した。	58	521	5	10～ 29
2017	6	14～ 15	台に載っているH鋼の仕上げ作業中、縦向き溶接を行った際、袖口から火の粉が入り、左肘付近に小規模（1mm）の火傷を負った。翌々日から水ぶくれになり、潰して消毒を行ったが、数日後、朝から火傷した左肘付近が腫れ、病院にて処置を受けたところ、滑液包炎と診断された。	29	719	90	100～ 299
2017	6	13～ 14	取引先納品場所において、空カートの積み下ろし時に、空カートがバランスを崩したので支えようとし、4tトラックの荷台から落下した。落下時に体勢を整えようとしたが、足のつき方が悪く、アキレス腱を切ってしまった。	41	221	1	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社工場内において、H鋼のショットブラストへの送り作業中、積んであったH鋼（40×20×200cm）がバランスを崩して倒れてきたため、左足膝下に当たり負傷した。	66	521	5	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社工場内において、サンダーを使って品物を削る作業をしていたところ、サンダーが品物に強く当たった際、反動で跳ね上がり、右手に当たって切れた。	31	153	8	10～ 29
2017	6	11～ 12	当社工場内にて、2人でベンダー機のクランプを調整中、被災者が機械に右手を置いている状態で、他の1人が調整が終わったと思い、次の作業をする為に戻しボタンを押してしまったため、機械とクランプに右手を挟まれ負傷した。	74	159	7	10～ 29
			自社の橋形クレーン（吊り上げ荷重2.8t）をリモコン操作で鉄骨階段の製品（幅1m、長さ4.5m、重さ300kg）3台を輸送用トラックに				

2017	6	16～ 17	積み込み作業中、1台を積み込んだ後に1台ずつ積み込むべきところを、2台を重ねた状態で吊り上げ移動させたため、バランスが崩れてつり具が外れ、落下した製品が頭部に接触し、負傷した。	58	372	4	10～ 29
2017	6	13～ 14	当社事業所工場内において、スポット溶接機にて金属部品にねじを溶接する作業をしていた。左手でワークを持ち、右手でねじをワークにセットしたまま、そのワークをスポット溶接機の電極（先端部）にセットする。ここで本来は右手を手元に引いた後に足で起動ペダルを踏むものだが、無意識のうちに右手親指でねじを押さえたままペダルを踏んでしまい、ワークと共に右手親指が電極の間に挟まってしまい被災した。当時の電極の加圧力は、推定で約300kgfであった。	48	339	7	30～ 49
2017	6	16～ 17	工場内において、自動車部品の製造作業中、道路を通らずに移動しようと台車を跨いだ際、跨ぎ切れずに台車に躓いて床に倒れ、右肩付近を強打し負傷したものである。	64	417	2	30～ 49
2017	6	8～9	工場内で製品の引っ掛け作業を始める前に、トイレに行こうと歩いていたら、濡れていたコンクリートの床で足を滑らせ、転んで負傷した。	41	921	2	10～ 29
2017	6	8～9	弊社第7工場内にて溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテールハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲へ落下した。	33	372	4	50～ 99
2017	6	13～ 14	当社土場（資材置場）において、資材道具などの片付作業中（雨天で現場が中止のため、土場での片付作業中）、土場に敷いてある敷鉄板（鉄製1500×5000）上を歩いていた時、雨が降り鉄板が濡れていたため、足が滑って鉄板上で転倒し、その時に右手小指を骨折した。	70	521	2	30～ 49
2017	6	11～	作業台にて、クレーンで金型を降ろそうとした時、金型を吊ってい	37	521	4	1～9

		12	た金具が外れて指を挟んだ。				
2017	6	16～ 17	工場内において、倒れ止め補強支柱の溶接が小さすぎて溶接が外れ、品物が転倒し、右足大腿部の上に倒れて切れてしまった。	51	521	5	1～9
2017	6	11～ 12	工場内で鋼材の出荷検査作業を行っている時に、工場内が高温多湿の状況にあり、熱中症と思われる症状（頭痛・倦怠感）が発生した。	32	715	11	30～ 49
2017	6	14～ 15	作り物の作業中、台の上（80cm）で溶接中に後ろ向きで歩き、足を滑らせ転倒し、左手をつき骨折した。同時に、台の作りかけの物が落ちて挟まれた。（重量約50kg）	32	416	1	1～9
2017	6	8～9	会社工場内で北側通路を歩いて移動中、身体を捻って振り向いた際、同方向からバックで警笛音を鳴らしながら進行して来たフォークリフトに気付かず、開いた左足先を安全靴の上から踏まれた。咄嗟に左足を引き抜くことを考え、力任せにフォークリフトを突き倒すように押したはずみで、コンクリート床面に叩きつけられ、右足を負傷した。	72	222	6	30～ 49
2017	6	18～ 19	当社工場にて、クレーン油圧シリンダーブームの外面金属部分をガス切断作業中に、内部油圧シリンダー密閉タンク内の残作動油が熱で膨張し、切り口面から昇化噴出して、火点に引火し、火柱が顔面を直撃して左半分に火傷を負った。	41	312	11	10～ 29
2017	6	16～ 17	第3工場では孔明け複合機で加工中に、被災者が複合機の先にあるコンプレッサーのリセットボタンを入れようと、複合機ローラー架台（床から800mmの位置）を乗り越えて降りたところ、50mm程度の配線の上に降りてしまい、右足首を損傷した。（足元の確認を怠った。）	37	351	90	50～ 99
2017	6	16～ 17	ボール盤でタップ加工時、加工が終わった製品を外そうとしたところ、タップが回転している所へ手袋が引っ掛かり、巻き込まれて右手薬指第一関節付近を負傷した。	61	911	7	1～9

2017	6	8～9	自工場内において、マシニング機械の調整作業中に、本体側の状態を確認した後、コントロールボックスの操作に行く途中で鉄板蓋の上を走行した時、雨の湿気と機械油で鉄板上が滑り易くなっていたことと、安全靴が耐油性でない普通の安全靴で走行していたため、右足が滑り後方に倒れた際、左足首を捻り骨折した。	49	416	2	30～ 49
2017	6	21～ 22	機械加工の終了した製品をクレーンを使用せず降ろしている時に、機械の階段で足を滑らせてしまい、製品が左手首に落ちたことにより、左前腕切創・神経断裂となった。	21	413	1	50～ 99
2017	6	19～ 20	当社溶接作業場にて、一辺15cm程度の箱状の板金物の溶接跡をグラインダー（ハンディタイプ）で研磨していた。左手に鋸金、右手にグラインダーを持ち、50個中残り2、3個まで作業を進めた時、次作業のことを思考するようになって注意が散漫になった瞬間、右手グラインダーを左手方向に押し込んでしまった。	28	153	8	10～ 29
2017	6	15～ 16	工場の材料置き場で、他の作業員がフォークリフトで材料を移動する際、補助目的で方向を誘導している時に方向ばかりに気を取られ、フォークリフトの爪が上下しているのを見落とし、爪と地面の間に両足を挟まれてしまい、左足の親指を骨折してしまった。	18	222	7	1～9
2017	6	17～ 18	工場内の清掃中に、長さ1m程のパイプが置いてあるラック下の間隙40cmの所をホウキで掃いていた時に、右手甲をパイプ先端部分に強打した。加工前のギザギサとしたパイプ先端だったため、手の甲の伸筋腱に強い圧力がかかり、中指の腱が切れた。	26	521	8	10～ 29
2017	6	11～ 12	ヤードにて、H鋼の加工の為に吊り具で吊って移動させようとしていた際に吊り具が外れ、吊っていたH鋼が自分の方に転んで右足に当たり、右足親指・人差し指・小指を骨折する怪我を負った。	41	372	6	1～9
2017	6	13～ 14	工場内でスクラップを移動式（床上）クレーンを用いて降ろす作業中、吊り具の荷に合わせた調整が不十分であった為、スクラップが吊り具から外れて落下し、左手が下敷となった。	67	372	4	1～9
			作業場にて、機械加工（センターレス研磨）作業をしている時に、				

2017	6	14～ 15	加工物を取り出す際に、左手小指から薬指が接触した。負傷後、仕事を中止した。	62	153	7	30～ 49
2017	6	7～8	工機工場（第二工場）内において、バツカン（金属の箱）に小口の鋼材を入れ、そのバツカンをハッカーにて吊り上げて移動しようとした際にバランスを崩し、バツカンごと右足に落下し、親指・人差し指・中指を複雑骨折した。バツカンをハッカーにて吊り上げた時に、ハッカーが滑り外れたと考えられる。	23	372	4	50～ 99
2017	6	10～ 11	工場内で、持ち込みのトラックの上にシートを掛けていた時に足がふらつき、荷台（高さ1.7m）上から転落し負傷した。	55	221	1	1～9
2017	6	17～ 18	清掃をしていたターンテーブルに右手を持っていかれ、右手がターンテーブルとフレームの間に挟まれ、右手圧挫傷及び打撲傷を負った。	42	169	7	50～ 99
2017	6	9～ 10	塗装ブース内の清掃中、壁板（鉄製）を外して移動中、壁板にはグリスが付着しており、更に地面にはペンキ（塗料カス）があり足場が悪かった。被災者は、足場が悪いため長靴を着用していた。（プロテクトなし）壁板の両端を持っていたが持ち方が悪く、グリス付着の壁板を移動する時、両端を持っていたために手が滑り、左足3指に壁板が落下した。	45	521	4	30～ 49
2017	6	8～9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向いた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	521	6	10～ 29
2017	6	8～9	鉄筋配筋工事中に、本人が座り込もうとした時に、下に置いてあった鉄筋を踏みつけてしまい、上に向いた鉄筋が、陰囊部に刺さった事故である。	43	521	6	10～ 29
		9～	一次加工、鋸盤（切断）での2回目の切断準備中、切断マークに光を当て鋸刃の影に切断マークを合わせる作業中、工場の明るさで、鋸刃の影が見えにくかったので梁の上ののぼり切断マークを合わせ				10～

2017	6	10	る作業を行い、作業完了後、梁の上から降りる時に足が梁のフランジに引っ掛かり、そのまま前に転倒した。転倒した時に、下に置いていたH294×200×8×12、長さ400の切れ端（スクラップ）のフランジ上面に顔をぶつけた。	22	418	1	29
2017	6	10～ 11	本社鑄造工場で鑄造作業中に、金型と製品が引っ付いた為、バールを棚から取ろうとした時、台の上に置いてある鉄板に当たってしまい、台から鉄板が落ち、右足の小指に当たり骨折した。	30	521	4	50～ 99
2017	6	11～ 12	パイプに穴を空ける作業中、貫通直前にパイプがドリルと一緒に回って、右膝に当たり負傷した。	40	159	6	1～9
2017	6	14～ 15	工場内にて鉄骨階段の溶接作業中、架台に載せてあった階段に足を引っ掛けたことによって階段が倒れて、架台と階段に挟まれ、左足の甲の部分の部分を切り、9針縫った。	46	521	5	1～9
2017	6	16～ 17	収納する材料（アルミ板厚さ約1.5mm×長さ約8m）をパレットに積み込み、リフター（幅約3.41m、高さ約44cm）を作動させたところ、積み込み場所の材料がパレットよりはみ出している様に見えた。材料の積み込みを直そうと慌てていたため誤って、動作しないリフターの停止ボタンを押し、積み込み場所へ移動した。既に安全柵内にパレットが移動していたため、安全柵の低い所（開口部分高さ約55cm）から立入禁止の柵を越えて入ったところ、一旦停止していたリフターが（上下左右に動く前に一旦停止する）動き出し、柵とリフターの側面に足が挟まり、少し体が持ち上げられる形で、柵の角で右足大腿部を切り、両膝を挫創し救急車で病院へ搬送された。	52	229	7	30～ 49
2017	6	16～ 17	工場内において旋盤で材料を加工中、削り屑が材料に巻きつくのを防ごうとして思わず左手を出してしまい、切り屑で手の平側の親指第1と第2関節の間を損傷した。	31	151	7	10～ 29
2017	6	8～9	工場において、クレーンを利用してトラックにH型鋼を荷積み作業中、チェーンに左小指を挟み負傷してしまった。	39	372	7	10～ 29

2017	6	13~ 14	プレス加工中、通常であれば切り板1枚を抜くと金型の下に16枚たまるため、取り出してパレットに入れるところを、忘れて2枚を抜き、その上に3枚目の5枚を抜いた時に下にたまっているブランク材が手前に飛び出し、作業者の左手の小指と左腹部を直撃したため負傷した。	50	154	4	10~ 29
2017	6	9~ 10	工場で、大型トラックの荷台（地面から約1.78m）にて鉄骨の積み込み作業中、荷締めしようとして荷台の端に立った時に足を踏み外して落下し、右足の踵を強打した。	60	221	1	10~ 29
2017	6	15~ 16	セットボルトをゆるめたのを忘れて作業をした為、品物が倒れた。足を挟んで倒れた為、腰を強打し、圧迫骨折をした。足を挟んだ時に溶接中だった為、火傷も負った。	63	521	4	50~ 99
2017	6	0~1	乾燥炉に製品を単体で挿入して、玉掛け具（スリング）を中で外し、出ようとタラップを上がり最上段のバー（丸棒）を握った瞬間に落ちた。	28	371	1	30~ 49
2017	6	14~ 15	回転台を使用してブーム材本体に裏当て材を溶接する作業をしていた。溶接後の仕上げをしている際にブーム材が滑って落下し、左足を直撃し、左足甲を骨折した。ブーム材自体も小さく、リン木を挟んで固定していたが、作業性を考えてブーム材を手前側に寄せ過ぎていたために落下してしまった。	48	521	4	50~ 99
2017	6	11~ 12	当社塗装工場にて、鉄板（70kg）を塗装の前処理作業のため、天井クレーで吊り上げていたところ、吊り金具がきれいに入っていなかったため外れ、右手人差し指が鉄板とパレットの間に挟まれて被災した。	50	211	7	1~9
2017	6	15~ 16	客先敷地内で、納品受領印をもらうため、4tトラックを停車し車を降りた。サイドブレーキの利きがあまく、トラックが緩やかに動き出し、トラックと小屋のシャッターの間に身体を挟まれて負傷した。	58	231	7	1~9

2017	6	15~ 16	工場敷地にて4tトラックに鋼材を積み込み作業中、積み込んだ鋼材を荷締め機で固定しようとしていた時、鋼材の上に乗って作業をしていて滑り、鋼材とトラックのタラップの間に右足が挟まり、右足で体を支えようとして右足が曲がり、右膝を骨折した。	58	521	7	1~9
2017	6	16~ 17	工場内1Fにてクレーン作業中、原板（長さ2,500×巾300×厚80、600kg）をばん木の上に下そうとした時に、原板が傾いて膝の上部を打撲した。スリングで吊っていても据付け時には吊荷が傾くことがあると、充分確認した上で作業を行わなかったために起こった事故である。	32	211	6	1~9
2017	6	16~ 17	キャビネットの引き出しレール（39mm）を曲げていて、角度が出なかったのが二度曲げた時に、右手人差し指を挟んで負傷した。	23	154	7	30~ 49
2017	6	10~ 11	事業所敷地内において、鋼管を地表より40cm位の高さまで持ち上げた際、腰に激痛を覚えたものである。	52	521	19	30~ 49
2017	6	9~ 10	機材置き場において、鉄筋2束（長さ4m、重さ2t）をクレーンを使用し、トラックの荷台に乗って荷降ろし作業中、鉄筋を持ち上げた際、吊ワイヤーがフロントアタッチメントに引っ掛かったため一度下げたところ、積んである鉄筋と下げた鉄筋とで足が挟まりそうになったため、トラックの荷台（高さ2m）から飛び降りて転倒した。その際に、右足と腰を負傷した。	61	416	3	10~ 29
2017	7	11~12	被災者は丹入（たんにゅう）という金属部品の解体作業中、サンダーを用いてネジを外そうとした時に、誤って手を滑らせ傷病部位に当たり、負傷に至る。	70	159	8	10~ 29
2017	7	15~16	トレーラーの荷台に積んである製品の合番を見るために製品にのつた時（のぼろうとした時）、すべって地面におちた。	61	221	1	50~ 99
2017	7	11~12	工場内の作業で鉄板を吊っているときにクランプから鉄板がはずれ足に落ちた。	56	372	4	1~9
2017	7	15~16	自社にて、計3名でパソコンの入ったオリコンを手作業で荷降ろし	43	611	19	30~

			中、荷を持ち上げた際に腰に痛みが走った。				49
2017	7	11~12	当社工場内に於いて、アーク溶接の作業中、業務が逼迫していたがために使用していた溶接機を性能の限界を超えて連続稼働（原則はON⇔OFFを随時切り替えながら稼働させること）させてしまい、溶接機付随の溶接棒の持ち手部分が通常以上に高温化。そこに誤って右手を当ててしまい、当該示指及び中指を火傷。当日は応急処置を施した上でそのまま勤務し帰宅したが、その後徐々に症状が悪化してきた。	46	332	11	1~9
2017	7	9~10	スキャシャーリングでのSCGA270E1.0×275×80、204枚約35kg加工板製品を手で持ち、運ぶ際に足元のエアホースにつまづき転倒、持っていた製品に胸をぶつけた。	42	417	2	10~29
2017	7	14~15	ケーシングの架台の上にパレットを敷きその上に乗り、扉をのせてクレーンで1m位吊り上げて素手でラップを巻いていたところ、体勢を崩した際、ケーシングに左手でつかまりながら下降したので、ケーシングの突起物（部品）に当たり、怪我をした。	35	379	3	30~49
2017	7	10~11	工場内において前処理のため、品物の入った箱を持ち上げた際に腰を痛めた。	34	529	19	10~29
2017	7	14~15	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	44	153	8	10~29
2017	7	18~19	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	56	521	2	10~29
2017	7	15~16	当社工場内ドラム缶置場において、ドラム缶をフォークリフトへ積み込む作業中、輸送用パレットにドラム缶を二段に重ねようとして持ち	55	921	19	10~

			上げた時に腰を捻り、その際、負傷した。					29
2017	7	11~12	工場内にて、鉄筋の切断作業に従事していたところ、鉄筋を移動させる際に、鉄筋の間に右手の中指及び親指を挟んでしまい、右手中指を骨折した。	43	521		7	10~ 29
2017	7	13~14	当事業所内において、製品をトラックに積み込む際足場の代わりに脚立を使用し、荷受けする際トラックのアオリに右足を引っかけて脚立を踏みはずし、腰の右側を打撲した。ヘルメット着用なし 2t トラック	70	371		3	1~9
2017	7	13~14	被災者は、当社工場敷地内において、廃材を屋外の廃材置場に置き建屋内作業場に戻る途中、バックしていたフォークリフトに轢かれ受傷した。	30	222		7	50~ 99
2017	7	14~15	取引先に納品物を納めに行き、積み降ろしをするために、フォークリフトに乗り、車の側まで移動したところ、フォークの爪の幅の調整が必要であったので、フォークリフトから降りた際に地面のへこみに左足をとられ捻り左足首を負傷した。	48	417		2	30~ 49
2017	7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に、工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したためパイプがずれてすねに当たり負傷したものである。	44	222		6	50~ 99
2017	7	13~14	梱包作業中にラベルを事務所へ取りに行く際、近道しようと通路ではない場所を通り通路との境目のある柵を跨ごうとして柵に右足が引っ掛かり転倒した。転倒の際、床に右肩部及び右腰部を強打し大腿骨骨折、股関節骨折と診断される。災害当日は、会社から診察を勧められるが、様子を見て診察しようと当日は早退し帰宅。翌日痛みが引かなかった。	63	416		2	50~ 99
2017	7	14~15	工場内で作業中、成型ローラー機で作業をしていて誤って作業用手袋ごと引っ張られ、両手の人差し指、中指、薬指の先5~10mm程度の皮膚裂傷。	61	159		7	10~ 29

2017	7	11~12	工場内ヤードで、橋梁の横桁のたたみ作業及びふだ付作業をしている時隣で、横桁の漆接板をクレーンでばらしていた。クレーンオペレーターが玉掛合図者の巻き上げストップの合図がわからなかったため、H桁に並べてあった横桁が崩れ下敷きになり足を負傷した。	32	211	5	1~9
2017	7	11~12	工場内ヤードで、橋梁の横桁のたたみ作業及びふだ付作業をしている時隣で、横桁の漆接板をクレーンでばらしていた。クレーンオペレーターが玉掛合図者の巻き上げストップの合図がわからなかったため、H桁に並べてあった横桁が崩れ下敷きになり足を負傷した。	41	211	5	1~9
2017	7	13~14	事務所内の2階から1階に下りる階段を清掃中に足を滑らせ約1.5m下に転落し、左足踵を骨折した。	49	413	1	10~29
2017	7	17~18	自社工場にて鉄板に穴あけ作業中、回転するボール盤の刃にまきこまれ、右腕断裂。	48	152	7	1~9
2017	7	10~11	当社工場内で、直径8cm高さ5cm位の鉄製品を電動グラインダーでキズ取り作業中、製品を持っていた方の軍手が巻き込まれ、左手環指を負傷したものである。通院治療中日帰り手術をしたが、経過が思わしくなく再手術をした。再手術のため、連続休業となった。	52	153	7	1~9
2017	7	16~17	加工工場において、フェイスングマシンによる角型鋼管（コラム）の面取り加工中の災害で、機械稼働中に被災者がフェイスングマシン傍らにて床（コンクリート敷き）の掃き掃除をしていたところ、面取り加工が終了した角型鋼管（700×700、厚さ36mm長さ1200mm重さ840kg）がフェイスングマシンのローラー上を自動送材され戻って来たことに被災者が気が付かなかったため、掃き掃除をしていた被災者の左顔面に当たり、角型鋼管を受ける作業台を設置していなかったため荷が傾く際に負傷したものである。被災者は、安全靴及び安全帽着用である。	47	152	6	50~99

2017	7	8~9	トラックの荷台に配達をする荷物を置いていたところ、誤って荷台から落ちてしまい、右腕を負傷した。	48	221	1	30~ 49
2017	7	13~14	カッターでホースを切断しようとしたところ誤って膝を負傷した。	32	364	8	1~9
2017	7	14~15	当社工場内で、チャンネル鋼（約40kg）の溶接作業中に、チャンネル鋼の向きを変えるために持ち上げたところ手が滑ってチャンネル鋼を右足の安全靴のカバーがない部分にチャンネル鋼を落としてしまい、右足1、2、3、4、5基節骨を骨折する。	28	521	4	10~ 29
2017	7	14~15	工場内で、油圧ベンダーを使い、錠パネルを曲げる作業をしていた。マグネットクランプにて錠パネルを1枚ずつ金型にセットし、フットペダルにて油圧ベンダーの上昇、下降操作をしていた。マグネットクランプにて曲げ前の錠パネルを金型にセットした際、錠パネルが金型からずれているのを確認して、手で直そうとした所誤ってフットペダルを踏んでしまった。それに気付かず上型が下降して指を挟んでしまった。	43	154	7	50~ 99
2017	7	11~12	スポット作業場でスポット機の調整中、溶接チップに本来スポット機の調整はエアーを抜いてから作業するが、それを怠りエアーが入ったままでおこない、誤って操作ボタン（フットペダル）を踏んでしまったためスポットのチップが下り、チップに左親指をはさまれ圧挫創してしまった。	36	169	7	50~ 99
2017	7	13~14	会社で廃パレットを左足で踏み固定し、チェーンソーで切断している時に、誤ってパレットに打ち込んである釘にチェーンソーの刃が接触。左方向に弾かれ左足の土踏まずの辺りに接触し切ってしまった。	44	136	8	1~9
2017	7	14~15	仕事の段取り作業中、厚板母材を天井クレーンからのフックに掛けられるよう、母材を割る際に、フックが外れ、右肩鎖骨部に外れたフックが当たり打撲した。	35	211	6	50~ 99
2017	7	11~12	溶剤塗装ブースのメンテナンス作業を行っていて、回転装置にシャーシグリスを塗布していた際に、右手の親指先端をチェーンと	21	169	7	50~

			スプロケットの間に挟まれ負傷した。				99
2017	7	15~16	工場内通路において、ダクトからの油漏れ箇所があり、製造部次長が漏れた油の清掃をしていたが、被災労働者がそれに気付かず通り掛かり、油で足を滑らせ転倒し、その際、左手首及び左足付け根付近に打撲を負った。	67	417	2	50~ 99
2017	7	16~17	請負現場において、クレーンでの運船作業中クレーンの動きを確認するため、積み上げられた、鉄パイプの上に登ったところ、バランスを崩し落下し、負傷した。	45	211	1	10~ 29
2017	7	14~15	工場内塗装工程にて620mm×520mm厚み3mm重量3kgほどの製品をパレットから塗装するため治具に引っ掛ける際、作業自体に非定常作業はなかったが、製品の大小があり疲労が蓄積され、筋を痛めた。	48	521	19	50~ 99
2017	7	10~11	被災者は、材料保管庫において、材料のラベルを確認する作業をしていた。60キロほどあるコイル材（ドーナツ状のもの）が、立てかけてあり、その裏にあるラベルを確認しようとした際、コイル材がバランスを崩し、被災者の右足甲の上に倒れ、右足の甲を骨折したものである。	63	611	5	30~ 49
2017	7	13~14	当社工場内でアングル鋼（L5：40×40長さ800mm）の研磨作業の際に、左手で鋼材を押さえ右手でサンダー掛けをしていた時に滑って左手を巻き込み負傷したものの。	25	153	8	10~ 29
2017	7	13~14	会社工場内でワイヤーロープ（10kg～50kg）を加工し製品を両手で持ち運んだりする作業を行っているため、徐々に腰に負担がかかり腰を痛めてしまった。当日はいつもより少し重量のある製品の加工・運搬をしており、作業中に腰を捻ってしまい強い痛みを感じた。痛みで作業に支障が出てきた。	23	921	19	10~ 29
2017	7	9~10	工場内においてグラインダーを使用して溶接ビートのG作業中一旦休止して仕上がり具合を見ていたとき、惰性で回転していた刃に左	53	153	8	30~ 49

			手の手首が触れ切傷を負った。				
2017	7	12~13	工場内作で、天井クレーン操作で右手親指を頻繁に使用。徐々に痛みが増し、日常生活にも支障が出始める。仕事中に、ゲージが持てなくなり休業する。拇指CM関節症と診断される。	55	211	19	1~9
2017	7	8~9	当社工場1階製缶工場において定盤（1,000mm×2,000mm高さ565mm）の上に角パイプ材（鉄製厚さ9mm、250mm×250mm×330mm約10kg）を2個積んで置き、上の角パイプ材の上面を工場研削作業中、上の角パイプ材の位置をわずかに前方へずらそうとしたところ、下の角パイプ材も一緒に動き、上下の角パイプ材がバランスを崩して下の角パイプ材が落下し、右足に当たり右第1趾を骨折負傷する。	66	521	4	10~29
2017	7	16~17	納品先の工場での事故。通常、鋼材を手降ろしするため、5'×10'の上に4'×8'を重ねて積んで納品先へ向かったところ、急遽、先方がクレーンを使用して降ろすことになり、先方がハッカーを使用して少し吊り上げ被災者がその隙間に板木を入れた時、ハッカーが外れ、板木と鉄板の間に左手の人差し指を挟まれた。	50	521	7	30~49
2017	7	17~18	工場内に於いて梁製品作業中誤ってスプライスプレートを落下させ、左足に当たり左足の薬指が負傷。	23	521	4	30~49
2017	7	13~14	工場内で鉄骨の片付け作業中、門型クレーンで鉄骨（300mm×150mm×10m、500kg）を吊り上げて動かしたが、鉄骨の端がガーターに引っかかり、安定を失って手前にずれ落ちてきたため、鉄骨のフランジが、後向きになった本人の両足下腿部に当たり、負傷した。	41	211	6	1~9
2017	7	0~1	当社の工場にて、材料の研磨作業中に右手で持った研磨機の内容器に対する角度が悪く研磨機の刃先が跳ねて材料を保持していた左手拇指根元を切傷した。	28	153	8	30~49
			工場内においてパワープレス（25t）を使用して金属部品の加工作				

2017	7	11~12	業中、作業中のプレス機の金型と金型の間で右手指を誤って挟み負傷した。	29	154	7	1~9
2017	7	16~17	H鋼の上に置いていた製品の仕上げをするために登ろうとした。H鋼に手を掛けた時にH鋼のバン木が不安定だったためH鋼が、たおれ、両足を挟み骨折した。	18	521	7	1~9
2017	7	9~10	生産日報の書類を回収中に立ちくらみによって転倒し土間に右ひざをぶつけて骨折した。	54	921	90	50~99
2017	7	8~9	被災者は社内でスタンプハンマーを操作し、素材を掴む道具「はし」を使用して型打作業を行っていた。「はし」を開閉しやすくするために、人差指を「はし」の柄に軽く引っ掛けて持ち、作業をしていたが、指が滑って、2本の柄の間に入ってしまった。そのタイミングで素材と一緒に、誤って「はし」の先端を同時に金型で打撃してしまい、指を挟んで負傷した。	40	364	7	30~49
2017	7	13~14	工場内で、シャッター下地溶接中に、汗で身体が濡れていたため感電をした。このままでは感電死の恐れがあるかもしれないと自分で判断をしとっさに足場の上から飛び降りた。その時は我慢が出来、終了迄仕事をした。その日の夜になって左足の腫れが酷く、痛みも伴った。左足第2、3中足骨骨折と診断される。	26	417	3	1~9
2017	7	15~16	鉄筋加工中に、材料ふりまわしている際頭部にあたって切った。	48	521	6	1~9
2017	7	8~9	当社第2工場ではクレーンにてH形鋼の移動中、移動の補助をしていたところ、地面においていたH形鋼と置こうとしていたH形鋼との間に誤って右手親指を挟んでしまい負傷した。	48	211	7	10~29
2017	7	20~21	工場での作業終了後、手洗い場へ向かう途中で、ルートを勘違いして、工場の間を流れる川へ落ちてしまった。(川底はコンクリートで深さ2.5m)	64	418	1	10~29
2017	7	18~19	ボール盤にて穴明け作業中通常なら固定具で板を固定するところ数量が少なかったため固定具を使わず、手で固定したため機械の回転	61	152	7	10~29

			に指を巻き込まれた。				
2017	7	11~12	ベアストレイ2枚重ねをコンベア上を移動させた時に、上下がずれて小指を枠の間に挟んだ。治療した。	65	379	7	10~ 29
2017	7	11~12	弊社工場内において、H鋼（高さ300mm×幅150mm）を切断する作業中、寸法を測ろうとH鋼の上に上がり移動中、誤って、右足を踏みはずし、右膝に全体重がかかったのが負傷の原因である。 （当日は様子を見て、終業時刻まで仕事をしたが、痛みが続いた。）	40	521	1	1~9
2017	7	15~16	鉄工所工場において、鉄骨をクレーンで吊り、台車に乗せる作業中（クレーン操作は別の社員）、吊荷が少し揺れたので押さえようと無意識に手を出してしまった。すでに台車に鉄骨を乗せてあったため、鉄骨と鉄骨で左手の親指を一瞬挟んだ状態となり負傷した。	49	611	7	10~ 29
2017	7	11~12	当社の工場で、製缶作業中足元に置いてあった盤木に気付かず、端を踏んで右足首をねじったため、骨折した。	49	522	19	10~ 29
2017	7	14~15	工場で、作業を終え、移動しようとした。移動するために、右足を架台に乗せ、乗り越えようとした時、足がふらつきバランスを崩し、右側の側面にある鉄に手をつけて鉄が倒れた。その際右足首部位が接触して被災した。	29	521	3	100 ~ 299
2017	7	9~10	当社工場内で搬入されたH型鋼（125cm×125cm×6.5cm長さ11m×5本を番線でくくったもの）を、クレーンのクランプを付けて鋼材を起す時、クランプのボルトに引っかかって傾き、自分の後ろにあった他の鋼材の間に両足を挟まれ、左足すねとふくらはぎを負傷した。右足は軽症だった。	46	521	7	1~9
2017	7	18~19	鑄造用砂除去設備の点検デッキ上で、設備移設工事後の試運転で、Bダクトの開閉切り替え動作の確認をしているとき、自動運転中に安全カバーを外し、設備内に腕が入る状態にしてしまい、設備内に左腕を入れ、吸入口に手をかざし、風の流れを確認中、上昇してきた扉とフードのフレーム間で左腕を挟まれた。	61	391	7	1000 ~ 9999

2017	7	10~11	当社工場でスクリーケーシングのグラインダーがけをしている時、横40cmの両端に2cmの突起物があり、その突起物にグラインダーの歯が当たり、はじいた時、グラインダーの歯が右膝に当たって切ってしまった。	24	159	8	1~9
2017	7	15~16	工場より工務店の加工に来た時に鉄筋曲げ機のストッパーの部分に左手の中指とくすり指を挟んで指を傷病した。（出張で加工場から鋼材内で鉄筋加工中に傷病した。）	48	159	7	1~9
2017	7	10~11	工場内の鋸盤で鋼材を切断し、鋸盤の電源を切り、切った鋼材を取ろうとした際、余力で動いていた切断刃に右手に着用していた手袋が引っ掛かり、右手親指を巻き込んで負傷した。	22	132	7	1~9
2017	7	8~9	第3工場内において、被災者が鉄板（長さ2.4m、幅18cm）約40枚をクレーンで運搬作業中に、荷崩れを直そうとしたところ崩れかけた鉄板に押されて転倒し、後方に敷いてあった鉄板で後頭部を強打して死亡した。	38	611	4	10~29
2017	7	14~15	発酵攪拌機の組み立て中、暑さが厳しかったため早めの休憩に入り、顔を洗おうとした時、足元が砂利で足首をひねった。	52	417	2	1~9
2017	7	10~11	工場で吊り物をしている時に横にあったH鋼に引っ掛かり、その物がたおれて足首にあたりけがをした。	59	521	5	1~9
2017	7	9~10	会社工場内の塗装小屋において室内クレーンを使い製品の整理の作業をしていたところ、吊り具を製品に引っかけてしまい、そのはずみで製品である鋼材（1.5t）が倒れ、本人の両足大腿部を直撃したものである。	26	521	5	10~29
2017	7	15~16	ケース炉600ラインの中央の準備台に止めたPPカーの足場（高さ57cm、幅30cm、奥行140cm）に登って品物をホイストで吊り下げる作業をしていた。作業で使用する金属棒を下に落とした為拾おうとした。その1歩目で足場の上から足を踏み外し、お尻から落下した。	32	229	1	50~99

2017	7	11~ 12	当社加工場内に於いて、鉄筋鋼材の加工作業に従事中、鉄筋（長さ3.5m）を8本加工機械の台上に平らに並べて鉄筋の曲げ加工をしていたところが、その中の一本の鉄筋がやや傾斜していた為に突如加工台（高さ80cm）から落下して作業中の当人の左足に当たり、鉄筋の切先で小指を切傷し、小指の骨を折る負傷を負ったものである。	64	521	4	10~ 29
2017	7	10~ 11	工場?棟の仮付場所で一次加工品を仮付台に乗せるときに、自分でクレーン作業をして梁製品を降ろした際に、左足に梁製品を乗せてしまい骨折をした。	22	211	7	30~ 49
2017	7	18~ 19	工場内において亜鉛メッキ鋼板の成型作業中、作業のスピードを上げるため、鋼板を奥から引き出そうとして切断刃のある機器の奥ま	42	169	8	50~ 99
2017	7	14~ 15	当工場内のタッピングボール盤でガス機器部品を製造中に右手人差し指の先端を巻き込み負傷した。ゴム手袋で作業すべきところ軍手をしていたこともあり負傷につながってしまった。	72	152	7	1~9
2017	7	10~ 11	工場内で長さ1400mmのH鋼6本をクレーンにて移動させている時にH鋼を支えていた左手をH鋼に挟んでしまい薬指を骨折したものである。	31	521	7	1~9
2017	7	13~ 14	工場において、被災者は鉄筋の先端どうしを溶接機で溶接作業中に鉄筋を固定する装置（上から押える板が下りて来る）に指先を誤って入れてしまい、その時溶接開始スイッチ（フットスイッチ）を踏んでしまい、鉄筋を固定する装置が働き右手薬指先端を挟まれてしまった。	38	169	7	50~ 99
2017	7	10~ 11	社内開先機にて厚さ1.6cm幅45cm長さ4.4m鋼材をクレーンとマグネットを使用して移動させながら作業をしていた。マグネットの位置をかえようとした時、スイッチを切ったと思いこみクレーンを上げてしまい、鋼材を左足に落下させてしまった。	53	211	4	10~ 29
			当社工場内において、製品の建築用ベース金物（150角型鋼：高さ300mm・厚12mm、ベースプレート：300×300・厚16mm・約25kg）				

2017	7	15～ 16	のロボット溶接後の点検をするため、作業台の上に製品を並べていた。作業台の上に製品を2段重ねで並べていた際、上段に重ねようとした製品が上手く載らずに、作業台の上に倒れ落ちてきてしまい、軍手をしていた右手の甲に製品がぶつかり、負傷した。	62	521	5	50～ 99
2017	7	14～ 15	当社資材置き場において、トレーラ車に鉄骨を積み込む作業をしていた際、速足にて場所を移動中、近くに置いてあったH鋼側面から突出しているプレート部分の角に左足の脛部を強打し、転倒した際に怪我をした。	41	521	3	1～9
2017	7	11～ 12	工場内でスクレーラー作業中、H鋼製品を移動していたところ、製品を積み重ねていたときに吊り上げていた製品が振れ、近くのH鋼製品との隙間に左小指を挟み負傷した。	18	211	6	50～ 99
2017	7	11～ 12	工場内にて、開先機で工材の加工及びバリを取る作業中、工材が積んであるためローラーが回らないと思い、上部のバリを取ろうと上に乗ったところ、ローラーが回ってしまい、ローラーとローラーの間に右足ひざ下を挟まれ負傷した。	23	159	7	10～ 29
2017	7	17～ 18	取引先訪問後に自社に戻る途中で、社長が運転する乗用車の助手席に乗車中、カーブで対向車が反対車線に飛び出してきて、正面衝突となり負傷した。	34	231	17	1～9
2017	7	10～ 11	当社工場ワイヤー加工部にて、ワイヤーのカット作業中、コンクリート床の強度修繕工事のため、工事業者がコンクリートカッターを使用しコンクリートを切断していた。その際、コンクリートカッターから排出されたガスにより一酸化炭素中毒となった。	56	149	12	1～9
2017	7	13～ 14	本社工場においてプレス作業中、誤ってフットスイッチに触れてしまい、機械の作動により右手第3・4・5指をプレス機に挟み骨折、及び中指・薬指の先端を切断した。	71	154	7	1～9
2017	7	9～ 10	工場（作業場）で鍵のナンバー打ちをプレス機械でする際、鍵をセットしようとしたときにレバーに手が当たり、誤って手を挟んで	68	154	7	10～ 29

			しまった。				
2017	7	15～ 16	第1工場内コイル矯正機現場で、コイル先端をロールに入れる作業中、誤ってコイルをロール下に入れてしまったため引き抜いたところ、握っていたコイルが跳ね、それにつられて現場から落下（1.8m）し、右膝を打撲した。当日は軽い痛みのため業務を続けたが、翌朝になって痛みがひどくなった。	54	418	1	50～ 99
2017	7	11～ 12	海外出張中、客先工場でインゴット作成用の残材溶解炉ポットに仕切り板を入れた際、溶湯が小爆発し、亜鉛が顔や手にかかり火傷をした。	35	715	11	50～ 99
2017	7	9～ 10	工場内にて荷扱い中、腰を捻って痛めた。	24	611	19	10～ 29
2017	7	10～ 11	500tプレスのリフター台車で製品の集積後、別の作業者がリフター台車を降下操作している途中で、被災者本人がリフター台車内の治具を外す作業をしており、リフター台車に右足指を挟まれ挫傷した。	21	219	7	10～ 29
2017	7	19～ 20	1階機械チーム作業場にて、作業終了後、生産管理板を所定場所に提出する際、通行禁止となっている単発プレス機と単発プレス機の間を通行したため、足元のエアホースに足が掛り転倒し、左手・左肩・右膝を負傷した。	54	416	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	弊社工場に仮組してあるオープンシールド機に、排水ゲート（重量約245kgのプレート構成の製品）を、高さ2m50cmから門型クレーンで吊具（縦吊りクランプ）を使用して入れ込む作業の際、製品が斜めになり入り込まなかった。作業員は脚立に乗りクレーンフックを下降させ、吊具の縦吊りクランプが弛んだ状態で手で揺さぶったところ、製品が吊具から外れ落下した。その際、落下した製品が作業員の右手等に接触したあと脚立にも接触し、その反動で作業員は脚立から転落し負傷した。	32	521	4	1～9
			作業所内で、鉄に穴をあけるボール盤作業中、作業服の左袖が回転				

2017	7	14~ 15	しているボール盤に巻き込まれ、ボール盤の先端で左上腕部を5、6cm切った。	46	152	7	10~ 29
2017	7	11~ 12	2.8t天井クレーンで鋼材を置く際に、隣に置いてあった鋼材の台木にぶつけ、その鋼材が落下した。その落下した鋼材の長さが通常(4000mm)よりも長く4700mmであったため、足に近く、落下と同時に避けたが、左足に鋼材が衝突した。	56	211	5	50~ 99
2017	7	8~9	事業場内の事務所棟3階会議室で、入社に伴う説明が終わり、足のサイズ合わせで履いた安全靴をはいたまま、作業着に着替えるため別棟のロッカー室へ向おうと3階から階段で降りようとした。その際、足元をよく確認しなかったため、階段の1段目で足を滑らせ、5段目くらいまで滑り落ち、尾てい骨付近を強打した。	50	413	1	50~ 99
2017	7	16~ 17	倉庫にて、製品(厚さ200mm、幅405mm、長さ約9000mm、1ロット)をクレーンを使って移動していた。揃え重ねて置くため横にある製品の上にあがり、中央部分に近づこうと歩いていた。その際、右足が滑り右膝から製品の上に転び、右膝脛部分をつきながら滑り、製品の角部分で右膝脛部分を切り、負傷した。	20	521	2	10~ 29
2017	7	15~ 16	工場内で、棚上に置かれている製品を入れるためプラケース箱を取ろうとした。(棚の天面に載せあった。)片手で棚板に掴まり、もう一方の手で箱を取ろうとしたところ、箱を取ったと同時に棚板を掴んでいた手が滑って離れてしまい、後方に倒れ込んだ。倒れ込んだ所に台車があり、その台車の金具部分にて、背中と腰を打撲した。	79	417	2	1~9
2017	7	17~ 18	帰社するため、工場出入口の階段(敷地内)を下りていた際、誤って足を踏み外し、階段6段のうち3段目から落下し、左膝を強打し、膝蓋骨を骨折した。	46	413	1	50~ 99
2017	7	18~	工場敷地内において、鉄の製品(300×300×1800、重さ112kg)を、トラックへ積み込む際、フォークリフトの横でフォークリフト	28	222	7	30~

		19	に積んだ製品のバランスを補佐していたとき、足のつま先がフォークリフトのタイヤで踏まれて、負傷した（安全靴装着中）。				49
2017	7	14～ 15	工場内において製缶作業中、取付位置確認のために覗き込んだとき、目の前にある締め付け用バイスのハンドルの片端に左目を打ちつけ負傷した。診察の結果、左目に裂傷等があるとのことで、出血が止まるまで1週間安静を要することとなった。	43	379	3	30～ 49
2017	7	20～ 21	作業場にてPC作業（データ入力）を行なったあと、他作業に移ろうとして椅子から立ち上がる際、床に躓き転倒しそうになった。咄嗟に付近に置いてあるゴミ箱に左手を出して支えようとしたところ、薬指に力が集中して骨折した。	53	417	2	500 ～ 999
2017	7	11～ 12	当社工場において、プレス機で厚さ3.2mmの鉄製パイプコーナーの曲げ加工中、普段から作業時は安全装置のスイッチを入れて作業するよう指導していたが、被災者は、気持ちが急いでいたため、効率が悪いという理由で、安全装置のスイッチを切って作業していた。プレスした材料を早く取り出そうとペダルを踏んだ直後、右手を出してしまい、安全装置を切っていたため、プレス機に右手示指を挟まれ負傷した。	48	154	7	10～ 29
2017	7	16～ 17	当社工場内において、アルミの曲げ加工作業中、二人作業によるブレーキベンダーでの四角曲げの工程で、一角目の曲げが終り二角目に入るとき、アルミ板がずれたので修正しようとして、右手親指の先をバックゲージと下の金型の間に挟み挫創した。	30	154	7	100 ～ 299
2017	7	6～7	事業所内で押出した形番の、最終の班長確認用型材サンプルを型材切断機で採取し、サンプル（750g）を両手で持ちながら置き場へ歩行中に、左足を滑らせた。体勢を崩し転倒しそうになり、支えていた軸足である右足のふくらはぎを負傷した。	48	417	19	50～ 99
2017	7	9～ 10	工場内で、パレットから台車に鉄板を積み終えて、パレットの位置をずらすため移動しようとしたときに、台車の端に鉄板を置いたため、台車のバランスが悪くなり、台車から鉄板が崩れ落ち、それが	38	362	5	10～ 29

			右足に当たり負傷した。				
2017	7	17～ 18	工場内で、厚さ1cm・直径1.5mサイズのステンレス製の板をステンレス加工機まで運ぶため、別の工場作業員と2名で持上げたとき、右手を滑らせてしまい、右手の親指の付け根に直撃し、損傷した。	41	521	4	50～ 99
2017	7	11～ 12	当社工場内にて、両膝を地面に着けた状態で、角パイプ（縦横×長さ、75mm角×1800mm）を左手で押さえながら、右手でグラインダーを持って加工している時に手元が狂い、グラインダーの刃が滑ってしまい、左膝に当たり負傷したものである。	32	153	8	10～ 29
2017	7	16～ 17	当事業場内において、H鋼材（約1t）の塗装作業を行っていた。その材料の裏側に塗装するため、H鋼材の向きを変えようとクランプに挟んで吊り上げたとき、クランプが外れ、自分の方へ倒れてきた。自分の後部にも鋼材が置いてあり、左胸と肩、腹の間が鋼材間に挟まれた。	30	211	5	10～ 29
2017	7	11～ 12	当社工場内において、ショベルカーに塗料付着防止のシートを掛ける作業をしていた。タイヤ部分（高さ約1m）にのぼってシートを掛け終わり、そこから飛び降りたとき、着地のバランスが悪く、左膝を負傷した。当日は我慢できる痛みだったのでそのまま仕事を続けたが、翌日になって膝が腫れてきた。	20	921	19	50～ 99
2017	7	14～ 15	プラズマ切断機の掃除が終わり、台の上に立ったとき、立ちくらみを起こして転び、右足を挫いた（高さ1m前後）。	48	921	2	10～ 29
2017	7	10～ 11	工場内で、ホイストにより機械のカバー（1500×800、200kg）を吊り上げたとき、カバーの一部が機械の本体に引っ掛かったため、手で外したところ跳ね上がり、機械とカバーの間に右示指を挟み切断した。	60	211	7	1～9
2017	7	12～ 13	トラックの荷台に積んだスクラップを固定するため、積まれたスクラップの上に登り、ワイヤーを掛けようとしていたとき、スクラップの上で誤ってバランスを崩し転倒した。そのままトラックのあおりの上に倒れ込んで、胸部を打ちつけ負傷した。	41	221	2	30～ 49

2017	7	8~9	工場内で機械くずの解体作業中に、落下防止（可動防止）を実施せずに、テンションをかけていたモーターのボルトを緩めてしまい、ボルトが外れ、それが原因で可動部が動いてしまい、身体を挟んでしまい、腰部を骨折した。	37	521	7	30~ 49
2017	7	17~ 18	箱替え機が設備停止（チョコ停）したため、処置をしようと箱替え機を確認したとき、製品が箱替え内部に落ちていたため、設備（箱替え機）の中に手を入れた。設備の状態は自動運転中であったが、荷箱上昇感知センサーが反応しておらず、チョコ停状態であったが、設備内に手を入れたとき、腕が荷箱台に触れたため、荷箱上昇感知センサーが反応してシリンダーが急に下がり、荷箱台とステーで腕を挟んでしまい怪我をした。	39	169	7	100 ~ 299
2017	7	13~ 14	当社工場内で、製品のダクト（直径510mm×長さ2500mm、重さ40kg）を2人で運んでいるとき、それを下に降ろすときに手が滑り、不安定になったのでそれを止めようと、咄嗟にダクトの中に右膝を入れて負傷した。	55	521	3	10~ 29
2017	7	11~ 12	棚板塗装作業中、金属製の棚板が掛っている塗装ラインから棚板を取り外して降ろすとき、左手首を捻った。	47	521	19	10~ 29
2017	7	10~ 11	プレス用コイル材の搬入準備のため、立て掛けてあったコイル材（重量250kg）にワイヤーを掛けるため、少し傾けたとき、コイル材が倒れ、足が挟まれ負傷した。	55	521	4	10~ 29
2017	7	8~9	会社工場内コイルパネル置場において、立て掛けてあるコイルパネル（厚さ0.8mm、幅43cm、コイル状、約1t）をクレーンを使って整理作業中、クレーン周りばかりを注視して移動していたため、足元が不注意となり、パネルの台座（三角形）上で身体のバランスを崩し、壁側に倒れ掛かったため、右手を思いっきり伸ばして阻止しようとした際、壁に強く打ちつける状態となり負傷した。	48	418	3	30~ 49
			品質検査の業務中、漏れ試験機を使用して、検査を通常通り行おう				

2017	7	15～ 16	とした際、製品が通常の位置からずれてしまったため、元の位置に戻そうと装置を上げずに製品を取り出した。その際、上下の円柱の間に右手人差し指が挟まれ受傷した。	53	169	7	50～ 99
2017	7	15～ 16	鋸盤加工場で、端材処理作業をしていたところ、フラットバー（16mm×60mm、L150mm）を固定するため、油圧クランプの可動範囲内に、材料をセットする右手人差し指が入った状態で、油圧クランプのスイッチを左手でスイッチONにし、右手人差し指を油圧クランプで挟んで負傷した。	35	159	7	50～ 99
2017	7	13～ 14	2号棟工場内の20tプレス機で作業が終了し、電源を切り、キーロックを入れて金型を取り外す作業を開始した。金型上部のシャンクを固定しているボルトを緩め、上金型を下ろし、次にシャンク押工を手前に引き出そうとしたとき、完全に停止していないフライホイールにクラッチが入り、スライドが下がってシャンク押工と上金型の間指が挟まれた。	40	154	7	50～ 99
2017	7	19～ 20	プレス作業場において、エキスパンドメタルという弊社で加工した材料を、シャーリングマシンでカットする作業をしていた。相当古い機械であるため、安全対策が十分とりにきれていなかった。カットする際、位置を合わせていたところ、刃物の付近まで手が入っている状態で足踏みのペダルを踏んでしまった。その際に、左手中指、薬指の第一関節付近を切断し、急搬送された病院で2本の指の接合手術が行われた。	39	159	7	10～ 29
2017	7	20～ 21	工場内設置のベルトサンダーにて研削作業中に、研磨ベルトとワークレストの間に左手を巻き込まれ、指を損傷した。その際、人差し指・中指・薬指の肉が剥がれ、小指を挫創した。	52	153	7	1～9
2017	7	14～ 15	工場にて不要な鉄板を片付け中、鉄板に親指が当たり負傷した。	46	521	8	1～9
			工場内のセッチングを行う場所で、セッチング（バネを密着状態で押す）作業中、バネを押し込んだときに異音が出たため、コンプ				

2017	7	14～ 15	レッサー固定土台とバネを押す可動板の間に金属でも噛み込んだと思い、取り除こうとして指を差し込んだ。このとき、コンプレッサーのフットブレーキから足が離れ、可動板が戻ってきたため、固定土台との隙間に指を挟んだ。	24	159	7	10～ 29
2017	7	11～ 12	本社2階工場内の帯鋸切断機前で、切断済の鋼材をドラム缶に入れる際、先にドラム缶に入っていた材料に当たり、飛び跳ねたため、切断機の台の端と鋼材の間に左手中指の第一関節付近を挟まれて、粉碎骨折となった。そのときに神経も切断されたと思われる。	23	159	7	50～ 99
2017	7	9～ 10	材料置場で材料を支えていた際、材料が倒れて来て、右足が挟まれた。	36	521	5	10～ 29
2017	7	9～ 10	工場内リフトにて、金型を出す時に台車が引っ掛かり、戸開が開けにくかったので、下戸開を足で踏んで強引に開けたため、リフト上戸開きが勢いよく開き、上戸開に添えていた右手を壁にぶつけ負傷した。	45	214	3	30～ 49
2017	7	16～ 17	組立作業中、部品を持ち上げる時に足元からふらつき、安全靴を履いていたにもかかわらず、左足甲に部品が落ち、骨折した。	41	521	4	10～ 29
2017	7	16～ 17	現場内で、タッパー機械でF・Bにタップ穴加工の作業をしていた際、ハンドルレバーを離し、F・Bを取ろうとしたとき、右手の人差し指の軍手が刃に当たり、軍手が引っ掛かってしまい、人差し指が巻き込まれ、右手人差し指第二関節に脱臼と創傷を負った。	62	152	7	30～ 49
2017	7	14～ 15	クレーンで鉄板を持ち上げた際、出来た品物も一緒にハッカーに引っ掛かり、品物が落ちたときに右手の指に当たり、人差し指を骨折した。	61	521	4	10～ 29
2017	7	11～ 12	工場内でボール盤作業中、機械ドリル芯棒に左手中指が巻き込まれ、左手中指第2関節を損傷した。	76	152	7	10～ 29
		10～	工場内の鑄造作業現場でライン造型機へ注湯するため、お湯の入った手酌を一度ステップ上に置いてからステップを登っているとき				50～

2017	7	11	に、手酌の溶湯がこぼれた。湯の一部が飛び散り、右足にかかった際、作業ズボンの一部に開いた穴から飛び散った湯の一部が入り、安全靴の中に落ちて、足を火傷した。	45	911	11	99
2017	7	11～ 12	当社の近所にある会社が廃業するので、その会社の機械の一部を引き取るため、中2階下より1.5tチェーンブロック（重量2.5kg）を取り外していた。このとき、レールが少し動いた際にバランスが崩れ、約3.5m下に落ちながら垂れ下ったロープを掴んだため、右足から着地して右踵を負傷した。	68	416	1	1～9
2017	7	16～ 17	材料（ブリキ板）の梱包を解くため、巻いていた帯鉄を切断する際に、弾けた帯鉄で誤って右手親指を負傷した。	25	521	6	30～ 49
2017	7	14～ 15	工場内の材料ストックヤードにて、材料の仕分け作業中に鉄筋資材の上（高さ1.7m）を移動していた。移動中にバランスを崩して転落し、コンクリート床に身体の右側から落ちて被災した。	64	521	1	30～ 49
2017	7	16～ 17	工場内の熱処理作業場（ADI処理施設）にて、減水装置（減150）の稼働状況確認を行っていた。自動運転にて稼働中、高温ソルト（150℃程）の排出工程となったところで、排出口に左手を入れて掻き出そうとしたとき、自動で扉が閉まったため手を挟み、圧迫と高温ソルトで受傷した。	53	391	11	50～ 99
2017	7	9～ 10	塗装ヤードでクレーン作業中に、H鋼を移動する際、吊り材のかかりが不十分なまま吊り上げてしまい、約50cmの高さから落下し、その反動でH鋼が横転し、足の上に落下した。	34	372	4	10～ 29
2017	7	1～2	第1工場の引き扉を左から右へ閉める際、左足を残したまま扉を閉めようとした。	47	418	7	10～ 29
2017	7	10～ 11	工場にて、鋼材を荷台に上げるため荷台に上り、クレーンを使用して鋼材を置く作業をしている最中、鋼材が振り子のように少し揺れ、その際に鋼材の頭が左足に当たり骨折した。	68	211	6	1～9
			縦桁（長さ約9m、重量約850kg）の糸面取作業の際、壁クレーン				

2017	7	15～ 16	(2.8t) で縦桁を東向きに倒す途中、壁クレーンの操作を誤り（西へ戻すところ東へ）、倒そうとしていた縦桁が約1m横滑りし、そのウェブと横に倒していた縦桁のフランジの間に足が挟まり負傷した。	67	211	7	1～9
2017	7	20～ 21	仕事が終わりに帰路途中、暗闇の中で足元が見ない状態にもかかわらず、確認を行わずに歩行し、掘られた場所に右足をとられ、不注意により右足を負傷した。	54	711	2	10～ 29
2017	7	13～ 14	工場内を歩行中、鋼材を跨いだときに、鋼材の下に置いてあるリン木を踏んで、左足を捻り負傷した。	44	379	19	10～ 29
2017	7	10～ 11	工場内のボール盤で、円形鉄板（直径4.5cm、厚さ3mm）に穴あけ加工中、作業がほぼ終了した時点でキリコを取り除こうとして、手袋をしていたために機械に巻き込まれ、右手薬指第2関節を負傷した。	68	152	7	1～9
2017	7	14～ 15	鉄筋切断機内で、スクラップ切断処理をしているときに、左手で鉄筋を支えていたため、切断時に支えていた鉄筋が跳ね返り、左環指を挟んで負傷した。	17	159	7	1～9
2017	7	11～ 12	工場内において、作業台の上に重ねて置いてあった製品（ボックス文字）を同僚と持ち、塗装前の吊り掛け作業を行っていたとき、重ねてあった製品の一番下が鋭利な品物であったため、その先が右脚太もも横の部分に刺さり負傷した。	33	521	8	30～ 49
2017	7	15～ 16	工場において、油圧シリンダー（15kg）の表面を清掃するため、作業台へ移す際、そのシリンダーを足の甲へ落下させた。安全靴を履いていたが、ガードの（先芯）のないところに落としたため、右足の甲を負傷した。	31	612	4	50～ 99
2017	7	15～ 16	パイプ切断中、パイプ内側に入れた潰れ防止のつい立を直そうとし、切断中のパイプの中に手を入れ、右手第2指および第3指を切断した。パイプ潰れ防止用の角材を直接手で取り扱ったため事故が生じた。取扱用治具を使用すれば事故は防げたと思われる。	69	159	8	10～ 29

2017	7	14～ 15	材料倉庫で鋼材を取り出す作業中、広く作業スペースを確保出来なかったため、滑り落ちて来た材料に足を挟まれた。	41	521	4	10～ 29
2017	7	13～ 14	工場内の立体倉庫において、上方のパレテーナの収まりが悪く、正常に作動しなくなった。収まりを修正するため、移動装置備え付けの梯子に上がり修正を行い、その後、梯子を下りる途中で梯子から落下した。おそらく手が滑って梯子を放したものと思われる。	26	371	1	100 ～ 299
2017	7	8～9	工場でアングルを移動して、置こうとした際に手が滑り、薬指を挟んだ。	31	521	7	1～9
2017	7	9～ 10	足場部品製造現場にて、パイプ引き抜き用プレス機での作業中に、パイプ挿入口とパイプの隙間に指を挟みこみ、当該事象が発生した。事象発生時、パイプを挿入する穴を広げ過ぎていたため、パイプと挿入口との間に余計な隙間が出来てしまい、作業時にパイプを保持していた人差し指が隙間に入ったまま始動スイッチを起動させ、パイプと挿入口との間に右人差し指の先端を挟まれた。	31	154	7	10～ 29
2017	7	16～ 17	弊社出張所車庫内にて、作業準備のため資材整理を行っていたとき、H鋼ピース（H400、L0.1m、65kg）を抱えて運搬中に、持ち替えようとしたところ保持しきれず、腰高（約0.7m）から右足背部に落下させて受傷した。	49	521	4	10～ 29
2017	7	17～ 18	負傷者（派遣社員）は、製品置場横作業場で、切断後の製品（50×250×190）をグラインダー処理するため、手で製品を持ち動かそうとしたとき、製品と製品の間で右手中指を挟み切創した。	26	521	7	10～ 29
2017	7	14～ 15	工場内にて、濃縮機下部部分（3900W×1880H×830D）を作業用踏み台（600W×900H×830D）に乗り、塗装し終えて作業用踏み台から降りようと3段目中2段目から誤って足を踏み外し転倒し、後頭部を打撲した。	35	371	2	10～ 29
			左腕を機械（リーマ）の回転に巻き込まれ、左手を切断したものである。鉄板にあけた孔を少し大きくするため、ボール盤でリーマ				

2017	7	10～ 11	を通す作業を始めたとき、鉄板も回転したため、慌てて鉄板に溶接してある鉄筋を掴んだところ、左腕をリーマの回転に巻き込まれた。穿孔作業時には、材料の回転を防ぐために、材料を固定する金物を使用すべきところ、品物が比較的小さかったため、その措置を怠ったのが原因と思われる。	70	152	7	10～ 29
2017	7	10～ 11	当社倉庫で片付け中、棚上の工具箱を下ろそうとして、バランスを崩して転倒し、工具箱（約10kg）が左手甲に落ちて負傷した。	25	416	2	1～9
2017	7	10～ 11	電動工具ベビーサンダーで平鉄を切断中、切断する刃が平鉄に噛んでその反動で顔面の右頬に当たり、頬を切った。なお、電動工具ベビーサンダーを使用する際は、両手でしっかり持ちながら平鉄を切断していた。	49	153	8	10～ 29
2017	9	16～ 17	鋼材ヤードにて、角パイプ（厚さ32mm×巾75mm×長さ7m重さ49.07kg）を1本出荷の為、角パイプの端で手を寄せていたところ、隣に積んでいた同角パイプの1本が崩れ落ちて右手薬指に当たって負傷したものである。	69	521	4	10～ 29
2017	9	9～ 10	一人で本社工場において、鋼製煙突の仮組作業をしていた。作業中電話があったので作業を一時中断し対応した。そうこうしているうちに、うっかりして倒れどめをするのを忘れたまま、鉄板を吊っていた天井クレーンのクランプを外した。そのため、鉄板がそばにいた本人に倒れかかり転倒し、床にあった鋼材に前頭部を打って負傷した。	37	211	6	10～ 29
2017	9	16～ 17	カントリーエレベータ内で、湿式スラッチコンベアのモーター部分の工事完了写真を撮り終わって下りる時、高さ1.2mの位置から足をすべらせ落下した。	55	418	1	30～ 49
2017	9	11～ 12	工場で足場板（原板）を切断台にセットするために、床上操作式クレーンで移動中に、ハッカー（吊りフック）の不安定なかかり具合により、原板が不安定になり右足にぶつかった。吊り上げ時のフックのかかり具合の確認ミスによる事故である。	53	211	6	10～ 29

2017	9	9～ 10	フライス盤での部品加工作業中に誤って回転する刃物に指を当ててしまい負傷した。	20	152	8	1～9
2017	9	14～ 15	工場パンチ職場に於いての作業中、チャックを閉めようとした際、スイッチを切らずチャックハンドルを入れ、それに左手を置いたままパンチを動かすペダルに足を乗せてしまいチャックハンドルが回転し、その勢いでチャックハンドルの先が、左手親指と人差し指の間に入り、穴があき切れてしまいました。	53	159	7	50～ 99
2017	9	21～ 22	工場内においてクレーン操作による鋼材の乗った台車の移動作業中、クレーンの操作を誤り、吊荷が機械に衝突しそうになったため、衝突を阻止しようと咄嗟に吊荷に手を掛けてしまい、吊荷と機械に指を挟まれ負傷した。	46	211	7	50～ 99
2017	9	11～ 12	金属材料を積み上げている台から、材料の一つを取り出そうとしたところ、積み上げている下の部分の材料を取ってしまったため、上部の材料がくずれてきて負傷したものである。	26	521	5	10～ 29
2017	9	16～ 17	当社作業場に於いてクレーン操作中、床に躓き転倒、左手を着いた時手首を骨折した。負傷後は通院しながら仕事をしていたが、骨折した時の影響で左拇指付根の筋が切れた。	64	417	2	10～ 29
2017	9	17～ 18	2階の有線LANケーブルが断線していたので交換作業を行うことにした、ケーブルの巻線が1階事務所にあるので1階の窓枠に上がり、2階から線を引く為の穴の拡張作業を行った。終了し、傍にある机に足を掛けて下りる時にバランスを崩し落下した。その際、机角に背中と腰を強打した。	47	419	1	30～ 49
2017	9	14～ 15	工場内において、リング曲げ機で鉄筋を曲げる加工中、機械に鉄筋を入れるときに手を放すべきところを、放すのが遅かった。	35	169	7	10～ 29
2017	9	11～ 12	会社工場内において、ゴミを捨てにゴミ捨て場に向かう途中つまずいて転倒し手にゴミ袋を持っていたため膝を打ちつけてしまい負傷した。	49	417	2	30～ 49

2017	9	14～ 15	製品の集塵作業を終えて別の持ち場に行こうと振り返りかけたところ、体がよろけて後ろにあった圧粉体台車の淵に左前腕が接触、裂傷し流血した。	43	362	3	300 ～ 499
2017	9	15～ 16	当社、作業場にて鋼材の切断作業を行うために作業台（高さ1mぐらい）の上に鋼材を置きマーキング作業を行っていたところ作業台上の鋼材に気を取られていて、足元に落ちていた鋼材の端に気づかず、誤って踏んでしまい左足を負傷したものである。	72	521	90	10～ 29
2017	9	16～ 17	事務所の置き場にて、溶接の作業をしていたところ、火花が飛び散り誤って左足にやけどを負い、その後火傷が化膿して腫れたので受診した。	29	332	11	10～ 29
2017	9	9～ 10	工場にて金属板のプレス作業中、ゴミを払おうとして、降りてきた上型に左手中指と左手人差し指を挟まれて負傷した。	57	154	7	50～ 99
2017	9	16～ 17	工場内にて、19本のパイプ（直径約10cm、長さ約3m）を束ねているバンドを切った時に、パイプが左足の甲に落下した。	37	521	4	1～9
2017	9	16～ 17	上記の日時に、ステンレス製タンク（10,000?）の底にて、攪拌軸受けボス（丸棒）の交換作業のためボスを切断し、砥石作業を終えて、新しいボスをタンク底に溶接し、パーンクリーナーを使用して周囲の洗浄をした、10分程経過の後に臭気確認し溶接作業にとりかかった時にタンク底のノズルから火柱が上がり、両手ひざ、足、顔に火傷を負った。	32	332	11	30～ 49
2017	9	13～ 14	製作所バルク事業部において、バルク貯槽の積み込み作業中にクレーン操作を誤り、自分のいる方向へ移動させてしまった。その際によそ見をしていた為、誤操作に気づかず、置いてあった別のバルク貯槽との間に挟まれ負傷した。	52	211	7	100 ～ 299
2017	9	14～ 15	作業場内のプレスブレーキ（油圧式）を操作して、小物品の曲げ作業を椅子に座ってフットスイッチを踏んで上型を下降させてる最中に他の作業者の声を呼び声と勘違いし、声方向（左側）に振り向いた際、右手の中指と薬指を下型と上型の間に挟んだ状態になった	37	154	7	1～9

			が、その状態のままフットスイッチを踏み続けたために指が押し潰された。				
2017	9	3～4	当社1階にて翌日の作業の為に段取り中、グラインダーを点検のために両腕で抱えた際、身体に電気が走るショックを感じ具合が悪くなった。	26	153	13	10～ 29
2017	9	13～ 14	大型車で工場から工場にH形鋼を引き取りに行くときに、走行中入口で右折するため方向指示器を出して、対向車がいなくなるまで国道で1～2分待っている間に、後方から激突された。	44	221	17	50～ 99
2017	9	15～ 16	工場で定盤（6m×25m）を吊り上げる作業をしている時に、1点吊をしてクランプが定盤に引っかかっている事に気づかずにクレーン（2.8トン）を上げてしまったため、引っかかっていたクランプが外れてクランプが顎に当たってしまった。	41	211	6	10～ 29
2017	9	10～ 11	当社工場内で、水圧転写機の点検中に、機械の下の床が濡れていて、足を滑らせて転倒し、右腕の手首周辺と腰を打撲した。	57	416	2	10～ 29
2017	9	9～ 10	工場内に於いて、柱を反転機に乗せる作業中、台上のゴムマットのずれを直そうと指を入れた所、クレーン操作者との合図が合わず、操作者が柱を下げた為、左手人差し指を挟み受傷した。	42	211	7	30～ 49
2017	9	16～ 17	上記日時に当社加工工場内において、被災者がアルミ板（縦4.5cm×横120cm×厚2mm）を柄杓型に加工する作業をしていた。板をプレス機に置く際、通常であれば手のひらを上に向け板を下から支え持つ形でプレス機に置きプレスする工程を何故か手のひらを下向きにし、板を上から持ち上げる形でプレス機に置き手を挟み受傷したものである。なお、被災者本人の記憶が曖昧であることから意識的に危険な持ち方をしたわけではないと思われる。	26	154	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	鉄工所内にて金属用ボール盤を使ってナットの穴を広げる作業中、誤って左手の手袋がボール盤のドリルに触れてしまい、手袋がドリルに巻きついてしまい、左手も巻き込まれた。	59	152	7	1～9

2017	9	11～ 12	事業所工場内のプラズマ切断機の作業場所に於いて、切断後の鋼板スクラップ（t=28mm）を、所定置き場へクレーンで移動する際、スクラップ置き場の柱に鋼板スクラップが衝突した為、鋼板スクラップが傾き、当人の右足へ落下し負傷したものである。	34	521	4	30～ 49
2017	9	11～ 12	工場の外のウマの上で、厚さ6mm長さ6m重さ100kgの鉄骨加工中、1人で回転させた為、片方が転がり反動で人がいる方にも転がり、足に落ちた。	47	521	5	1～9
2017	9	14～ 15	工場1階、転造機で転造作業中にM16×長さ4000mmの丸棒を自動機で転造作業中に、丸棒が上下左右にぶれながら回転したので、軍手をはめた手で押さえたところ巻き込まれてしまった。転造作業を行う場合、必ずゴム手袋に油を塗布して材料に触れる手順になっているが、巻き込まれやすい軍手の状態で材料を押さえてしまったため、右手前腕を骨折し、皮膚を裂傷した。	24	521	7	10～ 29
2017	9	13～ 14	当社工場、第3工場トラックヤードにて、4トントラック荷台から降りようとしたときに踏み外し荷台から落下、荷物を荷台に載せるために駐機していたフォークリフトの爪部に顎が当たってしまい裂傷、打撲したものである。	40	221	1	10～ 29
2017	9	7～8	出向先に於いて、廃液をバキュームローリー車で吸い上げる作業中、通常よりローリー車が離れて駐車した為、ホースが地面に着かなかったので廃液タンク横の給水タンクの架台の上にホースを乗せて吸い上げようとして、給水タンクの架台の上によじ登り、ホースをセットした時、足が滑り架台から地面に落下してしまった。その際、頭部他数か所を打撲骨折したものである。	49	418	1	30～ 49
2017	9	10～ 11	倉庫内を移動中、階段を踏み外し、3段目から床まで落ちた時に、左足首をひねったものである。	53	413	1	30～ 49
		14～	研磨機で作業中、砥石のドレッシングのために、ドレッサーのバーを研磨機の小窓から差し込んだ際、ドレッサー先端の刃が回転している上下の砥石に噛み込み、バーが研磨機の中に引きこまれた。				300

2017	9	15	その時にバーを握っていた左手が、バーのストッパーと小窓に挟まれて左手薬指と小指を切断した。同時に、バーのグリップ部で、右脇腹を強打し、肝臓を損傷した。	20	153	7	～ 499
2017	9	11～ 12	当工場内において、スリット加工中製品の耳口スを巻き取る際、ロスが通るオシュレート部分にひっかかった為、上にたるんで来たので手によって引っかかりを取った時、ロスが動き出し右手薬指にロスが当たり負傷した。	26	163	8	—
2017	9	10～ 11	工場内において、治具（100mm立方体）調整のため溶接部分をグラインダーで剥がす作業をしていたところ、右手に持っていたグラインダーが勢い余って調整部分から外れ、その刃が治具を支えていた左前腕部内側に当たってしまい負傷したものである。	30	153	8	10～ 29
2017	9	16～ 17	当社従業員は、当社土場（資材置場）地内において、土場の草刈（近所から苦情がきていた）作業中、同僚（当社従業員）が草刈機を使用、刈った草を収集していた時、お互い作業に夢中になりすぎ、寄りすぎてしまい、右手上腕に草刈機の刃がさわり負傷した。	64	169	8	30～ 49
2017	9	0～1	工場内、自身の現場へ向かい歩行中、通路の油の拭き残しで右足を滑らせ転倒。その際、左膝を床面に打ちつけ受傷した。	62	417	2	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	製品を塗装するラインで、塗装後の製品同士の接触による傷を防止する為に、緩衝材を取り付ける作業をライン内で行い終了後、他の人がライン内に進入しない様にするプラスチックチェーンを掛けた際に股の間にチェーンが入っている事に気付かず動いてしまい、右太ももにチェーンが掛かりバランスを崩して転倒して、右膝を床に強打した。	43	419	2	50～ 99
2017	9	8～9	当日、工場施設内に於いて、製品を出荷するため、大型トラックの荷台に上がり、納品する部材の写真取りの作業を行った。その後、荷台（高さ約1メートル）から地面に降りようとした際、右足	59	221	1	50～

			が積み込まれていた、木パレットとバツカンの間に引っ掛かり、バランスを崩した状態で、腰部右横側から地面に落ちて負傷したものである。					99
2017	9	16～ 17	2号ライン端部材溶接機にて、端部材溶接機の前側治具に取り付けた端部材を被災者が付け直そうと上昇途中の治具に手を出したところ、改良型レベラーと治具の間に右手を挟まれた。	30	332	7		50～ 99
2017	9	11～ 12	立てかけていた製品を台車にのせる時、作業手順を間違え製品が倒れて負傷した。	65	221	1		10～ 29
2017	9	16～ 17	工場本棟の高所ファンの取り替え工事後のコーティング作業の為に、併設する作業場の鉄製の屋根の上（高さ約7m程）で作業中に少し離れた場所にあった明かり取り用のFRP部分を誤って踏み割り落下した。落下場所付近にあったパイプ固定治具（ステンレス製の40Aパイプ）の上に、うつ伏せ状態で落下、治具のパイプが腹部を貫通した。	65	415	1		10～ 29
2017	9	8～9	社内現場にて、曲がっている品物をひろげる為にハンマーでたたいていたら品物が指に飛んできて当たって折れた、固定できなかったため、その場で置いて仕事をした。	28	521	6		1～9
2017	9	14～ 15	工場内で昼過ぎ、トラック荷台に高速カッター（90kg）を載せようと2人で持ち上げたところ、腰のあたりがグキッと音がしそのまま痛くて立てなくなり、少し休んでいるとましになったので我慢したままその日は就業した。工場内には2tクレーンが1台あるがその日は、線の接触で動かなくなり自力で積み込みしてこのようになった。	31	159	19		1～9
2017	9	15～ 16	工場内で作業中、立ててある平板の奥の板を取ろうとした時に、重みで指がはさまり、はさまった指の上に持ち上げた鉄板が落ちてきて、左手甲を切った。	36	521	6		1～9
2017	9	17～ 18	会社内工場で、ステンレスの板をカットしている時に板下に入れた指を抜けきらず、右手中指先切断した。	25	159	7		10～ 29

2017	9	15～ 16	工場で荷物（レール）を門型クレーンにて吊り上げる時にクランプが不完全なまま吊り上げてしまい、レールが倒れた際にレールと門型クレーンの土台に左足がはさまれた。	35	372	7	1～9
2017	9	17～ 18	業務終了後、工場敷地内駐車場へ向かう途中に、溝に足をとられ転倒、右肩を強打し骨折となる。	37	418	2	50～ 99
2017	9	15～ 16	被災者は作業応援に行き、3Fバースで通路の路面塗装作業を屈んだ体勢で行っていた、作業終了後、立ち上がった際に足が攣ったような症状があり、そのまま後方へ座り込んだ。その際、左足股関節が脱臼したような感覚になり、身動きが取れなくなった。	30	921	19	50～ 99
2017	9	14～ 15	建屋と建屋の通路で、棚の解体中、棚の底板を解体、リフトにスキッドを乗せただけの状態で、スキッドに底板を移す時にバランスを崩し固定されていないスキッドに足をかけて落下し、体を地面にうちつけ負傷した。	51	222	1	30～ 49
2017	9	15～ 16	レベラー母材、MSN-CC-ZC60 0.8×245.5×C 447kg、1本をクレーンにて母材置場よりコイルカーまで移動作業中、クレーンにて移動途中操作ボタンの南ボタンと西ボタンの操作間違いを行い、西へクレーンが走行しP-2のアンコイラーDS側へ吊り荷が接触し衝撃で吊り荷が落下、落下中に右手甲と接触し負傷した。	25	372	4	30～ 49
2017	9	13～ 14	フォークリフトでトラックへの積み込み作業をしていて荷台のバランスを調整するため、フォークリフトを降りて調整するためバンギに手をやった時に、フォークリフトの爪から積荷がずれてバンギと積荷の間に右手人差し指第一関節を挟んで負傷した。フォークリフトの爪の入り方が浅かったのと、バンギの横を持たずに人差し指をバンギの上において持っていたため、負傷したものである。	56	222	7	10～ 29
2017	9	10～ 11	工場の駐車場でトラックにアルミサッシの完成品を積み込みしている時、品物を上下ひっくり返していた時、品物が滑り左手首を切った。	54	611	8	1～9

2017	9	9～ 10	工場内において、摩擦圧接機を操作中ボタン操作の順序を誤り右手を油圧バイスクランプに挟まれた。	39	159	7	10～ 29
2017	9	14～ 15	会社工場内で次の作業にうつる為、片付け作業中に誤って左手が山形鋼（3m～3.5mくらい）の先端に強くあたり負傷する、小指と薬指の間が切れて裂傷した。	27	521	8	1～9
2017	9	7～8	N02転送台のビレットをバールで転送後、移動時にチェーンより降りる際、左足首を捻った。	35	224	19	500 ～ 999
2017	9	8～9	工場材料（鉄板）が手に当たり左手甲が傷ついた、その後、材料を持った時にパンと音がして痛くなった。	32	521	6	—
2017	9	13～ 14	アングル材2本を天井クレーンで定盤の上に移動していた、2本目のアングル材の移動が終わり、吊り具のクランプをはずしクレーンを巻き上げたところ、同じフックに掛かっていた別の吊り具が、当該アングルにひっかかり定盤の上から落下し、左足の上に当たった。	55	372	4	50～ 99
2017	9	8～9	請負作業にて製品鋳物のバリを取り除くため、作業開始前にコンベア駆動ベルトの潤滑性を高めるためワックスを塗布していた際、誤ってコンベアのスイッチを逆方向に押ししまい、右手小指がベルトに挟まり負傷した。	55	224	7	10～ 29
2017	9	16～ 17	納入した製缶品の手直しのため、納入先現場で作業を行い、帰社後、片付けを行っていたところ、体調不良となり、病院で診察を受け、熱中症と診断された。	36	715	11	30～ 49
2017	9	15～ 16	工場のカラミ置場に於いて、壁に設置してあるコンパネの取り替え中、脚立（110cm）に乗って作業していたところ、身体のバランスを失い脚立と一緒に倒れ下の土間（サンド）に落下した際、左手に持っていたインパクトレンチが前額部に当たり負傷後、死亡したものである。	69	371	1	30～ 49
			工場内で、鋼板の切断加工中にクレーンを使って鋼板（厚さ				

2017	9	11～ 12	6mm×1524mm×3048mm) をプラズマ切断機に乗せる際、下敷きになっていたリン木を外そうとしたときに、鋼板が約50cmの高さから落ち、左手人差し指を負傷した。	38	521	6	10～ 29
2017	9	9～ 10	当社工場内のプレスブレーキを使用し、ステンレス製品の曲げ加工を行っていたところ、物音に気を取られよそ見をしている際にペダルを踏んでしまい、左手人差し指の先端をプレスで挟み負傷した。	45	154	7	10～ 29
2017	9	15～ 16	切断定盤下に溜まったノ口の除去工事の為に、切断定盤を一次撤去すべく被災者は玉掛け作業を行っていた、玉掛け後、クレーンにて切断定盤を移送中、後方より積層された鋼板上を歩いていた被災者が最上段の鋼板端部を踏み外し約10cmの段差で足首を捻って受傷した、吊り荷の定盤に気を取られ足下への注意が不足していた。切断定盤を足場の悪い場所（材料置き場）に仮置きしようとした、作業前に移送経路の周知や危険予知の確認に関する打ち合わせが出来ていなかった。	24	419	2	50～ 99
2017	9	15～ 16	東側第一工場、ボール盤の所において、コ型材に穴を開けるため、位置あわせをしている時、皮手袋がドリルに接触をして巻き込まれ、右手人さし指を負傷したものである。	37	152	7	1～9
2017	9	14～ 15	新しいヤード内で倉庫の建方作業をしていた、ヤード内には5人作業員がいましたが、事故のおきた建方作業は2人で行っていた。両サイドに縦にたっているH鋼の地上から3M前後の所に補強のため横向きにH鋼をアングルの上に仮置きして、その下で両サイドのH鋼の歪みを確認していたら仮置きしたH鋼が落下し、まずかぶっていたヘルメットにあたり、そのまま鎖骨部分におち腕になだれ落ちた。	29	521	4	1～9
2017	9	11～ 12	工場内にて寸法確認作業をしていた時、製品1（高さ3M巾3M程度の箱型）に万力で上下2ヶ所固定していた鋼材（H鋼100×100×6×8/2M程度）が、固定がはずれ倒れかかってきた、避けようとしたが、背後にあった製品2（高さ1M巾2M程度）との	34	521	5	10～ 29

			間に右足をはさまれた。				
2017	9	10～ 11	C棟東16柱北側、形鋼切断機付近で被災者が同僚二人で束ねてある角パイプ（16束、1本7メートル、215kg）の解放作業をしていて、同僚が結束スチールバンドをグラインダーで切ったところ、積み重ねてあった角パイプが付近にいた被災者の方に崩れてきて左足がパイプと残材（H鋼）の間に挟まれ、左足首上を骨折した。	30	611	5	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	社内のトラック駐車場で、トラックの荷台上を片付けしようとしたところ、荷台にこぼれたグリスに足をとられて左足を外側へ滑り開脚状態になり、左股関節部を痛めた。	42	221	2	10～ 29
2017	9	16～ 17	自社工場において、厘木の上に置かれたH形鋼にへこみを見つけたので、そのへこみを修正しようと右手に持っていたスパナで、そのへこみを引っぱり上げようとしたところ、スパナがそのへこみから外れ、その外れた勢いで右手に持っていたスパナが右目に直撃した。	24	364	6	10～ 29
2017	9	17～ 18	業務終了後、工場内建屋の照明電源を切り、絶縁エアスクラップ用の束取機と柱の間を通過していた、その際薄暗く、床面が見えにくい状況であった為、排水溝鉄板蓋の端が起きあがっており（2cm程度）その部分を踏んだ際に左足首を捻ってしまった。	51	417	19	300 ～ 499
2017	9	14～ 15	敷地内にて廃品機械回収作業中、機械に掛けてあったブルーシートを2台の機械にまたがる形で外していたところ、右足を滑らせた、そのはずみで右側の機械に右肩をぶつけ、左側の機械の上に左足が引っかかったまま左ひざを捻るような形で機械の間に落ちて負傷した。その日は定時まで仕事をして帰宅し、夜に左ひざの腫れと痛みが酷くなってきたため、翌日病院を受診し、そのまま入院となった。	42	612	1	30～ 49
2017	9	12～ 13	作業の午前の部が終わり脚立から降りる際に、バランスを崩し近くに有ったハンガーフックで右腕を引き裂いて負傷した。	62	371	8	1～9
			当組合の加工工場内において、鉄筋加工材の仕分け中に、鉄筋と鉄				

2017	9	13～ 14	筋の間にあるまくら木から誤って加工材が落ち、左手小指第一関節が挟まれて骨折した。	43	522	7	1～9
2017	10	11～ 12	当社事務所の鋼材ヤードにおいて、在庫した平銅にサビ防止のためのシートをかける作業を行っていた。作業中にシートの下にある平銅に足を引っかけてしまい、転倒して負傷した。	68	521	2	10～ 29
2017	10	11～ 12	フープ工場で閉鎖型フープの溶接作業をしている時に、左側の鉄筋をクランプする際、鉄筋を掴んでいた右手が滑り、クランプされる部分に、右手の小指を挟んでしまった。	31	159	7	10～ 29
2017	10	16～ 17	当社加工センターにおいて積載型クレーンの荷台の上で、クレーンを使用して鉄箱（w850×w1200mm×H800mm、重量約500kg）を荷台に載せるためユニック操作を行っていた際に、鉄箱が横に振られた（操作ミスによるものとも思われる。）ことにより荷台に置いてあった鉄筋材と鉄箱に足が挟まれ被災した。	53	212	6	30～ 49
2017	10	9～ 10	当社事務所棟の外壁補修作業中、一人でハシゴに上り高所で作業していた。体勢を変える為、梁にかけていた安全帯を外し、体の向きを変えたところ、ハシゴが横滑りし、ハシゴと一緒に横倒しとなり、そのまま落下した。落下の際、ハシゴの格の部分に左足首に乗った状態となり、ハシゴと自身の体重が足首に集中した。	44	371	1	1～9
2017	10	12～ 13	注入縁切完了後のバー材をパレットに積み込む為に待機していた際、右手を移載排出コンベアの先端部に掛けていた。その時縁切後のバー材がコンベアに排出されピッチ送りが間隔110mm作動し右手人差指の軍手がベルトに巻き込まれ、それに引きずられ右手指が排出コンベアプーリーに挟まれ受傷した。	39	224	7	1000 ～ 9999
2017	10	11～ 12	工場内で材料（12cm角パイプ、長さ63cm）を切断する準備中、切断用の台に乗せる際、適正な位置に乗せていなかったことにより落下し、左足の上に落ちて骨折した。（安全靴は履いていたが、鉄板のっていない部分に落ちた）	37	521	4	10～ 29

2017	10	11~ 12	パネル工程の切断機で、パネル切断が終わった物を両手で持ち上げ、ラックに載せようとした。近くに別物件で切断したパネルが寝かせて置いてあり、左手中指付近が接触し切傷した。	59	521	8	30~ 49
2017	10	11~ 12	テント倉庫で補修作業中、足場不安定により転落。	41	415	1	10~ 29
2017	10	10~ 11	社内作業場にて、鉄屑の荷降ろしを終え重機から降りる時に、足を踏み外して左肩から落ちて、左手を地面に強打し左手首を骨折してしまった。	57	217	1	10~ 29
2017	10	8~9	25トンプレス機で、0.35mmの薄板を曲げる作業時、寸法を出すための運転で、安全器オフ・フットSW使用中であった。本運転に切り替えのため、立ち上がった時めまいがしてプレス機金型に手をついてしまい、フットSWを踏んでしまったため、プレス機が作動して左手を損傷した。	41	154	7	10~ 29
2017	10	9~ 10	工場内で横になっている材料（H型鋼H400×200サイズサイズ長さ約3m）を起こす作業中に、天井クレーンの位置を確認せずクレーン操作し、上げてしまい吊り上げた時に、本人腹部に材料が当たってしまった。	22	521	6	1~9
2017	10	13~ 14	長材製品を切断後、スクラップ部分（1,040mm、重量約40kg）を手を持ち、スクラップ箱に捨てる壁、スクラップ箱の縁とスクラップに挟まれて左手小指第一関節および腱を切断。	56	521	7	1~9
2017	10	10~ 11	当社内資材置き場にて、整理整頓を行うためトラッククレーンを移動させようと乗車する際、乗降用グリップを掴み損ね乗車ステップ（高さ約1m）から転倒し地面に右手を着き負傷した。	59	212	1	10~ 29
2017	10	13~ 14	当社工場内にて作業中、部品を取りに行く途中、足がもつれ転びそうになってしまい、工場建屋の柱に、体勢を崩し、つかまった際に右手中指を負傷したもの。	27	911	2	10~ 29
			当社工場内に於いて鉄製のパレット（縦110cm・横110cm・高さ				

2017	10	16~ 17	47cm) の修理作業を終えそのパレットにオイルがかなり付着していたので、手を洗いに休憩室の水道に行こうとした際に、水道付近まで行き手を洗おうとした時、足元にゴキブリがいるのに気づき驚いて後方に飛び跳ねてしまいその際に滑って左手を着いたため左手首を負傷した。着用していた安全靴にもオイルが少し付着していた。	60	417	2	10~ 29
2017	10	2~3	工場内で切断した鋼材製品を門型クレーン（マグネット付）を使用して片づけ作業をしていた際、吸着させた製品の下にスクラップが付着していた為、そのスクラップを取り除こうと製品の下に右腕を入れた時に製品が落下し被災した。	49	211	4	100 ~ 299
2017	10	16~ 17	自社工場内にて6尺脚立（高さ1.8m）の上から上段目の片側に両足で立ち、やや不安定な体勢で金属タンクの製造加工作業を待っていたとおころ、バランスを崩し脚立から転落してしまった。その際に右手を突いて着地したところ、右手首を骨折してしまった。	22	371	1	1~9
2017	10	13~ 14	工場内で、自動施盤で、巾決め外径削り工程で外径を削っていた。機械を回転させたまま削った切粉を左手で取り除こうとして、切粉を持ったら切粉の反対側が機械に巻きつき、左手が機械に触れてしまい怪我をした。	49	151	7	1~9
2017	10	15~ 16	本社工場において、鋼板を加工する機械のロールの高さ調整する部品を取り外そうとした時、オペレーターがロールを下げ降ろした為、左手（親指付近）を負傷した。	27	163	3	1~9
2017	10	11~ 12	工場内で鋼材の運搬のためクレーンで吊り下げた鋼材が倒れ、足に乗ったため左足のすねを骨折した。	67	521	5	1~9
2017	10	8~9	クレーン作業において、製品出荷準備中、製品上にクレーンのハッカーを移動する際にクレーン及びハッカーを見ながら身体を移動し、前向きに走行中、足元を見ていなかった為に、作業通路の鉄板敷板の段差（5~10ミリ）に足が躓き、身体が前のめりになり、準備製品に手を出す形となり、左手を梱包品に出す際、手の平側では	51	521	3	1~9

			なく甲側でついてしまった為、手首部分を骨折及び脱臼した。				
2017	10	15～ 16	工場内にて、鋼材をグレーンにて移動し、台車の上に載せる際、鋼材と台車の間に指を挟まれてしまい、左手小指を負傷した。	51	211	7	10～ 29
2017	10	17～ 18	作業場において、トラックの出荷準備の作業をしている時、1台目のフォークリフトの後部に手袋を置き忘れたので2台目のフォークリフトを降り、直進中の1台目リフトに近付いた時、1台目リフトが急に右折した為、1台目リフトの左後輪に足を踏まれ左足首甲脱臼、第1指から第5指まで骨折した。被災者は1台目リフトが直進すると思っていた。	26	222	7	10～ 29
2017	10	22～ 23	第3工場A25柱付近でBOX桁内溶接作業をする為、桁端ダイヤラム開口部から入り箱内に着地した際、バランスを崩し、立てリブに右足首をぶつけ右足首を捻ってしまった。	32	418	3	50～ 99
2017	10	7～8	仕入先工場にて、スクラップの積み込み作業を行うために、運転席から後ろ向きで降りたところ右足首を捻挫した。現場は少し勾配があるので、良く見て降りるべきところだったが、足元を確認せずに慌てて降りてしまった。	45	221	19	10～ 29
2017	10	17～ 18	当社が倉庫として使用している駐車場内において、いつもトラック荷台の扉を開けた状態で倉庫入口までバックさせるのだが、観音開きのトラックの左扉を抑えている時にトラックがバックしてしまい、左手の中指が隣のフェンスと扉の間に挟まってしまった。	55	221	7	10～ 29
2017	10	9～ 10	確定注文連絡と作業指示書を現場に配布するために外階段を降りる際、階段中腹で足が滑り3段程左足踵より落下。手摺にしがみついた為それより落下することは防げたが、しがみついた時に左足を軸に体を捻った為、左足を捻り骨折してしまった。前日台風でかなりの雨が降り吹き込んでいたため、滑りやすくなっていたと推測される。	48	413	2	10～ 29
2017	10	20～ 21	パイプ曲げ加工中、左手の指（親指、人差し指）をパイプと機械の間に挟み、つぶれるような感じになってしまった。	46	159	7	10～ 29

2017	10	15～ 16	取引先岸壁解体作業場において、スクラップ（H鋼長さ7m・重さ1.5から2t）のガス切断作業中の被災である。スクラップをガス切断機で切断した際、切断物が左足甲に落下してきて、左足中足骨を骨折した。	45	159	4	10～ 29
2017	10	8～9	工場内で、プレス機の作業開始前点検を行っていた。プレス機の作動油がにじんでいたため、安全装置の有効範囲外のところから手を入れ、清掃しようとしていたところ、誤って操作ペダルを踏んでしまい、機械と金型の間に指を挟んでしまった。	50	154	7	10～ 29
2017	10	9～ 10	量産開始直後、幅寸法を下げる時、幅のナットの下側に指が掛かっている状態で次の製品が来ているのに、手を離さず、左小指をナットとサドル本体に挟んだ。	18	159	7	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	大型フライスの鋼材加工場内にて鋼材加工物（110×270×375、89kg）をフライス加工中、品物をシブクレーンで吊り、マグネットチャック所定位置へセットしようとした。この時、品物にがたつきが生じた為、品物をマグネットチャック上で反転させようと、左手で立て、右手で支えながら加工面を反転させようと動かしたが、品物の重さに耐えきれず落下させ、落とした品物とマグネットチャックの間に右手人差し指を挟み負傷した。	44	521	4	30～ 49
2017	10	10～ 11	柱大組立作業中、高さ80cmの大組台の上にある片側の幅80cmのスペースの上によって作業していたところ足を滑らせ落下した。落下するときに、大組台で右手を強打し、右手小指を骨折した。	46	416	2	50～ 99
2017	10	17～ 18	施盤作業中製品が熱くなって素手では持てられないため、左手のみ手袋を使用していた。製品の切りカスが機械に巻き込まれ、その時切りカスが手袋に付き、左手、薬指と小指にも付き、巻き込まれてしまった。	42	151	7	10～ 29
2017	10	15～	当社工場内でH鋼（重さ30kg200×100幅3000mm長さ4800mm）フレーム加工中、H鋼の枠を入れこむため、鉄製の大ハンマー（重さ	62	521	19	1～9

		16	5kg) を右手で持ち、左手で製品をおさえながらハンマーでたたいていた。その衝撃で右手に痛みが生じて被災した。				
2017	10	15～ 16	防護木の内型を定盤の上で反転しようとしたところ定盤から滑り落ちた。右足の内側土踏まず付近骨折3ヶ所2週間後にキブスを外す。	54	211	4	100 ～ 299
2017	10	19～ 20	加工ライン後工程にて通常作業中、穴明機前から高周波焼入工程へ移動する際に足元に敷いてあるマットにつまずきバランスを崩して転倒した時、仕掛品が入っているポリ容器に背中を強打した。	37	417	2	30～ 49
2017	10	17～ 18	本社工場内の溶接現場において、クレーンで鉄骨材料を移動作業中に誤って隣のクレーンに接触した。吊り荷（仕口）のバランスが崩れて自身の足許に落下し、右足甲部を打撲した。	40	211	4	10～ 29
2017	10	8～9	派遣先にて、切断機で鉄の棒、約12mのものを切断作業中に無意識に手を切断機においてしまい、そのまま足元の切断ペダルを踏んでしまったため、親指を挟んだ。	52	159	7	1～9
2017	10	15～ 16	平鋼をバンドソーで切断するため、ローラ台に材料を載せようとした時、材資料が滑ってしまい、慌てて手を払いのけたが左手小指だけに当たってしまった。翌日仕事をしたが、小指が痛かった。骨折している事が判明した。	39	159	3	1～9
2017	10	9～ 10	台に置かれていた重さ約100kgのL字鋼の束から順次L字鋼を作業台へ持ち運ぶ作業をしていた。L字鋼を運ぼうとした際、誤って台に体を接触したため、束が崩れ、崩れたL字鋼で左手を挟み、左手小指、左手首を負傷した。	50	521	5	50～ 99
2017	10	10～ 11	工場内で抵抗溶接機の作業中に、溶接機に指先を挟み裂傷した。	64	339	7	30～ 49
2017	10	16～ 17	会社の品物置場兼駐車場にて荷積みを固定する作業中、品物をトラックに積み込み荷締めするため、車上有る工具箱からレバーブロックを取り出す時、蓋のストッパーを使用していなかったため、	31	379	7	1～9

			蓋が閉まり右指を負傷した。				
2017	10	13～ 14	本社工場内において、旋盤（120cm×180cm）のワークに取り付けたピン（φ14×350mm）の錆びを落とそうとして、回転中のピンをウエスで拭く作業をしていた。その際、軍手をしたまま行ったため、回転中のワークにウエスと軍手の繊維が引っかかり、右手人差し指が巻き込まれ、第二関節上を切断した。	63	151	7	30～ 49
2017	10	3～4	事業場内において、水洗タンクの水の入れ替え作業のために通路を歩行していたところ、タンクの下に立て掛けられていた塗装用のハンガー（製品を吊して電着塗装工程に流すもの）の一つが崩れて通路内にはみ出していたが、これに気付かず、誤ってこのハンガーの矢剣部分を踏んでしまい、安全靴の底を貫通して左足裏に刺創を負った。	35	391	9	100 ～ 299
2017	10	9～ 10	自社工場内にて、鉄板切断加工作業中、手が滑り、切断板を左足親指の上へ落としてしまい、負傷した。	23	921	4	1～9
2017	10	6～7	工場内において、作業台（200cm×60cm、高さ50cm）の上で鋳物製品（60cm×60cm、重さ50kg）を鉄枠の上に置きバリ取り作業中、製品が滑り、作業台の上に置いていた左手甲の上に落ちた。	51	419	4	10～ 29
2017	10	11～ 12	当車工場内において木箱の組み立てをしている際の事故。木材加工に使用するためのハンマーを右手に持ち、左手で木箱の接面を移動しないように支えながら、釘を打ち付けている時に、誤って左手薬指を打ち付け、第1関節部先を複雑骨折した。	39	364	3	10～ 29
2017	10	14～ 15	構内にて、ダクトの積み上げ作業中、脚立で昇り降りを繰り返していたところ、5度目に降りた際、左足首に激痛が走った。	26	371	19	1～9
2017	10	16～ 17	第2工場・ステンレス枠保護フィルム貼付機でフィルム貼付作業中、仮板を投入し補助作業をしていたが手を離すところ、置いたままにしている貼付機のローラーに巻きこまれ、左手人差し指を負傷した。	38	169	7	30～ 49

2017	10	16～ 17	当社工場内を移動中、床にあった鋼材料の入ったプラスチックケースにつまずき、転んだ時に床に右ひざを打ちつけて負傷した。	63	529	2	10～ 29
2017	10	9～ 10	機械装置のすえ付け作業中、一部機械を4t車にて他所に仮置きするため（雨天のため機械の濡れ防止）積込作業中に4t車荷台の機械のバランスが崩れて傾いた。その際、4t車の荷台のアオリと機械の間に挟まれ負傷した。	69	391	7	1～9
2017	10	10～ 11	塗装するために鉄骨（L字型、約3m、約20kg）を縦に並べて吊る作業をしていた。一番下の鉄骨をしゃがんで吊ろうとしていたところ、バランスを崩して尻餅をつき、鉄骨が足くるぶしの上に落ちてきて負傷したもの。	22	521	4	10～ 29
2017	10	10～ 11	会社工場内において、円柱型タンク（直径1,010mm 高さ1,000mm 重さ約40kg）のフランジに製造番号を刻印するため、刻印パンチ（縦12mm横12mm長さ78mm）を鉄ハンマーを叩いていた処、左手に持っていた刻印パンチがずれ、誤って鉄ハンマーで左手母指末節部を叩いて負傷した。	21	364	6	1～9
2017	10	14～ 15	当社工場内にてステンレス平板の折曲作業中、機械裏側にあるガイドの確認をするために左手を機械裏側にいれたところ、上から降りてくる金型に挟まれた。	30	154	7	—
2017	10	10～ 11	被災者は、当日工場の磨き棒鋼引抜機で、操作盤を操作しながら、自動運転によって材料の引抜・加工に従事していた。被災者は通常の操作中では立ち入る事が無い搬送ラインの場所へ立ち入った。その際、材料の切断後、一旦電源が切れるものの7秒ほど惰性で回転している切断機ブレードに誤って触れてしまい、上着の右袖部分が、ブレードに引っ掛かり、右腕を巻き込まれた。その結果、右手首を負傷した。	45	159	7	1～9
2017	10	9～ 10	工場内で製品の仕上げ作業中、製品（鉄板 940×1683×28、350kg）をマグネットで吊り上げたとき、鉄板とマグネットの接触面のごみを取らずに吊り上げたため、マグネット	32	219	4	1～9

			から製品が落下し、左足指、左足甲を負傷した。				
2017	10	7～8	工場内で加工終了後、車に積み込む中、手を滑らして鉄板で右手首と筋を切る。	56	521	8	1～9
2017	10	16～17	クラウンの溶接が終了し、約15kgの溶接治具を外そうとしたところ、溶接治具がクラウンに引っ掛かり、手が滑って足の甲に落下した。	38	379	4	10～29
2017	10	15～16	会社工場内に於て、グレーンで鉄の品物（約200kg）を吊って溶接作業中、向きを変えようとした際、金具がはずれて誤ってその下じきになり、左腕上腕部及び左眼瞼を切傷、左胸肋骨を骨折する。	44	372	4	1～9
2017	10	11～12	当社製品の在庫確認のため、3階にある事務室から在庫の置いてある2階へ移動していた。事務室を出て階段（7段・幅120cm・踏面26cm・高さ約160cm・手摺有り）を降りていたところ、急いでいたためか踏面を踏み外し、階段の上から2段目あたりから転落した。踊り場に着地する際、咄嗟に両手をついたため、両手と額が地面と衝突、負傷したもの。	57	413	1	10～29
2017	10	9～10	本社鑄造工場でハンマー作業中金型にセットする素材の位置が悪かったのに気付かなかったため、バリ（余肉）が多くなり、バリの一部が切れて右股関節に当たり負傷した。	29	521	11	50～99
2017	10	15～16	台風21号の影響により、工場が水没したため、片付けを行っていた。連日片付作業を行い、浸水した機の引き出しを開けることが出来なかったため、机の下に潜り込み、裏側の隙間から中身を取り出そうとしゃがみ込んだところ、無理な体勢だったため、腰に痛みが発生した。	57	921	19	100～299
2017	10	10～11	第1工場A棟において、ビルトエイチ部材（以下BH）を溶接形鋼組立装置（以下組立機）にて組立作業中、BH用フランジ材（平板W350×t18×L9000）をローラーコンベア上に送材し、ストッパー治具（以下治具）を左手で支えフランジ端部を治具に合わせようとした時、クレーンにて組立機に送材してきたBTがフランジに接	23	211	6	50～99

			触。その弾みでフランジ材が手前に動き、治具を支えていた左手第三指が治具とフランジ材に挟まれ被災した。				
2017	10	15～ 16	当社工場において、被災者と当社社員の2名で約300kgの板を他の場所から事故現場へ当社社員のクレーン操作で移動させる作業を行っていた。正規の置き場所ではなく、又、他の型の違う製品の上へ板8枚を積み上げている作業中に荷崩れを起こし、一緒に作業していた被災者の右足の上へ乗り、右足を負傷した。	18	211	5	30～ 49
2017	10	14～ 15	工場において、屋外の梁の塗装作業中、塗装を終えた梁（300×600）の上に乗る、次の梁を横に倒していたとき、バランスを崩して梁の上で転倒し、頭を打ちアスファルト路面（高さ90cm）に転落負傷した。	61	418	1	1～9
2017	10	11～ 12	弊社工場内にて、BTA機（染文加工場）の油受けの圧力を調整していた。調整後、本来であれば圧力スイッチをオフにしてバイスを開かなければいけないところを、オフにしたと思い込み、油受けの圧力がある状態でバイスを開いたため、材料と刃物の間に指が挟まれてしまった。その際、作業者はよそ見をしており、手を避けるのが遅れた。	39	159	7	30～ 49
2017	10	16～ 17	工場内で、定盤の上でステンレスパイプとフランジを溶接にて取り付け作業中に発生した。両手でパイプとフランジを合わせているとき、手からフランジが滑り落ち、左足甲に当たり負傷した。 (安全靴は着用していた。)	31	521	4	1～9
2017	10	14～ 15	自社工場内において治具にセットする作業中、鋼材（約100kgの半加工品）を厘木の上で広げる作業中に鋼材の下に手を入れてしまい、右手小指を裂傷した。	33	521	8	1～9
2017	10	17～ 18	天井用クレーンで鉄板を挟み移動させようとした時に挟み方が不十分だったため滑り落ちてしまい、その時右足の太ももに当たり、その衝撃で右足首を骨折した。	37	372	4	10～ 29

2017	10	9~ 10	工場内の作業場内で、鉄筋径10mmの材料を長さ12cmに寸法切りする作業をしていた。切断する材料が短くなったため、重量バランスをとるためにアングルを材料の上のせてセットし、切断機のスイッチを右手で押したところ、セットしていたアングルが動いたのが視界に入ったため、瞬間的にアングルの動きを止めようとアングルに手を添えてしまった。降りてきた切断機本体の上下に動く固定治具とアングルに右手中指を挟まれ負傷（裂創・骨折）した。	52	159	7	10~ 29
2017	10	16~ 17	倉庫内にてステンレス銅版厚さ2ミリ広さ1m×2m-1板を吊りハッカーで吊るために銅版の下にりん木を差し込み手を抜く時に銅版エッジ部の返りが出ている部分に手が触れ左手人差し指を手袋ごと切創した。	27	521	8	50~ 99
2017	11	14~ 15	自社の作業内で4tトラックの荷物を降ろしの時に、荷台から降りる際に、右足をあおりに乗せ、左足を工場内の常搬にかけて荷台から下りる時に、左足が常搬から滑り左側の手とお尻を床に落ち強打した。	60	391	1	1~9
2017	11	10~ 11	当社加工場でスクラップ鉄筋（40~60cm）を再利用の為、長さ30cm程度（約30kg）に揃える為、切断機で切断中に鉄筋が浮いたので、鉄筋を押さえた時に左手が滑り第2指、第3指を負傷したものである。	72	169	7	10~ 29
2017	11	16~ 17	1階工場内のプレス機で穴あけ作業中、パンチホルダーに金物が詰まり取り除こうとして手を入れたところ、誤って足元にあるスイッチを押してしまった。パンチホルダーに手を挟まれ左手人差し指を骨折した。	23	154	7	50~ 99
2017	11	16~ 17	工場入口付近でトラックを片付け終わり、荷台から降りようとした時、アオりに左足が引っ掛かり、右腰付近から、地面に落下した。右腰を強打し痛みがあった為病院へ行った。	59	221	1	10~ 29
		13~	工場内組立定盤上で、旋回Rブラケット（幅300mm×長さ575×高さ210・重70kg）2個をクレーンで運び終えたところ品物が重なって				100

2017	11	14	いた為、自力ですらそうとし左手をブラケットの下にあてがったところ品物が一瞬ずれた拍子に左手中指、薬指を挟んでしまった。	59	521	7	～ 299
2017	11	14～ 15	折り曲げ作業の準備中、80トンベンダーの曲げ刃下型へ「素材キズ防止のビニールシート」を敷こうとした際、両手が金型の中へ入ってしまった。この時にフットスイッチペダルを踏んでしまい手を挟んだ。左手薬指、中指、人差し指、右手人差し指を骨折した。	50	154	7	30～ 49
2017	11	9～ 10	当社工場内において加工した鋼材の場内移動中、被災者の手前側、そしてその奥と2本並んでいた大梁材のうち、奥の大梁材を玉掛け・吊り上げた際、手前側に置いてある大梁材（H-600×200）に引っ掛かり、それが被災者側に傾斜し、とっさに受け止めようとしたが、重量物のため受け止めきれず、正座した体勢になり両腿に倒れ込み、負傷してしまう。	23	521	5	10～ 29
2017	11	9～ 10	鉄板を切断する機械で左小指を挟み切断してしまった。鉄板を切断する機械は足踏み操作で、鉄板を固定して切断する。鉄板を固定する時に間違っ小指を挟んだまま切断してしまった。	21	156	7	1～9
2017	11	8～9	テノーナー2号機、移動側軸調整時、電源を入れ、残材を機械に通した後、電源を切り通した残材の水平を確認し、ずれていたのを再度調整をする際に刃物が惰性で回転しているのは分かっていたが、完全に停止する前に刃物上の六角ネジをメガネレンチで締め付けた時に、刃物に接触し右手小指を切った。	28	169	8	10～ 29
2017	11	13～ 14	工場B棟（ショット機と開先機の間）でショット作業を始めたが、先に別サイズの製品を仕上げるためH248×124?4800×20本を動かそうとワイヤーを通したところ、片方のフランジ部が台木ギリギリの所に置いてあり、片手を上部に手を掛け、もう片手でワイヤーを取る際、荷崩れがおき両足にH形鋼6本が落ち下にあったH鋼に挟まれ右足を骨折した。	23	521	4	—
		9～	自社製品である水平（鉄製、パイプ状、重さ約8kg）を作				50～

2017	11	10	業台へ移す作業中に、水平を保持した瞬間に腰に激痛を覚えた。	19	921	19	99
2017	11	14～ 15	事業所内の中2階作業場にて、混合機の操作中に、中を確認する為機械を停止させ傾きを直して蓋を開けようとした際、バランスを崩し落下しそうになったので飛び降りたところ、踵に負荷がかかり骨折した。	39	131	8	1～9
2017	11	14～ 15	作業場内においてコンパネ切断機の切断刃のダクト部分に切りカスが溜まっていたため、当該機械の電源を切り、非常停止ボタンを押して清掃に取り掛かろうとしたが、刃に右手が接触し負傷したものである。	39	131	8	1～9
2017	11	15～ 16	弊社派遣先である電縫鋼管製造ラインにおいて、内径ビードを機械で切断しやすくするため火ばさみで挟み補助する作業中、ビードが折れ曲がった状態で手前に振れ火ばさみを持っていた右手に当たり負傷してしまった。	27	521	8	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	薬品を配送するため走行中、トラックの後ろで荷崩れした音が聞こえた為、トラックを停車して確認したところボイラーソルトが荷崩れした際に、ラッピングされた20kg工業用硝酸ポリ容器も一緒に落ちた時に蓋が緩まり液が漏れてしまった。硝酸が付着したままのポリ容器等の荷物を保護具無しで慌てて積んでしまった際に、膝・手に付着し負傷した。数日経ってから火傷がひどくなり、病院へ行ったところ入院することになった。	53	219	7	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	休憩が終わり仕事に戻るため時計を見ようとして、冷蔵庫に足がぶつかり自分の左足の靴を踏んでしまい、後ろに尻もちをつき、壁に頭をぶつけた。	27	413	3	30～ 49
2017	11	16～ 17	派遣先工場内の作業場裏にて製本作業で出たゴミを捨てている時、フォークリフト通路幅の狭い場所で前方注意を怠り、フォークリフトの左前輪と接触した。左足の親指、人差し指、甲部を負傷した。	52	371	1	1～9

2017	11	22～ 23	給食を納品の際、奥の荷物を手前に引き出すため荷台に乗り作業後、飛び降りた時に左足を痛めた。	22	413	2	50～ 99
2017	11	15～ 16	会社の資材ヤードにて部材用ラック（ユニットという）を組み立て作業中、縦の支柱（約2m）に横手摺り（1.2m、3.3kg）を高さ1.8mの部分に取り付ける際、左手で手摺りを逆手で支持し、ハンマーで支柱に手摺りを打ち込んだ際、誤って左手小指先端部分を叩いて負傷した。	65	417	2	1～9
2017	11	12～ 13	工場内で太陽光パネル分離装置で分離したガラスが破損し、搬送ローラーにガラス破片が付着した為ガラス片を取り除こうと回転しているローラーを手袋を着用し清掃中に、ローラーに左手を巻き込まれ負傷した。	40	229	7	10～ 29
2017	11	9～ 10	工場において台車から製品荷降ろし作業中、台車上の左右に1つずつ置かれた梱包製品の向かって右側の製品を置場（平場）に降ろそうとワイヤーを掛け地切り（吊荷を地面から離すこと）をしたところ、吊った製品が揺れたので左手で支え揺れを収め地切りをやり直した際、わずかな捻りが加わっており、製品が手前に回る様な動き（時計回り）をして、向かって左側の製品との間に左手が挟まれそうになったので、咄嗟に左手を引いたが間に合わず小指先端部を欠損してしまった。	49	211	7	10～ 29
2017	11	11～ 12	工場トラックの荷台約1メートルの高さで、材料を荷下ろし中に踏み出した右足が荷台から外れ、荷を持ったまま右足から着地し、右足首を負傷した。	48	221	3	10～ 29
2017	11	13～ 14	当社加工場内で鉄筋（約500kg、約100本）を門型クレーンにてトラックに積み込む作業中、荷台の上でクレーン操作をしたまま、別の搬入車両に気をとられ、目を離した際に、吊荷の鉄筋が体にぶつかり、トラックの荷台から落下した。その際、接地した左膝と両手に怪我を負った。	54	211	1	1～9
			工場壁際の一角で鉄板の丸め加工作業をしている際に、スイッチ				

2017	11	14～ 15	を入れたまま右手をローラーに近づけて巻き込まれてしまった。 手袋を着けたまま作業をしてしまった。	44	159	7	10～ 29
2017	11	17～ 18	当社工場内で溶接中のカバーを動かそうとした時に、腰に激痛が走り、バランスを崩して、尻をコンクリート床に強打した。	57	921	19	10～ 29
2017	11	11～ 12	工場ではパイプの切削を行っている時に束にして置いてあったパイプの固定が緩く、束がばらけてしまい、パイプが足に落下した。	27	611	5	1～9
2017	11	18～ 19	工場内にて、金属屋根材のロール成型機を使い、屋根材の成型を行っていた。材料を成型機にセットする際、材料を機械の入り口に挿入し、寸動ボタンを操作中、左手を巻き込まれ、人差し指と中指の第一関節を切断する怪我を負った。	42	163	7	1～9
2017	11	18～ 19	トラックの荷台で、荷下ろしのため、製品を固定するバンドを外していた。バンドを外し終わってトラックの荷台から降りようとした時、製品の載っていたパレットに躓き、転倒し荷台から落ちた時に左手を着いて受傷した。	54	221	1	1～9
2017	11	14～ 15	工場内切断機にて、切断した材料（鉄製：縦10cm、横8cm、高さ5cm）を左手で取り出す折に、手元が狭く持ちづらかったので、材料を固定するクランプを広げるため右手で開のスイッチを押すべきところ、誤って閉のスイッチを押したため、左手小指をクランプと材料の間で挟み負傷した。	45	159	7	1～9
2017	11	17～ 18	工場内において電動ハンドリフトで切断完了パレットの移動作業を行っている時に、ハンドリフトの車輪に足を踏まれ負傷した。 (本人の運転による。)	34	362	7	10～ 29
2017	11	12～ 13	鉄加工工場内の2階食堂休憩室にて、昼休憩後、作業開始の為階段を下りる時に上から3、4段目から足を踏み外し滑り、階段中腹踊り場に止まり腰を痛めた。	22	413	1	10～ 29
2017	11	13～	工場作業時に、鋼材（H鋼72kg）を、二人で移動させようとした際に、一人が手を滑らせ、鋼材を離れた時にバランスを崩し、本人が	61	521	4	1～9

		14	鋼材と定盤の間に手を挟まれ受傷した。					
2017	11	9～ 10	同僚が運転するリフトがバック走行していた際に、パレットに接触しその衝撃でパレットが動き、作業中の被災者に当たり左膝を負傷したものである。	39	379	6	100 ～ 299	
2017	11	17～ 18	組立治具上で鉄筋カゴの上部を製作上部の組立完了後、組立治具（高さ約70cm）から降りる際、飛び降りてしまい着地時に治具鉄筋に右手中指をぶつけてしまった。	20	416	3	1～9	
2017	11	10～ 11	工場内にて、いつも通りの作業中、U字型のパイプ（15kg位）が2本重ねて立て掛けてあり、その内の1本を取り、持って行こうとした時、もう1本に躓き転倒した。その足の上に製品（もう1本のパイプ）が倒れてきて、右足の脛に当たり、負傷した。	44	521	6	10～ 29	
2017	11	3～4	鉄骨材料を切断する一次加工場において、BT材というT形の鉄骨材料を鋸盤（のこばん）という機械を使って切断するという作業中、左手でモニターを触りながら、右手で鉄骨材料の長さを測っている時に、手元の確認をせず、イスという鉄骨材料が動かないよう挟み込んで固定する部分を動かしてしまい、右手人差し指が挟まって怪我をした。	30	131	7	10～ 29	
2017	11	16～ 17	工場内整理作業中発生した廃材を4tトラックに積込作業をしていて、荷台から降りる際に、足を滑らせバランスを崩して右足踵から落下し、右足踵を強打して負傷した。	60	221	1	1～9	
2017	11	15～ 16	取引先の現場で積み荷を降ろす際雨が降っていた為、足を滑らせてしまい積み荷を持ちながら転倒し、積み荷で指を負傷した。	32	416	2	—	
2017	11	8～9	出勤時に1F会社入口から入り、タイムカードを押しに行こうとした時に、床で滑って転倒、その際に右手を床につき、負傷した。	70	417	2	10～ 29	
2017	11	14～ 15	鋳金工場内において、鉄商品を溶接機で溶接後、自分の背中側の台に置き、次の商品を溶接していたところ、置いていた商品の熱により、近くにあった座布団が発火し、衣服に引火した。気付くのが	71	521	11	10～ 29	

			遅れたため衣服を脱ぐのに手間取り、火傷を負った。				
2017	11	14～ 15	工場内でプレス機械の金型に挟まれた。金型セッティング中に誤って指を挟んだ。	35	154	7	1～9
2017	11	9～ 10	工場内にて作業中に、足元に鉄板を並べて置いて動かそうとした時、鉄板が崩れてきて左足指の上に落ちてきた。	69	521	5	1～9
2017	11	17～ 18	工場内で、プレス加工中に手押しスイッチで作業をしていたが、途中で、フットスイッチに切り替え、品物をセットする時に誤ってペダルを踏んでしまい、右手人指し指・中指・親指・小指先を負傷した。	49	154	7	1～9
2017	11	9～ 10	塗装ヤードで、クレーン作業中、鋼材（溝形鋼）を移動する際、マグネットの磁力が不十分な状態で鋼材が2本持ち上がってしまい、1m程の高さから1本が落下した。その反動で、鋼材が大きく動き、左手中指の先が切断された。	26	521	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	1F板金場でプレスブレーキの金型を交換する際、金型を右方向に移動させて取り出すため、左手で力を入れて押したが、右手を中間板の間に入れていたため、金型右端が、右手薬指に強く当たり、負傷した。通常作業では、金型下部を両手で支えて外すようにしていたが、無意識的に手を中間板の間に入れていた。金型交換時の注意事項を機械前面に表示していた。作業者は右手薬指の切傷、骨折と診断された。	48	154	6	50～ 99
2017	11	14～ 15	工場内において高所作業中にて品物を回転させる作業の補助中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つのシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒されて負傷した。	45	211	6	1～9
2017	11	14～ 15	工場内において高所作業中に品物を回転させる作業の補助中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つのシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒されて負傷した。	35	211	6	1～9

2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。	38	211	6	30～ 49
2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。	45	211	6	30～ 49
2017	11	14～ 15	本社工場内において高所作業車（高さ3m）にて品物（重さ45t）を回転させる作業の補助作業中、品物にシャックルを掛ける作業をしていた際、2つ目のシャックルを掛けようとしたところ、品物が動き高所作業車に当たり倒れて受傷した。	28	211	6	30～ 49
2017	11	14～ 15	製缶工場にてサンダー作業中、立ち上がり横に移動していた時、足がもつれてよろけ台に躓いて転倒し定盤で左の膝を強打した。翌朝、痛みがひどくなった。	32	418	2	50～ 99
2017	11	15～ 16	工場内で、エッチング工程において生産時の連結テープを剥がす際に、親指と人差し指でテープを保持しながらスライドさせた時にテープが切れ、そのはずみでワーク（ステンレス材400mm×500mm×0.3mm）が浮き端面に中指が接触し裂傷してしまった。	39	521	8	100 ～ 299
2017	11	9～ 10	お客様がトラックで運び込んだくず鉄の荷降ろしを手伝うためトラック後方より荷降ろし場所へのバック誘導をしていたところ、右側面の鉄板壁と天井より吊り下げられた円型マグネット（直径1.5m厚さ20cm位）に右足先を挟まれ負傷した。	49	211	7	1～9
2017	11	14～ 15	ボール盤でパイプ穴加工中、品物を動かそうとして、手が回転しているキリに当たり、左手の人差し指が巻き込まれた。筋が切れていて縫った。	26	152	7	1～9
			作業場内において後片付けの最中、古いパーソナルバンドソー（重				

2017	11	18～ 19	さ約50kg) を見つけ、使用できるか確認しようと物置棚の下から手前に移動させたが稼働しなかった為、両手で抱え、屈み込んだ姿勢で元にあった場所に押し込もうとした際、床に置いてあったアングル(鉄骨)に躓き手が滑った為、20cmの高さからバンドソーが左足甲に落ち負傷した。	37	612	4	1～9
2017	11	17～ 18	両手で鋼材(9mm×150mm×300mm)5枚を運んでいた時、ずれて左足甲に落ち、負傷した。[対策]複数枚運ぶ場合は、結束して運ぶこととする。	67	521	4	10～ 29
2017	11	8～9	工場内を作業場に移動中、アングル(1,770×1,214の額縁)が倒れ掛かって来て、左足の上に倒れ負傷した。クレーン等で移動させていたものではなく、立てていたアングルが何らかの拍子に倒れて来て、左足が挟まったとのことである。	33	521	5	30～ 49
2017	11	9～ 10	船上においてハッチカバーを連結するための現地指導に行き1人でコーミング上に上ろうとステップ(約40kg)に足を掛けた時、ステップをボルトで固定していなかったのでステップが右足の指に落下し負傷した。	60	418	4	10～ 29
2017	11	16～ 17	会社工場内の階段をコアの機械が入ったプラスチックケース(重量6～7kg)を右手で持ち、手摺りを持たずに中2階から1階へ下りている時に、下から4～5段目で足が滑り体勢を崩して滑り落ち、地面で左足の踵を強く打った。尻もちをついたが、腰の痛みはあまりない。	28	413	1	30～ 49
2017	11	9～ 10	事業場工場建屋内においてホイストクレーンで鉄製金網(重量約700kg)を移動中、先に移動した金網と向きを揃える為に金網の先端部を手で持っていた際、クレーンフックに掛けていた玉掛用ワイヤーの片方が外れ、金網が被災者の下肢部に落下した。尚、そのまま後方に倒れた勢いでヘルメットが飛び、後頭部を地面に打ちつけた。	42	211	4	30～ 49
			当社工場内、スピニング加工場の切断機において、メタルケースの				

2017	11	11～ 12	底切断作業時、メタルケースを切断機専用の金型に入れて、切断作業を行おうとしたところ、メタルケースが安定性を欠いたため左手で支えたが、その際に小指がケースと心押しの間にあることに気付かず、スタートボタンを押したため左手小指を挟み、骨折及び裂傷した。	48	159	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	当社工作作業場において、鉄板を製品化するための作業中、右手の手袋がシャーリングマシンに引っ掛かり、右手薬指を負傷する。	62	156	8	1～9
2017	11	11～ 12	鋼材加工研磨工場で、鋼材研磨機からH形鋼材（446×199×8×12、長さ74cm、重さ48kg）を搬出し、天井クレーンを用いて、吊り具（クランプ）を使い、H形鋼材を高さ80cmの台から吊り上げる際に吊り具の取り付けが不十分だった為、被災者の方向に倒れ左足に落下した。	30	211	4	10～ 29
2017	11	13～ 14	歪取りの作業中、T字型に組んだ鋼材3.3m（約90kg）をクレーンにて、バタ角の上に置こうとしたところ、固定がしっかりしていなかった為、バタ角がずれてしまい、床に直接落下し、その間に右手中指、薬指の先端を挟んでしまった。	59	211	6	10～ 29
2017	11	9～ 10	工場内でベンダー機の操作中（クランプ中）に滑り止めのペーパーが外れそうになり直そうとした際、クランプの中に手を入れ挟まれた。	53	159	7	50～ 99
2017	11	17～ 18	工場内で鉄筋の切断をしている時に、左手でレバーを引き切断を行おうとしたところ、右手で押さえていた鉄筋がずれていたのに気づき、それを修正しようと咄嗟に左手を出してしまい負傷した。	27	159	7	1～9
2017	11	16～ 17	工場内において、10tトラックに製品（梁、柱）を積み込みを終えて、トラックの荷台から降りようとした時、昇降用のタラップを使用せず積荷の上（高さ約1,600mm）から飛び降りた時に、右足の踵を骨折した。	53	221	3	50～ 99
		9～	工場内で角パイプに穴あけ作業中、回転しているドリルの周りの切くずを除去しようとしている時に、ドリルに付いていた切粉が右手				

2017	11	10	の甲側に絡みつきドリルの回転方向（右回転）に巻き込まれた。 ※手袋は、手のひら側がゴムで甲側が布のものを使用していた。	23	152	7	1～9
2017	11	10～ 11	工場内ロールベンダーの準備作業で、サビ落としの為、ローラーを回転しながら、サンドペーパーを当てていたところ、右手小指より、薬指、中指の三本をローラーに挟んだ。	35	163	7	1～9
2017	11	9～ 10	工場内で、加圧式スポット溶接機で作業中、右手中指を圧着点に置いたまま、自らフットスイッチを入れてしまい、指を挟んでしまった。	57	339	7	10～ 29
2017	11	15～ 16	工場にて、アルミ板を移動する際に誤ってアルミ板を落としてしまい、アルミ板の角が左足小指に当たり負傷した。	34	521	4	10～ 29
2017	12	16～17	車庫新築工事の現場にて、脚立を使用して、金物部分の取り付け作業を進めていた。その日の作業が終了して道具の片付けをするのに脚立を抱えて移動していたところ、地面との間一面に張っていた氷で足を滑らせて、脚立ごと転倒した際に肋骨を強打した。	41	719	2	1～9
2017	12	9～10	工場内にて4tトラックに飼料タンク（1.5m×2m×2m、重さ400kg）3台を積込作業中、トラックが後進したときに挟まり負傷した。	63	221	7	1～9
2017	12	10～11	脚立に上り製品に玉掛けしようとした際、ぐらついたのでバランスを崩し、脚立が転倒し、落下した（左足首2ヶ所骨折）。	64	371	1	50～ 99
2017	12	7～8	会社へ出勤し、事務所へ入室した所、床が雪で濡れていた所があり、そこで足が滑り、仰向けに転倒した。その時、左手をつき、左手首を骨折したものである。	56	417	2	30～ 49
2017	12	10～11	工場内の作業台で、金属製品を溶接作業中、製品を手前に回転させて移動する際、手がすべり、作業台から製品が落下し、避けようとしたが、左かかとにぶつかり負傷した。（製品は50cm四方で30kg程）	42	521	4	1～9
			スチール建具組立工場内の大掃除をしていた際、溜まったゴミを別				

2017	12	9~10	棟倉庫に持って行こうと両手にゴミ箱を持ち、出口のスロープを渡ろうとしたとき、雪で濡れ滑りやすくなっていた為、転倒し腰を強く打した。その際、安全靴は履いており、ゴミ箱2つには2kg以内のゴミが入っていた。	40	417	2	10~ 29
2017	12	9~10	工場内において、ステンレスの曲げ作業をしている際、誤って右手第2指の先端部をハンマーで叩いてしまい、受傷したものである。	21	364	7	1~9
2017	12	11~12	工場敷地内にあるプレス製品ヤード内で、製品置場の為、従業員がフォークリフトを運転して作業している時、フォークリフトの進行方向に当社被災従業員が立っていた、又は歩行していたところ、フォークリフトの右フロントタイヤと右足が接触し、右ひざ下あたりがタイヤの下敷きとなり負傷した。	60	222	6	30~ 49
2017	12	10~11	ビニールハウス用ドアの梱包ラインにて、梱包が終了した製品（ダンボール箱）をラインに流す作業中、ラインのローラーを回している歯車に右手の軍手が引っかかり、右手薬指を挟んでしまい、引き抜いた際に先端部を切断した。	61	224	7	50~ 99
2017	12	16~17	鉄を切る機械で鉄を切っていた時に、横に駐車していたフォークリフトの席の隣に布のようなものが置いてあった。鉄を切る機械から、その布に火花が飛び、火がつき、席も燃えた。その時、本人は違う機械で作業をしていたので後ろを向いており、においを感じてすぐ消しに行ったが、その際にプラスチックのシートが手に飛んで火傷を負った。	46	159	16	10~ 29
2017	12	11~12	会社工場内で金型の組み付け作業中、金型部品（アルミダイカスト製、800×1,000mm、約100kg）をマグネットを付け固定式クレーンで吊り上げようとした際に、マグネットの装着が十分でなかったため金型部品が落下し、被災者の右足の上にぶつかり負傷した。	24	372	4	10~ 29
2017	12	18~19	高圧容器製作所にて、50kg容器をパレットに載せかえる作業中、空いたパレットを本来はフォークリフトによって移動する決まりとなっているものを、忙しさにおわれ、本人の判断で、手作業でパ	39	379	4	100 ~

			レットを持ち上げ移動したところ足がもつれ、尻餅をついた際にパレットが本人の右足に落ちて受傷した。				299
2017	12	9~10	自社工場内倉庫において、照明スイッチを押した後、振り返りざまにバランスを崩してふらつき、その際、保管してあった工業用扇風機の脚につまずき、右手を挙げた状態のまま転倒し、右肩を強打した。（倉庫奥の作業用品をとりに行く途中だった。）	59	359	2	10~ 29
2017	12	17~18	会社ヤード内で、お客様の荷物をおろす時、積荷の1つ（モーター30kg）が荷台からころがり落ち、左足の甲に当たってしまった。当時、安全靴を着用していたが、保護部外に当たってしまい、左第3中足骨骨折をした。	42	612	4	10~ 29
2017	12	15~16	溶接作業をしていた所、作業から廃材のガス溶断を行った際に、よじれた廃材（36mm×150mm×120,000mm）がよじれた反動で跳ね上がり右足に接触し、骨折した。	47	521	4	10~ 29
2017	12	11~12	社内食堂の窓ガラス8枚を水切りワイパーを使用して掃除していた。腰の曲げ伸ばし作業を繰り返し行っていた為、第12胸椎を圧迫骨折した。	73	921	19	50~ 99
2017	12	11~12	当社工場内の鋼板折曲機（ベンダー機）で鋼板の折曲加工中、通常より小さい物を曲げるにあたり、指でベンダーの刃先近くの奥で板を押さえていたが、その板がズレたところに機械の刃先を下ろしてくるタイミングが重なり、右手人差し指を挟んでしまった。	41	159	7	1~9
2017	12	9~10	本社玄関入口の屋根部分にはしごをかけて、はしごにのぼった状態で窓ガラスにホースで水をかけていた。はしごが横に倒れそうになったので、後ろに飛び降りたところ、足から地面に着地し、かかとを受傷した。（2~3m程の高さから飛び降りた。）	58	371	3	—
2017	12	11~12	工場内にてシャーリング（鋼板裁断機）の作業をしていたところ、加工中の鋼板に手を添えていたため、裁断の際に鋼板がバウンドして鋼板とシャーリングの盤上に左手親指を挟み、先端を負傷した。	37	156	7	30~ 49

2017	12	10~11	工場内に鉄製丸パイプを搬入する為、ラックに載せ、それをキャスター付台車に載せて手押しにて移動させていた。その台車の向きを変えるために台車を押した際に丸パイプがラック内で転がり、ラックの片側に寄ってしまったことでバランスが崩れ、ラックと丸パイプが台車より落下した。その際に右足がラックとパイプの下敷きとなり、右足腓骨・内果を打撲骨折したものである。	23	521	4	30~ 49
2017	12	12~13	社員用通用口より工場内に入るさい、突風により扉が急に閉まり、右手中指を挟み、指先を切断した。	48	418	7	10~ 29
2017	12	10~11	当社工場内において、加熱炉の掃除をしていた。加熱炉の上部に上がって掃除をしていたところ、誤ってバランスを崩し、回転しているファンベルトに左手を入れて負傷した。	45	341	7	10~ 29
2017	12	15~16	工場内でH鋼製品（H200×100、1m）を作業台上で治具を用いて反転作業中、通常は自分側から奥側に3回で反転させるところ、手前に1回で反転させようとした。製品が作業台から落下し、右足人差し指に接触し負傷した。	24	521	4	10~ 29
2017	12	15~16	工場内にてトラック（4t）へ荷を積み込んでいる最中に、荷台の中を確認しようとしたところ高さが足りず、近くに置いてあった大きさ6cm四方の盤木（フォークリフトの爪が入るよう荷物の下に置く木）に足をかけたとき、バランスを崩して右足首を捻挫した。	42	522	19	10~ 29
2017	12	16~17	リコイラー作業に従事中、巻き取り作業が終了し、コイルカーで搬出作業中に、ドラムサポートが上がったままコイルカーを自分で操作し、ドラムサポートに製品がぶつかり、コイル内周が奥へ抜けそうになった。被災者が咄嗟に右手で奥側のコイルを押したとき、奥側に設置された転倒防止バーとコイルに環指および小指を挟まれ受傷した。	24	159	7	50~ 99
2017	12	11~12	工場内1階作業場にて、床に鉄板を敷くためクレーン操作中、60度位に傾けたところ、金具が外れた。その際、右足大腿骨の付根部分の骨折、右足踵・踝の複雑骨折、右足脛の裂傷を負った。	53	372	4	10~ 29

2017	12	14~15	第一工場の大掃除中、受入場から塗料庫前の置き場へ社内用パレット（約15kg）を持ち上げて運搬していた。その際、運搬経路の足元にパレットが置いてあったことに気づかず、躓いて転倒した。	44	379	2	100 ～ 299
2017	12	17~18	工場内において、束にしてある鋼材（H200×100、12m、5束、約1.2t）をワイヤーでくくり、天上クレーンで吊り上げて移動させようとしたところ、ワイヤーと共に天上クレーンのフックに掛けてあったクランプがワイヤーで吊り上げた鋼材に引っ掛かり、鋼材が当事者に向かってずり落ち、両足脛を裂傷した。	69	211	4	10～ 29
2017	12	16~17	プレス機から製品4枚を取り出し、台車に乗せ替える作業を2人で行っているときに、2枚を台車に乗せるとき、両手をパネル（製品）とパネルの間に挟んだ。	51	529	7	100 ～ 299
2017	12	14~15	2人ペアでパイプを曲げる加工中、もう1人が部材を外す前に本人がスイッチを押した。部材が外れていないことに気付いて、本来動作を止めるべきところ、止めずに機械の中に入り、機械のハンドルに挟まれた。	50	169	7	30～ 49
2017	12	18~19	終業後、帰宅するため2階本社事務所より階段を下りる際（階段は22段あり、途中に踊り場がある階段）、あと7段ほど残っていたところで足を滑らせて踏み外した。滑り落ちて左足関節を骨折した。	48	413	1	50～ 99
2017	12	14~15	作業場に防災用カーテンを取り付けるため、鉄骨製の材料棚（高さ3m、幅1.5m、奥行3m）の最上段まで上がった。プラスチックカーテンレール（長さ4m、重さ1kg）を他の者に渡して、棚を降りようとしたところ、棚に材料が置かれていたため、左足を置くスペースを確保できず、約2mの高さから転落して左足の甲を骨折した。	43	391	1	30～ 49
2017	12	16~17	工場内の天井クレーンで作業している作業員に工具を渡すため、梯子を登っている際、手を滑らせて約4mの高さから転落し、背中を強打した。	57	371	1	1～9

2017	12	14~15	ブレーキ工場（曲げ加工）で、普段から使用している機械の年末の掃除および油さしをするため、高さ約2mの機械の上に上り、両手に荷物（スプレー缶・ウエス）を持った瞬間にバランスを崩し、足を踏み外して転落し、肋骨を折った。	58	159	1	1~9
2017	12	15~16	使用済みロープの試験試料準備中、軍手でロープや素線を触っていると、錆びた線で右手薬指を負傷した。かすかな痛みがあったが、かすり傷だと思い放置していたところ、化膿したため病院へ行った。	41	372	8	100 ~ 299
2017	12	8~9	工場にて仕上がり品を運び出すとき、ハンガーに足が引っ掛かって転び、床（コンクリート）に膝から転んで打ちつけた。	53	911	2	1~9
2017	12	16~17	当社工場B棟において、製品（仕口+サイコロ）500~600kgの上部をクランプで吊り上げた際、荷振れを起こし、置いていた材料との間に左足を挟まれ受傷した。	25	219	7	30~ 49
2017	12	13~14	本社工場内において、L字鋼（長さ1m、高さ10cm、幅10cm）を切断する作業をしていた際、バンドソーに固定していた部材が設置した位置よりずれたため、手で修正しようとしたときにバンドソーの刃と指が接触し、受傷した。	31	159	8	30~ 49
2017	12	9~10	工場内トラック荷役場で、トラックからフォークリフトでパイプ艀装品を降ろす作業をしていた際、パイプ数本を固縛したものを、ワイヤーロープを使ってフォークリフトで降ろそうとしたとき、ワイヤーをフォークリフトの爪に掛け、完了の合図をしないうちにフォークリフトの爪が上ったため、ワイヤーロープを持っていた右手中指がワイヤーとパイプに挟まれ負傷した。	69	372	7	—
2017	12	8~9	被災者は普段、NCを使って鉄板を切断する作業に従事している。被災時には鉄板の片づけを行っており、鉄板を運搬中に何かに当たってしまい、立て掛けていた鉄板が崩れて下敷きになった。	29	521	6	10~ 29
			構内の土場にて、品物を乗せる台車（トロッコ）を元の位置に戻そ				

2017	12	6~7	うとして、自動にて動かしていたところ、クレーンで別の品物を運んで来たので、本人の品物が邪魔になるので移動しようとしたところ、別の品物と本人の動かしていたトロッコに挟まれ転倒し、足を挟まれて負傷した。トロッコの通路に本人が入っていたために負傷したと考えられる（品物と品物の間に本人がいた）。	46	229	7	1~9
2017	12	13~14	自社工場内で、天井クレーンを使用して鉄骨を積み上げているとき、体のバランスを崩してしまったため操作を誤り、鉄骨が荷崩を起こしてしまった。その際、崩れ落ちてきた鋼材で足を負傷した。	45	211	6	1~9
2017	12	14~15	定盤の上に脚立を立て、その上で作業（高位置にあるイーグルの取り外し）を行っていた際、使用した脚立が、老朽化のため脚裏のゴムが外れて滑り易くなっていた。脚立上で体重移動を行った際、脚立の脚が滑り、定盤から1点が外れて転倒した。	65	371	1	10~ 29
2017	12	14~15	工場にて、レーザー加工機の集塵機を清掃している際、開いている扉に手をかけたところ更に扉が開き、体を支えきれなくて地面に手をついた際、左手親指の付け根辺りを負傷した。	49	169	2	10~ 29
2017	12	16~17	掃除の時間中に、休憩室のエアコンのフィルター掃除しようとしたところ、近くに脚立がなかったため、折りたたみの会議テーブルに乗って掃除をしていたところ、テーブルの脚が重みでたたまれ、滑って右手を強く打った。	58	379	1	10~ 29
2017	12	16~17	鉄筋加工場において、鉄筋材料を適切な長さにするため鉄筋切断機で切断していた。鉄筋切断完了後、切断機の刃が上に戻るのを確認せずに誤って、入れてはいけない場所に手を入れてしまい、左手の親指を挟んで骨折および裂傷を負った。	25	159	7	1~9
2017	12	14~15	作業場にて屋根材の材料加工中、曲板機に挟まれ、左手小指第一関節および薬指の先を切断した。	19	154	7	1~9
			製品を降ろし終わり、10tトラックを運転するため荷台から下りる際、運転台の横にある梯子から下りずに、後部タイヤの上に足を下				100

2017	12	11~12	ろし、パイプの所に足をかけて下りようとしたところ、足を滑らせたため飛び下りようとしたとき、転んでしまい負傷した。	54	221	1	~ 299
2017	12	14~15	当社工場内で、鉄骨の仕口を組み立てる作業中に、ホイストで仕口を吊り上げ、反転させて下ろしたとき、仕口が左右対称でなかったため、バランスが崩れて自分の方へ倒れてきた。その際に避けきれず、左足の脹脛に当たり、負傷してしまった。	62	521	5	10~ 29
2017	12	9~10	工場での年末の整理・清掃の際、軽トラに積んであったロープで束ねた金物（約1m80cm、重量35kg）を降ろすため、吊りベルトをしゃがんで掛けていた。体を起こしたとき、ユニックのフックが少し振れていて、本人の左側頭部を打撲した。	76	212	6	1~9
2017	12	9~10	凍結している中、高さ50cmの台上でパイプ耐圧テストを進行中、固定していなかったためパイプが圧力で動き、1.5m先にて後ろ向きに中腰姿で作業を行っていた被災者を押し倒し、その際に左足膝を強打した。	65	312	4	50~ 99
2017	12	9~10	凍結している中、高さ50cm台の上でパイプ耐圧テスト進行中、耐圧パイプを固定していなかったため、パイプが圧力で動き、パイプが跳ね飛び、挟まれて右足大腿部を骨折した。	67	312	4	50~ 99
2017	12	9~10	事業所作業場内において、鉄筋の自動切断機（チェーン部分）にグリスを塗って補充していたところ、いつもはスイッチを切った状態で作業を行うのだが、この日に限りスイッチを入れたまま作業を行ったため、機械の回転棒が身に着けていたヤッケ（防寒具）に巻き込まれ、右睾丸・右太もも・左右の骨盤を負傷した。	52	159	7	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html